

平成29年度 事業報告  
社会福祉法人 川福会

## 目 次

法 人	1
特別養護老人ホーム福寿苑	29
特別養護老人ホームみのわの里	42
特別養護老人ホーム布市福寿苑・真寿庵	62
介護老人保健施設枚岡の里	87
介護老人保健施設長田の里	92
ケアハウスひらおか	98
ケアハウス喜里川	104
川福会だいとうケアプランセンター	109
小規模多機能ホームごりょうの家	111
介護老人保健施設すいれん	114
委員会活動報告	115

# 平成29年度事業報告書

## 法人

平成29年度の事業報告としては、平成24年度から始まった、「三か年計画」及び「新三か年計画」について総括することで、現在の法人の立ち位置の確認と課題を明らかにすることができると考えています。

そしてこの総括は、先に公開しました、平成30年度からの「続・三か年計画」及び「平成30年度事業計画」の中で取り組むべき課題として、その施策とともに記載しています。

### [1] 新体制の総括

序.

平成23年の行政処分と平成24年度の新体制発足により、川福会は、それまでの経営者による専断的で不透明な、そしてコンプライアンスとガバナンスにかかる法人経営と、その下における職員の全社的意識の希薄化（自らの属している拠点事業だけ、目の前の利用者処遇だけに目が向いている）が進み、法人全体として、どう社会福祉を進め、そのためにはどんな法人であらなければならないかが不明確となっていました。

そのため、法人としての在り方を示し、コンプライアンスに基づいたガバナンス体制づくりと、職員の意識改革を主として、「三か年計画」「新三か年計画」を策定し実行いたしました。

#### 1. 三か年計画—平成24年～26年度—法人の体質改善

##### (1) 概説

まず、法人として「まっとうな」すがたとするため、第三者委員会報告と東大阪市長による改善勧告の実施に取り組むと同時に、内部運営体制の構築と職員処遇の改善に取り組み、創業者の「思い」に基づく法人の理念とビジョンを決定しました。

また、不必要に大きく、かつ、使用目的が不明確であった内部留保を、利用者及び地域に還元するため、既存施設の改修事業に取り組みました。この改修事業は、地域福祉に命をかけた創業者の「思い」を継ぐため、法人設立30周年記念事業としての意味も込めて実施しました。

職員の処遇の向上もまた大きな問題でありました。処遇には待遇と職員のキャリアアップのシステムづくりの問題を解決する必要性がありました。「三か年計画」でようやく、職員処遇の全体像ができてきました。

改革途中、行政との法人が向かう方向についての違いによる行政の過剰ともいえる介入がありましたが、当時の東大阪市から選任された理事長は、一期で勧告等の懸案を解決し、改革の阻害となっていた混乱を収束させたうえ勇退され、その後、法人の評議員会が選任した理事、理事会が選任した理事長のもとに順次計画が実施に移され、法人の体質の改善と職員の意識改

革が進みました。

そして、平成26年度最終の評議員会をもって、東大阪市の評議員会臨席が終わり、法人は自主的経営権を回復しました。

## (2) 取り組んだ内容

「三か年計画」では、下記の課題に取り組み、そして、それはさらに「新三か年計画」に引き継がれました。

- ・コンプライアンスとガバナンスの確立
- ・法人の基本方針の確立
- ・法人の運営システムの確立
- ・職員処遇の向上
- ・施設改修
- ・創業家、枚岡病院・新生会との関係の整理と修復
- ・行政の過剰介入の解決

## 2. 新三か年計画—平成27～29年度

### (1) 「新三か年計画」の意義

「三か年計画」で、法人の方向を決め、「まっとうな」すがたを実現し、職員の意識改革が進む中で、今後の課題も出てきましたが、「新三か年計画」では、今後法人が発展するために課題となっていることを具体的に明示し施策を明らかにした。

さらに、平成28年度に始まり29年度に全面施行された、「社会福祉法改正」に基づく社会福祉法人制度の大改革に沿う法人づくりをすることも大きな課題でありました。

そこで、「新三か年計画」では、法人の実行すべき課題として次の9つの分野を展望し、それぞれの分野での具体的施策を事業計画として策定し、進捗管理を行うこととしました。

- (1) 法人の各種制度と組織力の確立
- (2) PDCAサイクルによる計画的な事業運営
- (3) 財務管理体制の構築
- (4) 新規事業の拡大
- (5) 既存事業の見直し
- (6) 地域包括ケアシステムに求められるサービスへの取り組み
- (7) 利用者サービスと労働環境改善としての施設改修
- (8) 戦略的人材確保人材育成力の強化
- (9) 社会貢献事業としての地域公益活動の具体化

### 2. 「新三か年計画」の総括

「新三か年計画」の9分野についての達成度と残った課題について総括することが、平成30年度から始まる新しい中期計画を立てる上で重要となります。「新三か年計画」は、法人の

抱えている重要な課題を明確にしましたが、多分野にわたるため、実行の場面においては、やや優先順位の明確性に欠けることとなったため、進捗管理にばらつきがあり、その整理が新中期計画の課題となりました。それぞれの項目分野について進捗と結果について総括いたします。

#### (1) 法人の各種制度と組織力の確立について

この分野におきましては、社会福祉法改正と歩調を合わせ、評議員・理事・監事をはじめとする法人の経営体制を構築したほか、それに合わせ事業の運営体制も明確にしてきました。法人運営会議を内部の最高決定機関として理事会・理事長の指示を確実に実行に移し、組織規程の策定とその実施により職制の整備を行い、管理職の数も必要に合わせ増加させ、権限及び責任の明確化を図り、職員の業務と職責の明確化を図るとともに、各種規程の新設及び改定を行い、事業運営組織としての法人の制度を構築しました。

職層の理解は深まりつつありますが、まだ温度差があり、更なる理解を深めることと、管理職に次ぐ業務監督職層への理解の促進と一般職への周知の徹底（意味の理解の促進）が必要であると考えています。そして、別に掲げる組織マネジメントの原則の周知と理解とを促進しなければなりません。

#### (2) PDCAサイクルによる計画的な事業運営について

当法人は、PDはあるがCAがない（もしくは不十分）といわれてきましたが、現状としてはPDがありCを推進してきているが、Cが次のAに結び付いていないといえる段階となっています。

計画をして実行してみて、結果がどうであったかまでは見るようになるようになってきつつあると考えていますが、それをどう評価して次にどうするかという点が各分野において明確になるところまでは至っていません。法人運営会議や施設長・部長会議を中心にPDCAのサイクルを回すことを今推進しているところです。

法人・拠点・各事業とも、事業計画・予算（収支）・教育・サービス・地域貢献の5分野すべてでPDCAによる計画的な運営が必要であり、この点は、今後とも法人幹部から一般職に至るまでしっかりとしっかりと身に着けるよう、教育も含めてシステム化していく必要があります。

#### (3) 財務管理体制の構築について

この分野においては、毎月の収支・稼働実績を収支検討会議で協議し、予算管理・収支管理が法人及び拠点事業ごとに計測され、以降の施策が決まるというサイクルができつつあり、現在進行形ではありますが、計画—実績—修正—行動というパターンができつつあります。

また、法人においては、毎月の理事会で各拠点の主な事業の稼働率を中心に、計画と実績の差及び前年度に対する比率そしてその原因等が報告され、理事・監事から指導を受けるようになっています。年に2回決算と中間決算については引き続き評議員会の審議を受けていますが、平成29年度決算からは、制度改正で評議員会の議決を受けるようになり、また、平成31年度会計からは、外部監査人による監査が始まる予定となっています。

そして、年度ごとに方針・実績説明会という形で法人の事業管理者クラスに前年度実績及び本年度の方針説明がなされるとともに、各事業管理者が事業計画および予算書と実績を対比して計画進捗管理を行うように教育しているところです。

今後の課題は、現在の経理部を財務部として強化し、拠点への経理・会計指導だけではなく、法人の方針や事業計画を定める際に、基盤となる財務方針を示せるようにしていくとともに、財務部が理事会や理事長に建言するとともに、法人運営会議等を通じて財務状況に基づいて事業の指導ができるようになることが必要であると考えています。

また、拠点の長や事業の責任者が、自拠点の会計実績と財務状況を把握したうえで、法人全体の会計実績と財務状況を関連付けて理解し、財務部と相談しながら事業運営に必要な財務状況を作り出していけるようになることが必要であると考えています。

#### (4) 既存事業の見直し

既存事業については、その必要性和ニーズ及び事業の収支状況を勘案しながら、10の事業について、現本部長を中心に見直しをしました。

その結果、特別養護老人ホーム配食事業及び訪問看護事業からの撤退を決定し、訪問介護事業については継続しつつその収益と費用の構造にメスを入れるということになりました。配食事業については、見守りや、地域公益活動の強化、訪問看護事業は、新規老人介護保険施設においてのアウトリーチ型在宅系サービスに引き継がれ、ともに地域包括ケアシステムの構築へと発展させるべきものと方向も決まっています。

また、認知症ディサービスは非常に厳しい収益状況にありますが、その必要性を鑑みて事業を継続しながら認知症ディサービスならではのサービスの提供による稼働率の向上を目指すこととなりました。グループホームは、その必要性和将来多展開する可能性という戦略上堅持し、可能な限り収支相償に近づけることとなりました。

他の事業については、①稼働率・利用件数等をWAM平均等以上にして堅持することで収益を上げ、加算の獲得の強化(=利用者サービスの強化)を目指すこと②そのうえで法人拠点施設とも収益にかかる費用を見直し大胆に削減することとなり、現在①人件費構造の柔軟化、事業費、事務費の削減を目指して取り組みを行っています。その結果、右肩上がりできた人件費額・比率ともに改善に転じ、各費用も削減が実現しつつあります。

今後は、予定収益から見て費用が使えるかどうかの見極めと、収支差額目標から見てどう費用を計上すべきかを、本部が指示するだけでなく、どのレベルにおいてもしっかり計算できるよう実践的に教育していくことが重要であると考えています。

また、既存の拠点においては、新規事業の可能性、特に在宅支援の強化という国家政策に応じたアウトリーチ型事業(例えば24時間随時訪問サービス、訪問看護や訪問リハビリテーション)等ができる可能性がないかどうか等は、ほとんど手が付けられていない状況であり、新規事業によるアウトリーチ型事業の成否を踏まえ、しっかり検討していく必要があると考えています。

#### (5) 新規事業の拡大

新規事業については、第1種、第2種社会福祉事業、公益事業、収益事業等を施設展開も含めて検討し、サービス付き高齢者住宅等に進出することも考慮にはありましたが、物件や必要性、収益性等もリサーチした結果、現在は収益事業には当面参入せず、第1種、第2種社会福祉事業、公益事業でまだまだしなければならないことがあり、また、地域包括ケアシステムに必須のアウトリーチ型事業が必要であるという結論に達し、大東市からの提案と民間事業者からの提案持ち込み案件ではありましたが、小規模多機能型居宅介護事業、認知症デイサービス事業及び介護老人健施設の2事業を展開することになりました。

当法人は、「介護が必要となった人ができるだけ住み慣れた地域で尊厳をもって暮らす」という理念を実現すべき社会福祉法人として、他の社会福祉法人・事業者も続くよう小規模多機能型居宅介護事業を在宅支援事業の新しい形として成功させなければならないと考えています。職員も確保でき、平成29年12月18日に開設しました。新しい事業を新しい地域で実施することは、川福会たつての願いの実現であり、それが、現在社会から要請されている社会福祉法人の責務であるとも考えています。

これも、大東ケアプランセンターが小さいが第1歩となったことで実現したことで、今後は、大東市と協力しながら、大東地域に川福会のサービスを広げていくとともに、大東市という新しい地域で、地域に貢献できる法人を目指します。

大阪市に老人介護保健施設を開設するという事は、これも念願の大阪市進出であり、社会福祉法人が老健を3つもつというのは、全国的にも済生会等を除けば、非常に少ない例となります。しかし、老健施設は、今後の高齢者の在宅支援の中心の一翼を担うものであり、大阪市鶴見区に在宅支援の老健施設を開設する意義は大きいと考えています。この老健施設は当初事業の他に、どうアウトリーチ型のサービスを付加し、在宅支援を行っていけるかということに真価が問われるものであります。

地域は鶴見区ですが、大阪市という大都市に進出したことは意義深いとともに、鶴見一長田一大東一布市と行政を横断してつながった一連の地域で、どの地域の住民にもサービスが提供できる体制を作ることは重要なことであります。

今後は、まずこの新規2施設事業を軌道に乗せつつ、地域を結んだサービスとは何かを考えて実行していかなければならないと考えています。

#### (6) 地域包括ケアシステムに求められるサービスへの取り組み

この分野は、行政が具体像をつかみかねているところもあって、当法人だけでなく社会福祉法人全体が進んでいないように見えます。特に医療との関係がある分野であり、医療法人や医療法人の老健施設側は、それなりに具体策をもって進んでいるところもあるというのが状況であります。

今般の社会福祉法の改正で、老健施設は在宅支援を任務とするとされたことから、全老健を中心に、高齢者の在宅生活支援に力を入れているところであります。

今後当法人の今後の課題としては、大東市の新しい施設を在宅支援施設として位置づけるほか、鶴見の老健施設が在宅生活の支援をめざすとともに、在宅支援のアウトリーチ事業の可能

性を追究していくこととなります。

また、特養やケアハウスも地域に出ていくことの中で、地域包括ケアシステムの一環を担うものとしての働きはどういうものかということ、しっかり考えていかなければならない場面が多くなると考えられます。地域包括支援センターや居宅支援事業所は、当法人が地域包括ケアシステムの一環を担う中心として機能することが求められています。

中重度の高齢者がどう住み慣れた地域で暮らしていけるのかについて、今までのように入所につなげるだけの発想からの転換を求められているといえます。

当法人と枚岡病院とは以前の間係を整理・修復して良い協力関係に向かっており、両法人の創業者川西主先生の「思い」にそって、地域に介護医療連携して何ができるか協議することになっており、医療と介護ということで、若干方向の違うところもありますが、しっかり協議して協力を進めていく形は整ったといえます。

#### (7) 利用者サービスと労働環境改善としての施設改修

平成24年度から計画して平成29年度までに、福寿苑、枚岡の里、みのわの里の大規模改修を実施し、布市福寿苑・真寿庵、ケアハウスひらおか、ケアハウス喜里川の外装改修等を完了しました。10数億円の内部留保がこの改装で利用者・職員に還元されたこととなります。

この改修事業は、法人創立30周年記念事業として始まりましたが、初期の間違ひもあり行政の過剰な干渉もあって、時期が大幅にずれ込むこととなりました。各位にご迷惑をかけたことはお詫びし、今後しっかりと施設の維持管理に努めます。

しかしながら、完全になったとはいえないにしても、改修により、より利用者の利便や処遇が向上するとともに、職員の働く環境も整備できたのではないかと考えています。

当面、新規大規模施設を建設する予定はない中で、長田の里についても開設20年をめどに改修計画とその資金確保を進めて行きますが、他施設も次の改修に向けて計画と資金確保に努めなければなりません。

#### (8) 戦略的人材確保人材育成力の強化

前経営者による専横的経営で人材の外部流失が大きく、処遇やキャリアパスもない状態で新体制はスタートし、しっかり現存職員を育て、職員の能力を大きく上げていかなければならないという問題の解決が法人内部では最も大きな問題でありました。

「三か年計画」において、「職員の確保と定着」「職員のキャリアアップシステムの構築」「法人職員としての意識改革」「人材育成力の強化」が必要とされ人事制度検討委員会が設置され、これらの問題に取り組み、今後進めていくことは明らかになりましたが、実質の取り組みは「新三か年計画」に引き継がれることとなりました。

「新三か年計画」においては、人事制度検討委員会を「制度設計」と「人材育成」の2チームに分けて進める体制としました。これによって制度的側面—人事体制・給与等処遇・評価体制については制度設計チームで検討され、教育・研修については人材育成チームで検討されることとなり、制度面でも教育研修面でも一定の成果が得られたと考えています。

制度面では、等級号俸制による賃金テーブルや職務等級制度が導入され、恣意的でない給与



制度が構築され、目標管理による達成度評価も上位職制から順に始まり次期中期計画期間中には、全員の目標管理制度が構築される予定となりました。

さらに、就業規則の改定を社会情勢に合わせて行い、法人の労務管理と職員の勤労条件の向上に資することとなりました。これらの改善は継続的に行われることとなり、法人の職場秩序の維持と職員の勤労環境の改善は今後も進んでいくと考えています。

人材育成面では、途中入職を含む新入職員のフォローアップ教育が制度され、中堅職員の教育体系も検討され、順次実施されるとともに、キャリアパス案もかなり具体的な面まで考案されるまで進んできました。

管理職層には、派遣研修が法人から毎年指示され、外部での研修による幹部職員の知見の拡大と能力の研鑽が図られるようになりました。そして、実績報告会・方針説明会・集合研修会という形で次の管理職たる業務監督職に対する法人による研修も始まり継続しています。

今後は、これまで進めてきたことを再体系化し、法人の構造資産として、上から下へすべての職員がその職層に応じた教育力をつけ、法人がそれぞれの職員のキャリアアップを図れる体系を構築し、来期には完全実施できるようにならなければなりません。

また、法人の各層が自分をチーフとするチームメンバーに対して、いかなる教育を行っていくか、層別の職員の教育力を付け、職場教育の本旨であるOJTをしっかりと根付かせていかなければなりません。

#### (9) 社会貢献事業としての地域公益活動の具体化

地域公益活動を始め、社会貢献事業を具体化するため、社会貢献検討委員会を立ち上げ、社会福祉法人としての地域公益活動及び社会貢献事業がどう可能かについて検討を行ってきました。

そして、具体的に事業を実行する前に、現在行えている事業を検証するとともに、ニーズを探る必要から、拠点施設ごとに実施している地域公益活動の洗い出しを始め、まず拠点が動けるよう、各拠点到予算を計上できることとしました。

次に、拠点ごとの事業実施状況を持ち寄り検討し、水平展開できるかどうかの検討と、拠点が実施している事業の深化を図ることを検討しました。

その結果、現在拠点ごとの事業は、内容・深度にばらつきはありますが、拠点側から始めたこと及び地域から要請されたことへの参加を含め、徐々に認知されてくるようにはなっています。

また、施設の地域開放も一部の拠点では進んできていますが、事業によってはマンネリ化が懸念される点があり、制度的制約や拠点の内部事情もあって、進み方はゆっくりという状況になっていきます。

もともと施設を中心に事業を進めてきた経過から、地域との交流については、ボランティアに来ていただいている人や、サロン等を通じての結びつきで、こちらから積極的に地域活動を提案するまでに入っていないのが現状であり、ここが今後の課題の中心となると考えています。

法人としては、地域医療との連携による地域包括ケアシステムの構築と、障がい者の就労支援事業を大きな柱と考えて計画を立てています。現在の段階は、枚岡病院との定期協議によっ

て、枚岡地域の医療と介護の連携体制を構築しようとしているところです。

また、障がい者の就労支援事業を進めている途中であり、事業としての成果はまだ中途の段階ではありますが、当法人の障がい者雇用率は法定雇用率の2%を大きく上回る3.8%を記録しており、次年度も新卒の障がい者雇用を継続して行うことになっています。

これからもさらに、法人として障がい関係の社会福祉法人との連携や、他のNPO等との連携を進めていくことを考えています。

就労支援事業については、慈善としてではなく、障がい者を当たり前の仲間として受け入れ、障がい者が自分のキャリアパスを描けるような職場とすることを目標として取り組んでいくことを、全職員が認識していくよう努めていくことが課題です。

#### (10) 創業家、枚岡病院・真正会との関係の整理

最後に、創業家との関係について触れておく必要があると思います。

平成23年11月の行政処分以来、創業家及びその関係者との関係をすべて断つよう行政から要求され、当法人の隣にありながら枚岡病院との連携を構築することができない状態になりました。真正会との関係も同様でした。枚岡病院と理事長同士が会うことも禁じられた状態になっていました。

また、一切の創業家色を断つとともに創業者の理念さえ発信することを許されず、創業家と訴訟をすることまで要求され、法人の意図とはかかわらず創業家とは断絶という状態になりました。

法人は粘り強く行政指導と勧告を実現し、自主経営権を取り戻し、枚岡病院との連携に動き出すとともに、創業家との関係修復を図り、経営者級の協議も復活し、当法人の地域行事に枚岡病院からブースを出展し、枚岡において、健康祭りを共催するまでに至りました。

そして創業家からも、創業者川西主先生の「思い」を継ぐものとして川福会の経営に参画され、共に地域福祉を担うものとして、更に協力関係を強めていっています。

## 新3か年計画（平成27～29年度）事業計画総括表

平成29年度に終了した「新3か年計画」の総括は先述のとおりですが、進捗と結果については、例年通りに表形式で整理しました。●と◎が完了若しくは完成した形で継続している事案となっています。○と△で終わった事業のうち、「続・新3か年計画」計画に引き継ぐべきものについては、実施状況欄に記載しております。

「新3か年計画」は、法人の課題を総花的に取り上げたために、膨大な項目となり、優先順位がやや不明確な計画となっていました。

その点を改善するため、平成30年度事業計画書に掲載しておりますように、平成30年度からの「続・新3か年計画」ではその点を改善し、3か年のうちに取り組む項目と時期についてより明確な形で絞り込みをしています。

実施状況：△＝計画未実施○＝開始・継続中◎＝改善・継続中●＝完了

当初計画 テーマと項目内容		中間総括	
(1) 法人の各種制度と組織力の確立		状況	実施状況
①	新社会福祉法による社会福祉法人の制度設計に準拠した、法人の意思決定－業務執行－監督の責任体制を明確にします。	●	体制構築は完成したと考えています。さらに、平成30年度に特定社会福祉法人としてのガバナンスの確立を図ります。
②	法人本部が業務の執行を中心となって担い、理事会及び理事長に施策を進言する体制を作ります。	●	体制構築は完了しました。
③	外部監査を導入することにより、第三者から監督を受け、財務の明確性を確保します。	○	平成31年度決算監査を会計監査人により実施するため、会計監査人候補者選任手続きに入っています。
④	本部事務所を集約し、本部の対外的な発信と渉外業務力を強化し、各拠点事業に対するサービス機能を充実させ、本部業務を効率化します。	●	平成28年3月に本部事務所を集約するとともに、本部の機構変更を実施しました。さらに、平成29年度は本部をはじめとする組織改革を実施しました。
⑤	組織運営規程を十分運用するため、細則を拠点ごとに定め各拠点事業の職制を整備し、組織としての機能を強化します。	◎	組織規程の大幅改定を行い、組織の機能を明確にしました。
⑥	組織マネジメントとして、法人の決定意思の周知、機関決定の遵守、職員の提案の反映の制度化を図り、トップダウンとボトムアップの相互体制を確立します。	◎	法人の会議についてその性格を明確にし、職員に周知を図るとともに、各委員会制度を整備し、提言提案の吸い上げ、各連絡会による情報等の共有できる仕組みづくりを行っております。
⑦	職員の職務内容を整理し周知徹底することで、職員に組織人としての職務的自覚を育てます。	◎	職員の職務職責の概念を明示し、職務職責ごとの職務内容について人事制度委員会を中心に議論し、目標管理を順次実施することで進めています。
⑧	さらに法人の取り組みや各施設の活動状況など広く外部にご理解いただくため、広報誌やホームページの充実など、積極的な情報発信を進めていきます。	◎	法人広報委員会を設置し、これまでの広報活動の効果測定と今後の広報の在り方の検討に入っています。
⑨	第三者評価を導入し、具体的問題点の把握を行うことで、さらなる良質な支援の提供と標準化を図ります。	◎	特別養御老人ホーム「布市福寿苑」が第三者評価を受診し、みのわの里が受信中で、順次受診する予定です。
(2) PDCAサイクルによる計画的な事業運営		状況	効果測定

①	ビジョンと経営方針を達成するために、現在構想としてある考えや計画を統合整理して、明確な経営戦略として策定します。	◎	新年度からの「続・新三か年計画」で、明確にしています
②	経営戦略に基づいて27～29年度の3年間の計画を予算も勘案して策定します。	●	この表の評価と継続事業の「続・新三か年計画」への引継ぎをもって官僚と考えています。
③	現在実施している既存事業を見直し、よりニーズに適した事業としていくとともに、新規事業等の検討情報収集を行います。	●	既存事業の見直しを行った結果一部事業を整理し、新規事業所を開設しました。新規事業の展開の中で得たことを参考に、既存事業の見直しをさらに行います。
④	四半期ごとに、法人及び拠点ごとの実績(稼働、収入、費用、人員)の分析を行い、計画的かつ効果的な対策を実行します。	◎	法人運営会議・施設長部長会議で、毎月の試算表結果を分析し、稼働率を含め収支の分析と課題について毎月詰めております。
⑤	消費税改定もあって購入経費の上昇がみられる中で、法人のスケールメリットを生かしたコスト削減に取り組みます。	◎	経費の見直しで一定の成果が出ており、できるものは法人でスケールメリットを生かした購入等を行い、費用の削減にさらに努めております。
(3) 財務管理体制の構築と自立した経営体としての収支管理		状況	効果測定
⑥	新社会福祉法人会計基準が適用されるので、各拠点区分における経理担当者が適切に対応して円滑に事務を行うことができるようにします。	●	施設長や経理職員に対して、専門家を招聘し、簿記講座を開催するなど、理解を深め、新会計基準に対応できております。
⑦	法人全体の支払資金の収支の状況、経営成績及び財政状態を適切に把握できるよう管理し、会計処理や法人の財務状況を明確にして開示します。	◎	毎月の試算表により、法人の会計状態を把握し、幹部職員を中心に状況を教育するほか、適切な財務会計状態を把握できるよう努めております。財務情報は年次で、開示しています。
⑧	新規事業や改修等法人が存続し継続してサービスを提供していくために、将来を見据えた財務計画を策定します。	◎	平成28年度から平成32年度までの5年資金収支計画を策定し、法人の財務状況をしっかり把握し、計画との誤差の管理をしています。
⑨	資産の用途を明確にし、将来設計のための費用を確保し安定した経営に努めます。	◎	5年収支資金計画とともに「全国経営協『社会福祉充実残額資産ツール』」等を活用して計画の担保となる資金の確保に努めています。
⑩	法人と拠点ごとに月次試算での収支実績の確認と把握を行い法人及び拠点での予算管理を徹底します。	◎	毎年度の試算表と稼働実績表とを対照し、収支検討会での検討を通じ幹部職員への周知を行っています。
(4) 新規事業の拡大		状況	効果測定
①	近接市域に第2種社会福祉事業の新規出店を	◎	平成27年度に大東市に居宅介護支

	戦略的に行い、サービスの拡大を図ります。		
②	近接市域及び東大阪市での第1種社会福祉事業等の公募に応募し、特養・グループホーム等の拡充を図ります。	●	援事業所を開設し、平成29年度には大東市に小規模多機能型居宅事業および認知症サービス事業所の施設を開設し、平成30年度には大阪市鶴見区に老健施設を開設しました。
③	収益事業となる施設業態への新規参入を検討します。	●	まず、この事業に注力し、この新規事業で新たに見えてくるご利用者ニーズを既存事業にフィードバックすることに全力を注ぎます。
(5) 既存事業の見直し		状況	効果測定
①	ニーズ、必要性、収支からの既存事業の見直し(拡大、縮小、廃止等)を行います。	●	既存事業のうち10事業について見直しを行い2事業については終了しました。 存続事業についても、収支構造の転換に努めています
②	既存拠点施設の稼働状況を詳細に分析し、必要な稼働率を求め、加算の獲得を含め、必達のための行動を実行します。	◎	毎月稼働率を集計し、改善動向を見極め、対策を実行するよう努めております。また、試算表による収益との比較からさら分析を行い向上に努めております。
③	既存拠点施設における新規事業等の可能性を検討します。	●	新規事業の推移によって、今後可能性が検討されることとなります。
(6) 地域包括ケアシステムに求められるサービスへの取り組み		状況	効果測定
①	中重度の要介護者や認知症高齢者への対応の更なる強化の取り組みとして、看取り期における対応の充実、活動と参加に焦点を当てたりハビリテーションの推進、口腔・栄養管理に係る取組の充実を検討してまいります。	○	検討からプログラムを立てスケジュール化及び具体的な取り組みが始まっています。
②	日常生活支援総合事業において、利用者ニーズの把握と調整を行い、スムーズな移行を図れるように取り組みます。	○	行政の計画と合わせて進展させてまいります。
③	地域高齢者の生活支援の充実を目指し、高齢者が集えるサロンの運営や場の提供、生活困窮者の支援等、地域公益活動の展開を検討いたします。	◎	サロンや場の提供は施設ごとに進んできました。 さらにこれからの実践について、社会貢献検討委員会で協議して実施プログラム化をはかっています。
(7) 利用者サービスと労働環境改善としての施設改修		状況	効果測定
①	平成26年度から継続中の福寿苑・枚岡の里改修第1期工事を完成させます。	●	完了しました。
②	福寿苑・枚岡の里改修の第二期工事に着工し竣	●	完了しました。

	工させ、ご利用者のニーズの実現と職員の働く環境の向上をはかります。		
③	ケアハウスひらおかについては、開設20年を迎えるので、外装の改装と防水工事を実施し耐久力を強化し、共用部改修工事を実施し住環境の改善と職員の働く環境の向上をはかります。	●	完了しました。
④	みのわの里は20年を経過しており、大規模改修工事を平成27年度から28年度に2年間かけて実施し、ご利用者に喜んで来ていただける施設にリニューアルし、職員の働く環境の向上をはかります。	●	完了しました。
⑤	布市福寿苑は開設14年目を迎え、第一回目の外周改修（外装・防水等）の工事を布市真寿庵とともに実施し耐久力を強化し、職員の働く環境の向上をはかります。	●	完了しました。
⑥	ケアハウス喜里川についても、開設20年近くなるので、外装の改装と防水工事を実施し耐久力を強化し、共用部改修工事を実施し住環境の改善と職員の働く環境の向上をはかります。	●	完了しました。
⑦	また、上記に付帯する設備備品の更新を行い、ご利用者に不足のないサービスを提供します。	●	完了しました。
(8) 戦略的人材確保と人材育成力の強化		状況	効果測定
①	利用者サービスの維持向上と今後の事業展開及び収支状況を考慮して、バランスのとれた人員構成とするため、戦略的な採用活動を進めます。	◎	今は、法人の業務規模と職員のキャリアパスとを合わせて法人の人材確保計画を立て実践しているところです。 人件費も平成32年度までの計画を出しております。
②	大学、専門学校、高等学校等とネットワークを築き、人材についての情報を共有します。	○	まだ、連携関係にある学校は少ないと考えております。 まず、少しでも多くの学校とつながること、そしてそれ以上の関係を築くことが課題です。
③	障がい者雇用については、その方の特性に応じた雇用を進めるため、就労支援事業所や特別支援学校、ハローワーク等との連携を強化します。障がい者の方が職業能力及び適応能力の向上が図れるよう、職員教育・支援を行います。	◎	平成29年度は具体的に就労支援事業に取り組みます。 具体策は、事業計画の重点項目の中に記載しております。
④	管理職に目標管理を先行導入し、管理職のマネ	◎	施設長クラスに導入を開始し、平成29年度からは全管理職に、平成

	ジメント能力を育て、人材教育力をつけていきます。		29年度後期からは業務監督職にそれぞれ導入し、平成30年度に全正職員への導入する計画となっております。
⑤	管理職の目標管理導入後、職員の目標管理の検討に入り、自己教育も含めた教育力を育て人材育成力を強化します。	○	業務監督職までの内容が決まっており、平成30年度中に一般職の内容を決定することになります。新計画で完全実施と考えています。
⑥	目標と現在のポジションが明確になり、スムーズなスキルアップができるようキャリアマップを整備し、明確なキャリアパスを構築したうえで、職員の評価制度を平成28年度導入に向けて具体的検討し、評価制度の検討の中で評価力を育てていくことを目指します。また評価を行うアセッサーの育成を行います。	○	各職層の目標管理と合わせて、職務・職域・職責の概念を明らかにし、キャリアマップの基本的な構図はできてきました。今後キャリアパスの要件・内容についてさらに詳細を詰め、平成30年度中には策定作業を終える考えであります。
(9) 社会貢献事業としての地域貢献事業の具体化		状況	効果測定
①	平成27度から、法人として実施する地域貢献事業を予算化して実施します。	◎	法人全体としての取組も始まってまいりました。今後、就労支援事業に注力します。
②	社会貢献事業を、一施設で一事業を実施するため、各施設に社会貢献事業費を予算化します。	◎	拠点ごとに予算化してそれぞれの拠点での活動を行っている段階です。
③	地域諸団体との交流を活発にするため、あらゆる媒体を検討して地域社会への法人の発信力を強化します。	○	必要性について内部議論と職員教育を進めています。 川福会の法人としての発信力は実施する事業の規模からするとまだまだ小さいので、広報委員会も含めて強化しているところです。
④	法人及び拠点施設は、地域活動へ積極的に参加していくとともに、地域活動の場を提供することに努めます。	○	拠点施設の提供をもっと活発化するとともに、地域行事をはじめ、地域の諸団体と提携していくことが課題であると考えております。
⑤	NPO等の活動に対して、人・お金・高齢者介護や組織運営ノウハウ等の支援を行えるようにします。	△	この点においてはまだまだ遅れており、平成30年度の課題です。新年度は、地域公益活動としてしっかり実施します。



社会福祉法人 川福会 平成29年度 各事業 稼働率一覽表

拠点区分	サービス区分	定員	年度	項目	年間目標	単月平均	稼働率												備考 (黄色網掛け部分)	
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
福寿苑	特別養護老人ホーム	50	H29年度	稼働率	96.0 %	単月稼働率	91.3	87.2	93.7	93.5	96.6	98.3	96.8	96.4	92.1	86.3	91.3	88.5	施設改修により H27年9月から H28年5月まで 定員0に変更	
			平均稼働率			91.3	89.2	90.7	91.4	92.5	93.4	93.9	94.2	94.0	93.2	93.0	92.7	92.7		
			単月稼働率			97.8	97.5	93.9	89.0	92.3	91.7	93.0	90.2	85.7	89.2	92.0	93.4	93.4		
		H28年度	平均稼働率	97.8	97.6	96.4	94.5	94.1	93.7	93.6	93.2	92.3	92.0	92.0	92.0	92.1	92.1	92.1		
		H27年度	単月稼働率	92.3	91.6	93.1	93.0	94.8	98.1	95.5	96.2	98.4	94.9	91.0	94.6	94.5	94.5	94.5		
		平均稼働率	92.3	92.0	92.4	92.5	93.0	93.8	94.1	94.3	94.8	94.8	94.8	94.5	94.5	94.5	94.5			
		H29年度	単月稼働率	84.2	79.8	85.8	89.5	87.9	96.7	94.4	89.2	89.5	71.0	84.8	88.7	88.7	88.7	88.7		
		平均稼働率	84.2	82.0	83.2	84.8	85.5	87.3	88.3	88.4	88.5	86.6	86.6	86.6	86.6	86.6	86.6			
		H28年度	稼働率	80.0 %	0.0	24.2	59.7	66.9	55.8	75.8	71.7	44.4	64.5	81.3	58.9	58.9	58.9	58.9		
	H27年度	平均稼働率	0.0	0.0	8.0	21.1	30.4	34.6	40.5	44.4	44.4	46.4	49.3	50.1	50.1	50.1	50.1			
	通所介護	4	短期入所生活介護	H29年度	稼働率	85.0 %	単月稼働率	70.8	50.0	70.0	73.4	42.7	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	施設改修により H27年4月1日から 4月15日の稼働
				平均稼働率			70.8	60.2	63.5	66.0	61.3	61.0	61.0	61.0	61.0	61.0	61.0	61.0		
				単月稼働率			72.3	73.2	74.2	72.3	89.8	75.5	78.6	73.8	71.4	71.2	63.3	65.5		
			H28年度	平均稼働率	72.3	72.8	73.2	73.0	72.3	72.9	73.7	74.1	73.8	72.9	72.3	72.3				
			H27年度	単月稼働率	61.1	61.8	65.7	68.9	71.4	79.8	77.4	72.2	73.1	72.8	73.3	75.1				
平均稼働率			61.1	61.5	62.9	64.4	65.8	68.1	69.4	69.8	70.1	70.4	70.6	71.0	71.0					
認知症対応型通所介護	10	訪問介護	H29年度	稼働率	82.5 %	単月稼働率	36.0	61.8	63.4	61.9	59.8	61.1	57.6	55.4	59.4	59.3	0.0	58.2	施設改修により H27年4月1日から 4月15日の稼働	
			平均稼働率			72.0	65.2	64.5	63.7	62.9	61.8	61.0	60.8	60.6	60.6	60.4	60.4			
			単月稼働率			51.6	45.6	48.8	51.5	53.3	50.8	46.9	50.4	50.0	47.9	44.8	44.8			
		H28年度	平均稼働率	51.6	48.5	48.6	49.3	50.2	50.3	49.8	49.9	49.7	49.3	48.9	48.9					
		H27年度	単月稼働率	42.7	40.4	40.8	41.9	35.2	40.0	44.6	46.5	46.5	46.7	40.0	51.5					
		平均稼働率	42.7	41.5	41.3	41.4	40.2	40.1	40.8	41.5	42.1	42.5	42.3	43.1	43.1					
居宅介護支援事業所	—	訪問介護	H29年度	稼働率	15.0 件	単月稼働率	33.1	49.6	54.6	58.1	50.0	52.7	53.7	55.2	56.9	51.7	0.0	39.3	施設改修により H27年4月1日から 4月15日の稼働	
			平均稼働率			66.2	55.1	54.9	55.9	54.6	54.2	54.3	54.6	54.3	54.3	52.8	52.8			
			単月稼働率			10.4	10.2	10.5	10.1	10.3	9.9	9.2	8.5	8.2	8.2	8.2	9.0			
		H28年度	平均稼働率	10.4	10.3	10.4	10.3	10.3	10.2	10.1	9.9	9.7	9.6	9.4	9.4					
		H27年度	単月稼働率	12.9	13.1	13.3	13.7	13.1	10.8	9.5	10.0	9.3	9.4	9.7	9.8					
		平均稼働率	12.9	13.0	13.1	13.2	13.2	12.8	12.3	12.0	11.7	11.5	11.4	11.2	11.2					
居宅介護支援事業所	—	訪問介護	H29年度	稼働率	16.8 件	単月稼働率	13.5	13.7	14.2	14.5	13.5	13.1	13.6	14.3	13.8	13.8	13.8	13.1	施設改修により H27年4月1日から 4月15日の稼働	
			平均稼働率			13.5	13.6	13.8	13.9	13.9	13.7	13.7	13.8	13.8	13.8	13.8	13.7			
			単月稼働率			37.9	38.3	38.4	38.9	38.9	38.4	39.9	39.6	38.9	37.8	36.8	37.5			
		H28年度	平均稼働率	37.9	38.1	38.2	38.4	38.5	38.5	38.7	38.8	38.8	38.7	38.5	38.5					
		H27年度	単月稼働率	35.3	29.6	29.8	28.8	29.4	38.6	38.0	37.3	37.0	37.9	37.1	37.1					
		平均稼働率	35.3	32.1	31.3	30.6	30.3	31.5	32.3	33.0	33.4	33.7	34.0	34.3	34.3					
居宅介護支援事業所	—	訪問介護	H29年度	稼働率	38.0 件	単月稼働率	34.3	34.7	35.7	36.7	37.0	38.3	38.3	37.3	35.7	36.8	36.1	施設改修により H27年4月1日から 4月15日の稼働		
			平均稼働率			34.3	34.5	34.9	35.3	35.7	36.1	36.4	36.7	36.7	36.6	36.6	36.6			

社会福祉法人 川福会 平成29年度 各事業 稼働率一覧表

拠点区分	サービス区分	定員	年度	項目	年間目標	単月平均	稼働率											
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みのわの里	特別養護老人ホーム	110	H29年度	稼働率	96.0 %	単月稼働率	92.5	95.3	92.7	90.0	90.1	92.5	93.0	89.9	96.0	94.5	89.9	
			平均稼働率			92.5	93.9	93.5	92.6	92.1	92.2	92.3	92.4	92.1	92.5	92.7	92.4	
			単月稼働率			93.8	94.2	94.3	96.2	95.0	96.6	98.0	96.8	97.3	93.5	89.9	90.2	
			平均稼働率			93.8	94.0	94.1	94.6	94.7	95.0	95.5	95.6	95.8	95.6	95.1	94.7	
	短期入所生活介護	20		H29年度	稼働率	80.0 %	単月稼働率	90.8	91.6	91.7	89.5	90.6	96.6	93.5	94.5	96.0	96.2	94.8
				平均稼働率			90.8	91.2	91.4	90.9	90.9	91.8	92.1	92.4	93.3	93.6	93.7	
				単月稼働率			83.3	91.1	82.0	91.8	98.5	93.2	83.7	98.5	90.5	93.1	96.4	
				平均稼働率			83.3	87.3	85.5	87.1	89.4	90.1	89.1	90.3	90.3	90.6	91.1	
	通所介護	35		H28年度	稼働率	85.0 %	単月稼働率	101.7	112.4	123.3	114.5	123.9	126.4	70.0	79.5	86.5	75.0	80.0
				平均稼働率			101.7	107.1	112.5	113.0	115.2	117.0	106.7	101.9	99.9	98.1	95.6	
				単月稼働率			62.7	61.6	55.8	56.8	68.1	62.5	62.4	49.2	49.2	78.8	104.0	112.6
				平均稼働率			62.7	62.1	60.1	59.2	61.0	61.3	61.4	59.9	58.7	60.0	62.4	65.3
訪問介護	12		H29年度	稼働率	90.0 %	単月稼働率	77.6	83.3	85.8	87.8	88.1	90.1	88.7	83.1	84.9	81.4	81.3	
			平均稼働率			77.6	80.5	82.3	83.7	84.6	85.5	86.0	85.6	85.5	85.2	84.8		
			単月稼働率			83.1	82.9	86.7	91.3	92.0	80.5	85.8	83.8	80.4	78.5	76.8		
			平均稼働率			83.1	83.0	84.2	86.0	87.2	86.0	86.0	85.7	85.0	84.4	83.7		
居宅介護支援事業所	1		H27年度	稼働率	90.0 %	単月稼働率	83.5	83.3	83.5	83.5	89.5	89.1	88.6	89.5	88.8	88.2	88.5	
			平均稼働率			83.5	83.4	83.4	83.4	84.6	85.4	85.9	86.3	86.6	86.7	86.5		
			単月稼働率			61.7	65.4	68.9	59.9	63.9	67.3	67.6	58.7	59.3	71.5	74.0		
			平均稼働率			61.7	63.6	65.4	64.0	64.0	64.5	65.0	64.2	63.7	64.4	65.2		
訪問介護	1		H28年度	稼働率	80.0 %	単月稼働率	42.9	35.3	41.3	45.5	44.8	45.0	53.8	59.9	57.1	60.1		
			平均稼働率			42.9	39.1	38.9	41.3	42.0	42.5	44.1	46.1	47.3	48.5			
			単月稼働率			32.7	44.6	45.5	42.0	49.7	52.2	53.7	53.0	48.7	45.1			
			平均稼働率			32.7	38.6	40.9	41.2	42.9	44.4	45.8	46.7	46.9	46.7			
訪問介護	1		H29年度	稼働率	150 件	単月稼働率	11.8	11.3	12.5	11.8	12.0	11.7	12.0	12.3	11.7	12.1		
			平均稼働率			11.8	11.6	11.9	11.9	11.9	11.9	11.9	11.9	11.9	11.9			
			単月稼働率			10.2	10.1	9.3	9.5	10.1	9.9	9.8	9.7	9.6	8.7			
			平均稼働率			10.2	10.2	9.9	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.7			
訪問介護	1		H27年度	稼働率	150 件	単月稼働率	10.9	11.8	13.4	13.5	13.7	12.8	12.7	12.5	12.7			
			平均稼働率			10.9	11.4	12.0	12.4	12.7	12.7	12.7	12.7	12.6				
			単月稼働率			34.9	30.7	30.7	30.7	30.8	36.7	37.3	37.4	36.7				
			平均稼働率			34.9	32.6	32.0	31.6	31.5	32.2	32.9	33.4	33.7				
訪問介護	1		H28年度	稼働率	38.0 件	単月稼働率	34.3	35.4	35.8	36.0	35.9	35.3	34.9	35.0	36.2			
			平均稼働率			34.3	34.9	35.2	35.4	35.5	35.4	35.4	35.3	35.4				
			単月稼働率			34.0	36.0	36.5	35.2	34.4	34.4	34.0	33.8	35.0				
			平均稼働率			34.0	35.0	35.5	35.4	35.2	35.1	34.9	34.8	34.8				
訪問入浴	1		H29年度	稼働率	5.0 件	単月稼働率	2.6	3.1	3.7	4.1	3.6	4.0	3.9	3.4	3.3			
			平均稼働率			2.6	2.9	3.1	3.4	3.4	3.5	3.6	3.6	3.5				
			単月稼働率			4.1	4.2	4.2	4.7	4.9	5.1	5.6	4.3	4.4				
			平均稼働率			4.1	4.2	4.2	4.3	4.4	4.5	4.7	4.6	4.5				
訪問入浴	1		H27年度	稼働率	4.5 件	単月稼働率	2.8	3.4	3.0	3.7	4.0	4.0	6.4	4.9	4.7			
			平均稼働率			2.8	3.1	3.1	3.2	3.4	3.5	3.9	4.0	4.1				
			単月稼働率			2.8	3.1	3.1	3.2	3.4	3.5	3.5	3.5	4.1				
			平均稼働率			2.8	3.1	3.1	3.2	3.4	3.5	3.9	4.0	4.1				

備考  
(黄色網掛け部分)

施設改修により  
H28年1月から  
H28年9月まで  
定員20から12  
に変更

H28年9月から  
定員30から35に  
変更

社会福祉法人 川福会 平成29年度 各事業 稼働率一覽表

拠点区分	サービス区分	定員	年度	項目	年間目標	単月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
							稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
布市福寿苑	特別養護老人ホーム	80	H29年度	稼働率	96.0 %	単月稼働率	95.0	97.6	97.6	97.1	94.4	91.3	90.7	88.4	87.2	87.0	92.8	94.0	
			平均稼働率			95.0	96.3	96.7	96.8	96.3	95.5	94.8	94.0	93.2	92.6	92.6	92.3	91.3	
			H28年度			単月稼働率	91.1	90.5	87.7	88.2	86.5	93.3	96.7	92.5	95.2	93.5	91.3	91.6	
			平均稼働率			91.1	90.8	89.8	89.4	88.8	89.5	90.6	90.8	91.3	91.5	91.5	91.6		
			H27年度			単月稼働率	94.5	95.7	96.5	92.5	92.8	92.6	90.6	92.1	92.8	92.2	92.3	91.3	
			平均稼働率			94.5	95.1	95.6	94.8	94.4	94.1	93.6	93.4	93.3	93.2	93.1	93.0		
			H29年度			単月稼働率	79.7	82.9	69.7	73.7	82.9	80.8	81.9	87.5	79.4	83.7	88.8	86.8	
			平均稼働率			79.7	81.3	77.5	76.5	77.8	78.3	78.8	79.9	79.8	80.2	80.9	81.4		
			H28年度			単月稼働率	67.7	80.6	63.3	59.9	73.5	81.2	71.9	65.5	73.5	68.7	83.0	84.4	
	平均稼働率	67.7	74.3	70.7	67.7	68.9	70.9	71.0	70.3	70.7	70.5	71.6	72.6						
	H27年度	単月稼働率	68.3	62.4	59.2	56.2	64.4	60.8	68.4	59.2	57.3	60.8	51.9	48.2					
	平均稼働率	68.3	65.3	63.3	62.0	62.5	62.2	63.1	62.6	62.0	61.9	61.0	59.9						
	H29年度	単月稼働率	82.3	82.2	84.9	87.5	77.5	74.4	79.8	77.9	75.1	73.9	69.3	74.7					
	平均稼働率	82.3	83.2	83.2	84.2	82.8	81.4	81.2	80.8	80.2	79.6	78.7	78.4						
	H28年度	単月稼働率	77.9	79.7	86.3	87.6	81.6	89.0	87.4	84.2	82.6	84.8	80.6	79.9					
	平均稼働率	77.9	78.8	81.3	82.9	82.6	83.6	84.2	84.2	84.0	84.1	83.8	83.4						
	H27年度	単月稼働率	85.7	83.8	85.5	79.5	77.3	82.0	79.8	80.3	78.7	75.5	84.0	77.6					
	平均稼働率	85.7	84.8	85.0	83.6	82.3	82.3	81.9	81.7	81.4	80.8	81.1	80.8						
	H29年度	単月稼働率	22.4	21.1	25.8	29.6	33.3	32.7	27.7	31.5	29.6	31.3	32.9	32.6					
	平均稼働率	22.4	21.7	23.1	24.7	26.5	27.5	28.0	28.2	28.5	28.9	29.2							
	H28年度	単月稼働率	18.5	22.7	23.5	25.4	25.2	20.8	20.0	18.5	14.6	21.3	18.8	18.1					
平均稼働率	18.5	20.6	21.5	22.5	23.1	22.7	22.3	21.8	21.0	21.0	20.9	20.6							
H27年度	単月稼働率	16.2	11.5	15.0	17.4	16.9	14.6	18.9	8.4	13.5	12.9	59.2	15.6						
平均稼働率	16.2	13.8	14.2	15.0	15.4	15.3	15.8	14.9	14.8	14.6	18.5	18.3							
H29年度	単月稼働率	12.4	12.4	15.3	14.7	15.4	15.0	15.0	14.6	14.8	15.5	14.0	14.3						
平均稼働率	12.4	13.4	13.7	14.0	14.2	14.3	14.4	14.4	14.5	14.5	14.5	14.5							
H28年度	単月稼働率	9.8	10.3	10.6	10.5	10.6	11.3	11.2	12.6	12.9	13.5	13.2	11.5						
平均稼働率	9.8	10.1	10.2	10.3	10.4	10.5	10.6	10.9	11.1	11.3	11.5	11.5							
H27年度	単月稼働率	15.3	14.9	14.7	13.8	13.2	12.2	13.9	13.0	13.1	16.0	15.6	15.5						
平均稼働率	15.3	15.1	15.0	14.7	14.4	14.0	14.0	13.9	13.8	14.0	14.1	14.3							
H29年度	単月稼働率	37.1	37.9	39.4	38.8	38.6	38.0	39.0	39.3	38.5	37.8	38.0	38.3						
平均稼働率	37.1	37.5	38.1	38.3	38.4	38.3	38.4	38.4	38.5	38.4	38.4	38.4							
H28年度	単月稼働率	33.8	27.6	28.0	35.1	34.7	34.6	34.7	38.8	38.1	38.3	37.5	38.0						
平均稼働率	33.8	30.4	29.5	30.8	31.5	32.0	32.3	33.0	33.5	33.9	34.2	34.5							
H27年度	単月稼働率	27.9	27.5	30.2	29.8	30.2	28.8	28.8	30.0	30.6	30.0	29.6	29.6						
平均稼働率	27.9	27.7	28.5	28.9	29.1	29.1	29.0	29.1	29.2	29.4	29.4	29.4							
H29年度	単月稼働率	100.0	100.0	100.0	98.6	96.8	100.0	100.0	99.3	88.9	85.3	100.0	100.0						
平均稼働率	100.0	100.0	100.0	99.6	99.1	99.2	99.3	99.3	98.1	96.8	97.1	97.4							
H28年度	単月稼働率	100.0	100.0	97.0	96.8	100.0	100.0	99.6	88.9	95.0	88.9	98.4	100.0						
平均稼働率	100.0	100.0	99.0	98.5	98.8	99.0	99.1	97.8	97.5	96.6	96.8	97.0							
H27年度	単月稼働率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.6	100.0	100.0						
平均稼働率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.4	98.2	98.4							
川福会	グループホーム	9	H29年度	稼働率	100.0 %	単月稼働率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			平均稼働率			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
			H28年度			単月稼働率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均稼働率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0						
H27年度	単月稼働率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平均稼働率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

備考

平成28年2月福寿苑  
認知症対応型通所介護  
利用者の受入

平成28年2月福寿苑  
認知症対応型通所  
介護休止による  
利用者の受入

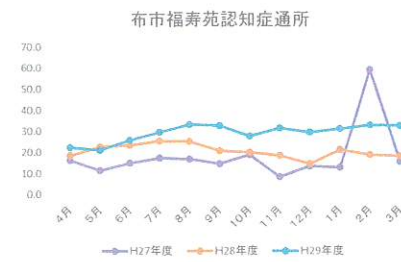
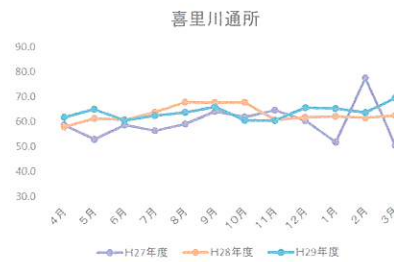
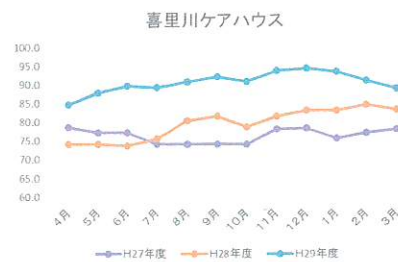
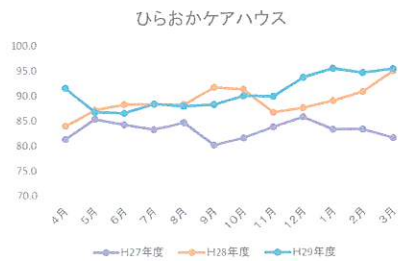
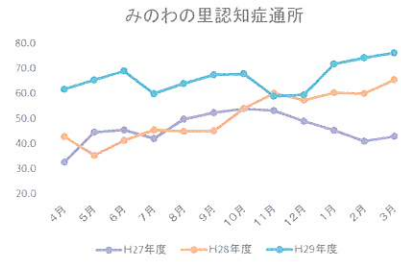
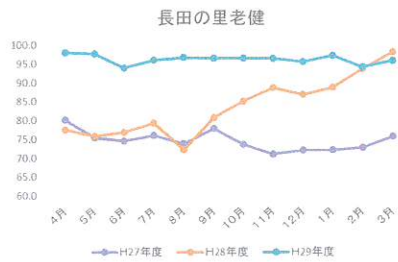
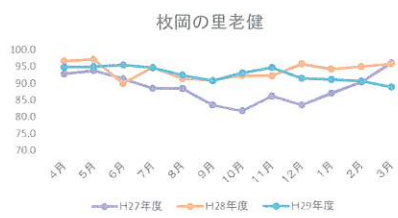
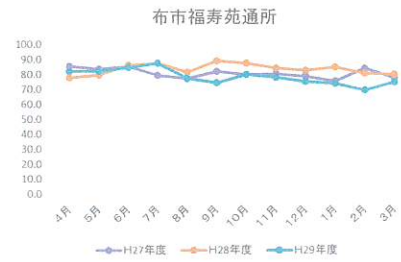
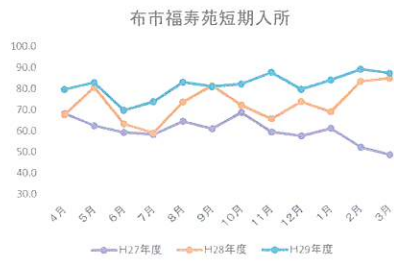
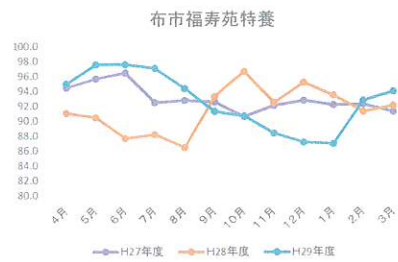
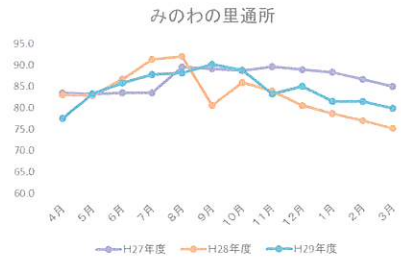
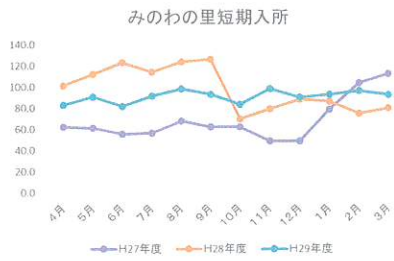
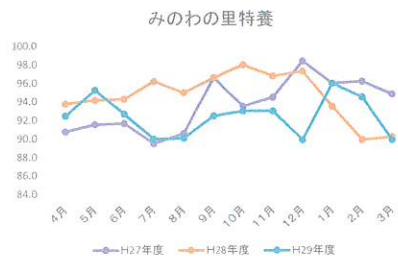
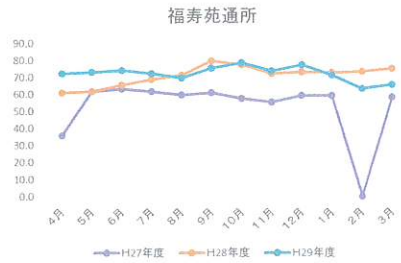
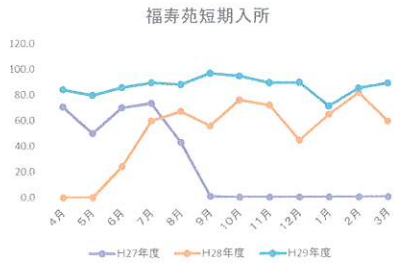
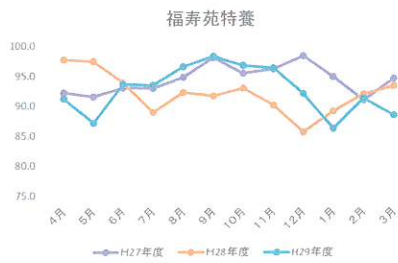
社会福祉法人 川福会 平成29年度 各事業 稼働率一覽表

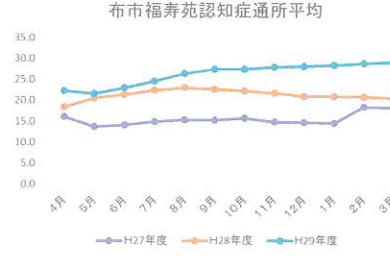
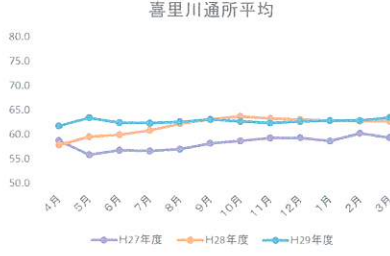
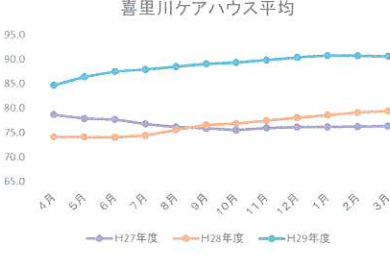
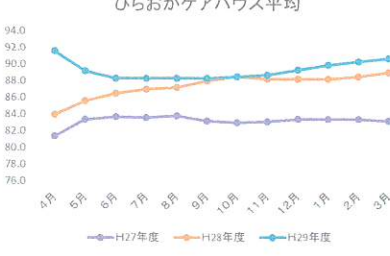
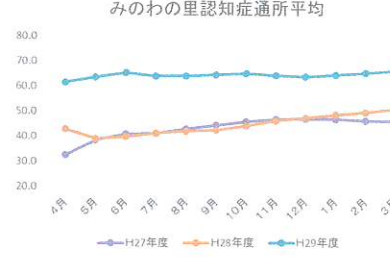
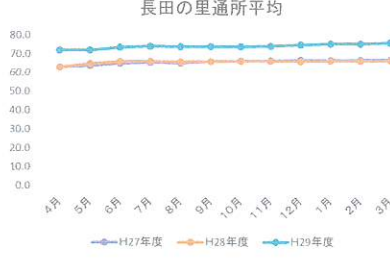
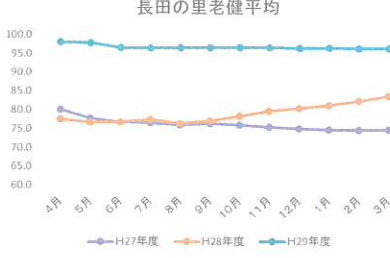
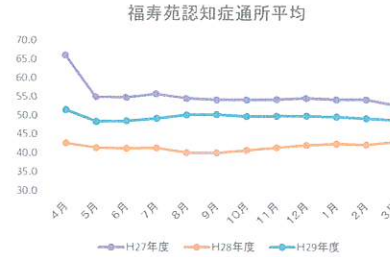
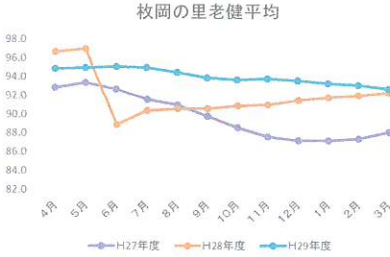
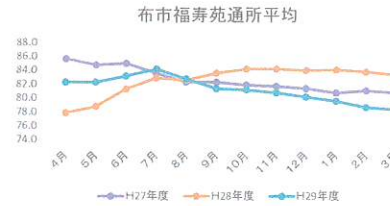
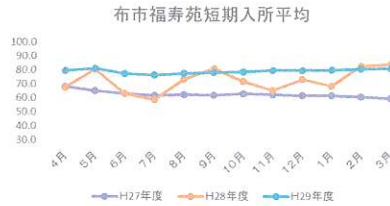
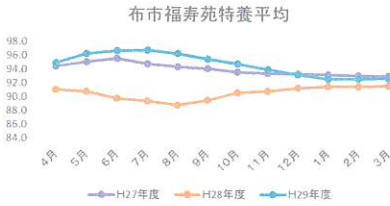
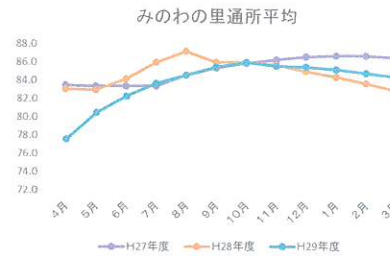
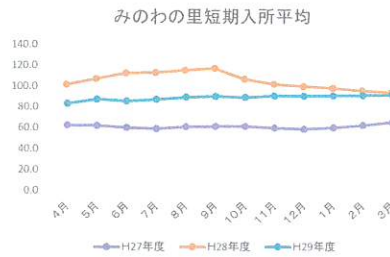
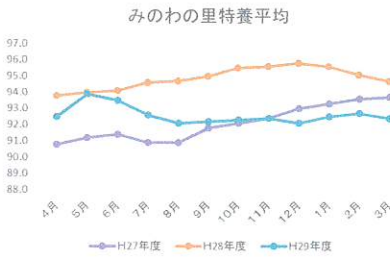
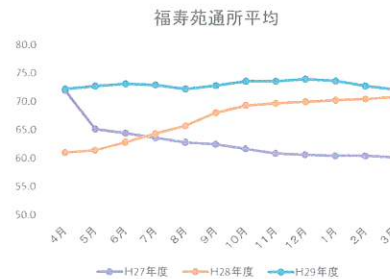
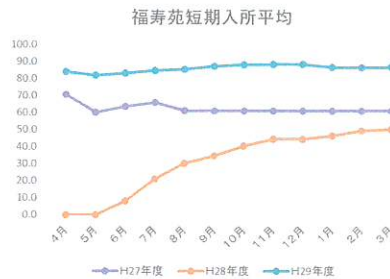
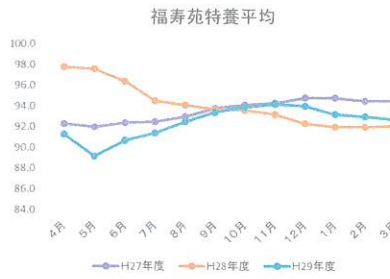
拠点区分	サービス区分	定員	年度	項目	年間目標	単月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
枚岡の里	介護老人保健施設	90	H29年度	稼働率	94.0 %	単月稼働率	94.9	95.0	95.5	94.6	92.4	90.7	93.0	94.6	91.4	91.0	90.5	88.7
			平均稼働率			94.9	95.0	95.1	95.0	94.5	93.9	93.7	93.8	93.6	93.3	93.1	92.7	
			H28年度			単月稼働率	96.7	97.2	89.9	94.8	91.4	90.9	92.2	92.1	95.7	94.1	94.8	95.6
長田の里	通所リハビリ	30	H27年度	稼働率	92.0 %	平均稼働率	96.7	97.0	88.9	90.4	90.6	90.6	90.9	91.0	91.5	91.8	92.0	92.3
			H29年度			単月稼働率	92.9	93.8	91.4	88.5	88.4	83.5	81.7	86.1	83.4	86.9	90.2	95.9
			平均稼働率			92.9	93.4	92.7	91.6	91.0	89.8	88.6	87.6	87.2	87.2	87.4	88.1	
ひらおか	軽費老人ホーム	60	H28年度	稼働率	94.0 %	単月稼働率	98.1	97.8	94.0	96.1	96.8	96.6	96.6	96.5	95.6	97.3	94.2	95.9
			平均稼働率			98.1	97.9	96.6	96.5	96.6	96.6	96.6	96.6	96.4	96.5	96.3	96.3	
			H29年度			単月稼働率	77.6	75.9	79.4	79.4	72.3	80.8	85.1	88.7	86.9	88.8	93.7	98.2
喜里川	通所介護	18	H27年度	稼働率	85.0 %	平均稼働率	77.6	76.7	76.8	77.4	76.4	77.1	78.3	79.6	80.4	81.2	82.3	83.6
			H28年度			単月稼働率	80.2	75.5	74.6	76.1	73.9	77.9	73.7	71.1	72.1	72.2	72.8	75.8
			平均稼働率			80.2	77.8	76.8	76.6	76.0	76.4	76.0	75.4	75.0	74.7	74.6	74.7	
喜里川	通所介護	18	H29年度	稼働率	75.0 %	単月稼働率	72.2	72.1	76.8	75.9	73.1	74.2	73.8	75.9	82.2	78.6	76.3	81.1
			平均稼働率			72.2	72.2	73.7	74.3	74.0	74.1	74.0	74.3	75.1	75.5	75.5	76.0	
			H28年度			単月稼働率	63.1	67.1	68.2	66.4	64.9	66.4	67.9	66.2	64.7	69.9	65.1	68.2
喜里川	通所介護	18	H27年度	稼働率	80.0 %	平均稼働率	63.1	65.0	66.1	66.2	65.9	66.0	66.3	66.3	66.1	66.4	66.3	66.5
			単月稼働率			63.2	64.8	67.6	67.1	64.2	69.7	68.5	67.5	69.9	64.3	67.8	66.5	
			平均稼働率			63.2	64.0	65.2	65.7	65.4	66.1	66.4	66.5	66.9	66.7	66.8	66.8	
喜里川	通所介護	18	H29年度	稼働率	36.0 件	単月稼働率	40.3	43.0	42.8	40.3	39.5	35.8	24.0	25.0	26.3	27.2	21.7	27.5
			平均稼働率			40.3	41.6	42.0	41.6	41.2	40.3	37.0	35.0	33.8	32.9	32.4	31.9	
			H28年度			単月稼働率	41.0	27.5	29.0	44.0	43.0	42.3	41.8	43.0	41.5	38.5	36.8	37.3
喜里川	通所介護	18	H27年度	稼働率	36.0 件	平均稼働率	41.0	32.9	31.4	34.0	35.5	36.4	37.1	37.8	38.1	38.2	38.0	
			単月稼働率			34.0	34.5	34.5	35.5	36.0	37.0	38.0	38.0	39.5	25.7	27.2		
			平均稼働率			34.0	34.3	34.3	34.6	34.9	35.3	35.6	35.9	36.3	34.8	33.9		
喜里川	通所介護	18	H29年度	稼働率	93.0 %	単月稼働率	91.6	86.8	86.6	88.4	88.0	88.3	90.0	89.9	93.7	95.5	94.6	95.4
			平均稼働率			91.6	89.2	88.3	88.3	88.3	88.3	88.5	88.7	89.3	89.9	90.3	90.7	
			H28年度			単月稼働率	84.0	87.2	86.3	88.3	88.3	91.7	91.3	86.7	87.6	89.0	90.8	94.9
喜里川	通所介護	18	H27年度	稼働率	95.0 %	平均稼働率	84.0	85.6	86.5	87.0	87.2	88.0	88.5	88.2	88.2	88.2	88.5	89.0
			単月稼働率			81.4	85.4	84.3	83.3	84.7	80.2	81.6	83.8	85.8	83.3	83.3	81.6	
			平均稼働率			81.4	83.4	83.7	83.6	83.8	83.2	83.0	83.1	83.4	83.4	83.4	83.2	
喜里川	通所介護	18	H29年度	稼働率	91.0 %	単月稼働率	84.8	88.0	89.8	89.4	90.9	92.3	91.0	93.9	94.5	93.7	91.3	89.2
			平均稼働率			84.8	86.5	87.6	88.0	88.6	89.2	89.5	90.0	90.5	90.9	90.9	90.8	
			H28年度			単月稼働率	74.2	74.2	73.8	75.7	80.5	81.7	78.8	81.7	83.3	83.3	84.8	83.5
喜里川	通所介護	18	H27年度	稼働率	91.0 %	平均稼働率	74.2	74.2	74.1	74.5	75.7	76.7	77.0	77.6	78.2	78.7	79.3	79.6
			単月稼働率			78.8	77.3	77.3	74.2	74.2	74.2	74.2	74.2	78.3	78.5	75.8	77.3	
			平均稼働率			78.8	78.0	77.8	76.9	76.3	76.0	75.7	76.1	76.3	76.3	76.4	76.5	
喜里川	通所介護	18	H29年度	稼働率	80.0 %	単月稼働率	61.8	65.0	60.5	62.4	63.6	65.8	60.3	60.3	65.4	65.0	63.4	69.1
			平均稼働率			61.8	63.5	62.5	62.4	62.7	63.2	62.8	62.5	62.8	63.0	63.0	63.6	
			H28年度			単月稼働率	57.9	61.3	60.7	63.7	67.7	67.5	67.5	60.5	61.5	61.8	61.3	62.1
喜里川	通所介護	18	H27年度	稼働率	90.0 %	平均稼働率	58.8	52.9	58.7	56.3	59.0	64.0	61.7	64.4	60.2	51.5	77.2	50.0
			単月稼働率			58.8	55.9	56.8	56.7	57.1	58.3	58.8	59.4	59.5	58.8	60.4	59.5	
			平均稼働率			58.8	55.9	56.8	56.7	57.1	58.3	58.8	59.4	59.5	58.8	60.4	59.5	

備考  
(黄色網掛け部分)

施設改修により  
H27年11月から  
H28年5月まで  
定員30から82  
に変更

H28年3月定員  
20から18に変更  
H28年2月福寿苑通  
所介護休止による受  
入





社会福祉法人 川福会 新規事業・既存事業 平成29年度採用報告

平成30年3月31日現在

採用協会	新規事業採用数 パート	既存事業採用数 パート	採用職種・雇用形態・人数(職種) (初)介護正職1・看護パート6	採用職種・雇用形態・人数(既存)	予算	決算	担当者	業務開始日 (実行開始日)	業務終了予定日 (会計終了日)	採用者数	備考
ハローワーク・福祉人材センター	2	0	0	0	0	0	管理職	2017/6/1	2018/3/31		
新卒	0	0	0	0	0	0	本部長・副本部長	2018/2/28	2018/2/28		
中途	2	6	6	6			施設長・運営部長	2017/6/1	2018/3/31	介護(正)2名	
学校訪問(新卒)	5	0	0	0	1,000,000	0	管理職	2017/5/1	2018/2/28	新卒介護(正)8名	
大塚府下	3	0	0	0	100,000		開発課長	2017/5/1	2018/2/28		
大塚府下	2	0	0	0	1,000,000		管理職	2017/4/18	2018/3/31		
福祉フェア等	4	0	0	0	250,000	201,440	本部長・副本部長				
大塚府下社会福祉協議会	1	0	0	0	300,000		運営部長・次長	2017/6/1	2018/3/31	介護(正)1名・看護(P)1名	
介護ジョブフェア	3	0	0	0	1,500,000	1,274,400	開発課長・総務課長	2017/5/1	2018/2/28		
遊学学園(新卒)	1	0	0	0	0		開発課長	2017/7/1	2017/7/1	初卒介護(正)1名	
地方学校線への懇話会(ブレイクメント)	1	0	0	0	800,000	540,000	開発課長	2017/7/1	2017/7/1	介護(正)1名	
( )						200,000					
( )											
( )											
( )											
折込チラシ	9	0	0	0	700,000	285,424	本部長	2017/6/1	2017/3/31		
鶏見区港口を中心に5km圏内	5	19	19	19	4,000,000	0	副本部長・総務課長	2017/6/1	2017/6/1	介護(P)5名・看護(P)2名	
大東市御所を中心に5km圏内	2	5.5	5.5	5.5	2,000,000	417,917	副本部長	2017/10/1	2017/10/1	介護(P)2名・CM(P)1名	
ホステイング(大東)						684,440	副本部長	2019/2/1	2018/2/28	介護(正)1名(P)6名・看護(P)1名	
ホステイング(鶴見)						353,120	副本部長	2017/11/30	2017/11/30	介護(正)1名(P)4名	
ジョブ(鶴見)リサーチ	2	3.5	3.5	3.5	1,000,000	991,440	副本部長	2016/7/1	2018/3/31	介護(正)3名・介護(P)2名・看護(正)2名(P)6名PT2名・清掃員(P)1名	
ジョブ(鶴見)リサーチ						1041,754					
WEB検索	3	0	0	0	180,000		総務課長	2017/4/1	2018/3/31		
マイナビ	2	0	0	0	1,350,000	604,800		2017/4/1	2018/3/31		
リクナビ	1	0	0	0	250,000	216,000		2017/7/1	2018/3/31	介護(正)1名	
バイトル						220,954					
ホームベータ							開発課長・総務課長				
タウン誌	2	0	0	0	900,000	129,600	管理職	2017/9/1	2017/9/30		
ぼと						129,600	施設長・運営部長				
タウンワーク	2	0	0	0	800,000						
( )											
その他	0	2	0	0	300,000	439,280					
職員紹介								2017/9/1	2017/9/1	居宅CM1名・介護(P)2名介護(正)1名・看護(P)1名	
人口統計等						63,120					
大学共同巡回求人ナビ							本部長				
紹介会社							本部長・副本部長	2017/4/1	2018/3/31	業務師1名(人材紹介)・看護師(正)1名	
紹介	1	1	1	1	3,000,000	1,695,000		2017/4/1	2018/3/31	医師1名(人材紹介)	
紹介						2,892,000					
施設見学等							管理職	2017/9/1	2017/9/30		
見学								2017/9/1	2017/9/30		
環境研修 (バスターツアー実施)											
実習受け入れ											
求人チラシ						58,160					
											(正職)17名・看護3名(P)3名・看護(P)1名 (正職)P2名・CM1名・(パート)CM1名・事務員1名・清掃員4名 ・医師1名・業務師1名(合計)26名(新卒者正職)介護9名
合計	27	36			16,100,000	10,173,468					





## 法人内部研修一覧表

月日	研修名	参加者
7/4	平成 29 年度法人方針説明会	管理職・業務監督職
12/6	業務監督職説明会	管理職・業務監督職

月日	研修名	参加者	
4/1	理念・ビジョン・経営方針について	平成 29 年度新卒採用職員	
	接遇マナーについて		
4/3	事故発生防止について		
	感染症予防について		
	介護の心得		
	介護技術（口腔ケア・誤嚥性肺炎の予防）		
4/4	認知症理解		
	救急救命講習		
	緊急時の対応について		
4/5	映画から気づきを学ぶ		
	絵画から気づき、疎通を学ぶ		
4/6	認知症の人とのコミュニケーション		
5/17	接遇マナー		平成 27 年度新卒採用職員
	社会福祉法人の在り方		
	3年目の職員に伝えたいこと		
	介護技術		
6/17	接遇マナー	平成 27 年度中途採用職員	
	入職してから今までをふりかえって		
7/15	理念・ビジョン・経営方針について	平成 28 年度中途採用職員	
	認知症理解		
8/19	社会福祉法人の在り方	平成 28 年度新卒採用職員	
	2年目の職員に伝えたいこと		
10/21	入職してから今までをふりかえって	平成 29 年度新卒採用職員	
	人権研修		
1/20	人権研修	平成 27 年度中途採用職員	
	社会福祉法人の在り方		
	期待されている立場と役割		
	後輩スタッフとの接し方		

平成29年度 役員・本部職員研修参加一覧表

年月日	研修名	研修主催機関	参加者
7/1	関西福祉科学大学開学20周年記念セミナー	関西福祉科学大学	常任理事
7/7	社会福祉施設経営セミナー	福祉医療機構	常任理事
7/13~7/14	全国社会福祉法人経営青年会基礎講座	経営青年会	副本部長
7/26	社会福祉施設経営実務・開設セミナー	福祉医療機構	本部長
7/26	平成29年度朗務ゼミナール(第1回)	全国経営協	総務課長
7/26~28	全国老人保健施設大会	全老健	常任理事
7/27	社会福祉法人会計セミナー	福祉医療機構	経理部次長
8/29	平成29年度朗務ゼミナール(第2回)	全国経営協	総務課長
8/31	理事長・施設長セミナー	大阪府社協	本部長・副本部長
9/14・15	経営協大会	全国経営協	理事長・本部長
10/11	平成29年度朗務ゼミナール(第3回)	全国経営協	総務課長
10/3・4	人材マネジメント講座	全国経営協	人財採用課長
10/3~5	社会福祉施設経営者研修	中央福祉学院	常任理事
11/1・2	監事専門講座	全国経営協	経理部次長
11/2	特別養護老人ホーム経営セミナー	福祉医療機構	常任理事・本部長・副本部長
11/16・17	全国ボランティアフォーラム	フォーラム実行	常任理事
11/29・30	社会福祉法人21世紀セミナー	全社協	常任理事
1/22	社会福祉法人労務管理セミナー	全国経営協	本部長
1/29~2/3	介護人材「ベトナム・インドネシア」現地視察ツアー	アリス国際学園・アリス・スタッフ(株)	理事長
2/8	慢性期医療セミナー	福祉医療機構	常任理事
2/13	権利擁護・虐待防止セミナー	全社協	常任理事
2/13	会計実務者決算講座	全国経営協	経理部次長
2/14	平成29年度朗務ゼミナール(第5回)	全国経営協	総務課長
3/24	介護経営講座	(株)エス・エム・エス	副本部長

地域における公益的な取組（改正社会福祉法第24条第2項）に類すると考えられる取組

※下記取組については、地域公益事業（改正社会福祉法第55条の2第4項第2号）にも類する取組と考えられる。

実施施設	取組	取組内容	開催時期等
特養 ケアハウス	大阪府社会貢献事業	生活困窮者レスキュー事業として制度の狭間などで生活を抱える方への総合生活相談と緊急支援を行う。	随時
各施設	就労訓練事業（都道府県認定事業）	自立相談支援機関からの紹介により就労に困難を抱える方を受け入れ、就労の機会の提供と生活面や健康面での支援を行う。	随時
各施設	大阪府広域就労支援事業	就労訓練事業と内容は同様（大阪地域職業訓練センターや福祉事務所からの紹介による）	随時
福寿苑 枚岡の里 喜里川	ぼかぼかサロン	ケアハウス喜里川にて地域の高齢者や住民があつまる場を提供。低価格でカラオケや喫茶等を開催。	毎月第4土曜日
福寿苑 枚岡の里 布市福寿苑	買い物支援	地域自治会と連携等、地域高齢者に外出支援を実施。施設の車両で送迎を行い、スーパー等への買い物支援を実施。	随時
みのわの里	ふれあいサロン	施設にてカフェ風の雰囲気で開催。カラオケ・健康麻雀・創作活動・脳トレ等を通じて地域住民と地域高齢者の交流の場を提供。	年3回
みのわの里	すまいるカフェ	地域の認知症高齢者、家族、地域住民を対象にカフェを開催し認知症の理解を深めると共に介護者の交流の場を提供。	2カ月に1回
布市福寿苑	かわふくくんカフェ	施設の喫茶ルームを開放して、地域住民に低価格提供のカフェを開催。	毎日
布市福寿苑	認知症カフェ	施設喫茶ルームを開放してグループホームと共同で地域住民に低価格提供のカフェを開催。	毎月1回
ひらおか	ふれあい喫茶	地域自治会・高齢者と入居者の交流会を開催。	月2回
ごりょうの家	地域サロンの運営	御領地区の地域住民と、事業所、地域包括、社協等が共同でサロンを運営。	12月、1月、3月

みのわの里 布市福寿苑 長田の里 福寿苑 枚岡の里 ひらおか 喜里川	福祉祭り ファミリー祭り コミュニケーション祭り ひらおか健康祭り (4施設合同)	職員、各種団体、ボランティア、地域自治会、地域自治会、高等学校、専門学校、大学との協力で、屋台、子供ゲーム、ビンゴ大会、カラオケ、介護相談等、地域住民との触れ合いの場を提供。	年1回
--	---	---	-----

地域における公益的な取組（改正社会福祉法 24 条第 2 項）に類しないと考えられる取組

各施設	社会福祉法人減免	生計の困難な方等に介護保険サービスの利用者負担額の軽減を行う事業	年1回
各施設	地域交流	保育園・小学校・中学校・高等学校等の生徒が各施設へ訪問、又施設側から学校への訪問等交流を図る	随時
各施設	職場体験	大阪府社会福祉人材支援センターに登録。	随時
各施設	職場体験	施設の近隣中学の職業体験を受け入れする。	随時
各施設	地域の見守り活動	各車両に「こども 110 番」のステッカーを貼り、施設の玄関に「こども 110 番の家」のぼりを立て啓発活動を行っている。	随時
各施設	地域清掃	施設まわりの道、公園等の清掃を実施。	月1回
各施設	夢貯金箱	日本財団の社会貢献自動販売機の設置。	随時
各施設	各施設会議室等の活用	地域自治会、婦人会、各種団体施設の会議室等での会議や活動等に場所の提供 例：ひらおか・小地域ネットワーク推進委員会の会議等 福寿苑・「生命の貯蓄体操」会場提供、「東大阪断酒会」例会会場提供 布市福寿苑・ハッピークラブ（小学生英会話教室ボランティア）、絵手紙クラブ、パッチワーククラブ、子育て支援ニコニコの3世代交流活動。	随時

各施設	東大阪市民ふれあい祭り	介護相談ブースや子供ゲーム、屋台等を出展。	毎年5月
みのわの里	介護予防教室	地域包括支援センター主催でリハビリ体操や3B体操を地域向けに開催。	随時
福寿苑	地域行事支援	「枚岡秋郷祭」での無償お茶提供、休憩場所の提供。	毎年10月
ひらおか	4施設合同夏祭り	布団太鼓、出雲井鳥居太鼓台の休憩と交流の場として施設玄関前の開放。	毎年8月
枚岡地域施設	地域自治会	福寿苑・枚岡の里・ひらおか・喜里川が入所者向けの合同夏祭りを開催。地域中学校生のボランティア参加により入り居されている方との交流の実施。	年数回
ひらおか	会場提供	地域行事への施設備品貸出し。	毎月複数回
喜里川	焼いも無償提供	地区を担当する地域包括支援センターの様々な取り組みに対する会場提供	11月
みのわの里	ボランティア受入れ	施設行事として調理した焼いもを地域の方に無償で提供	年3回
みのわの里	施設見学	市社協のボランティア養成講座、認知症サポーターステップアップ研修受講生等のボランティアを受入れている。	年3回
みのわの里	加納ふれあい祭り参加	市社協のシニア活動実践塾や民生委員の施設見学を行っている。	年1回
みのわの里	車いす無料貸出し事業	加納小学校で開催される地域の祭りに協力機関として参加し、介護相談ブース、疑似体験コーナー、福祉用具展示を設置。	随時
布市福寿苑	休憩場所の提供	貸出し専用の車いすを3台確保し必要な地域の方に貸与。	毎年10月
布市福寿苑	公園の花壇植え替え	地域春日神社祭だんじりの休憩場所として、駐車場を開放。	年4回
布市福寿苑	障害者施設へ駐車場提供	東石切町公園の花壇の植え替えを実施。	随時
		障害者施設が耕している畑が施設の近くにある為、その車両駐車において、職員駐車場の解放。	



## 特別養護老人ホーム福寿苑 事業報告

### 【1】 施設運営を振り返って

厚生労働省が推進している「地域包括ケアシステム」（2025年（平成37年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を推進）の担い手として、医療と介護施設、事業が集約されている当施設の利点を最大限に発揮して行くことを目指して運営を実施してまいりました。

### 【2】 中期的展望における進捗状況について

基本方針等に基づき当施設の課題を以下の三点として挙げ、運営を実施。

拠点の課題についてはそれぞれが双方向で連動しており長期的スパンで改善を実施して行く必要があることから、現状においても随時実行中であります。

#### （1）制度改正等への対応

制度改正による「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施を、サービス提供する側として、またサービスを紹介・調整する側の双方から制度改正への取り組みを実施し、利用者への利便性の向上を目指し運営を実施しました。

#### （2）職員の資質の向上

法人で決定した新規事業への人材協力（育成）を行えるよう、職員による目標管理や研修制度などにより職員の資質の向上に可能な限り努めてまいりました。

#### （3）収益の改善

稼働の向上に努めると共に、運営の合理化による支出の抑制など、収益の強化・運営状況改善を目指し運営。

### 【3】 施設の課題について

拠点としての課題の中より、平成29年度は以下の施策に取り組みました。

（1） 制度改正への対応として介護予防・日常生活支援総合事業（現行相当サービスの実施）を実施しております。

（2） 地域における公益的な取組の更なる強化と効率化について、社会貢献事業の「買い物ツアー」や「いきいきサロン（みさきサロン）」の実施の他、関係機関との連携などによる共同開催など、人的負担の軽減を図りながら提供サービスの内容低下を防いでゆけるよう模索しております。

（3） 介護人材の確保及び資質の向上。

昨年度に続き、介護技術や接遇の向上を目指しましたが、昨今の人的確保の難しさ等から各職員への十分な研修を実施する事は十分に実施できておりません。

人的確保については昨年度も大きな課題となっており、喫緊の改善事項と言えます。

（4） 枚岡地域の「地域包括ケアシステム」の一拠点となるべく、同一敷地内の「医療施設」「老人保健施設」との相互連携を強化できるよう努め、平成29年度は長期

間休止していた「ひらおか健康まつり」を9月に再開する事ができました。

#### 【4】 拠点の目標と実施状況について

##### ○特別養護老人ホーム

空床発生から次入所者の決定までのタイムラグを可能な限り短縮し効率化を進め、概ね10日以内に新規入所できるよう対応。

入所者の健康管理に努め、退所や入院者の減少に努めております。

##### ○短期入所

定期利用者の増加等を目指し、各居宅介護支援事業所への積極的通知などにより、稼働率を高める働きを実施。

##### ○通所介護（認知症対応型を含む）

稼働向上に向けレクリエーション内容や送迎など業務の細かい部分の見直しを実施。

##### ○訪問介護

積極的な人材採用を目標とし、定期的な広告募集を実施。

収入に対する人件費比率を抑制するため、効率的な職員配置の実施。

##### ○居宅介護支援事業

関係職種との連携に努め、ご利用者からのニーズにスムーズに対応できるよう運営を実施。

##### ○地域包括支援センター

予防給付者への地域支援事業移行に伴う制度改正等への対応を実施。

生活支援コーディネーターを中心に「介護予防・日常生活支援総合事業」を推進。

担当地域の関係団体や他職種等とのさらなる連携を進めております。

#### 【5】 数値目標と実績について

稼働・収益目標に対する進捗報告。

収益力強化に向けての取り組みとして、収入や支出、人件費その他の経費支出など総合的な判断により、稼働率等において明確な目標を策定して日々の事業実施・管理を実施し、前年度より稼働状況等は向上してまいりましたが、年度目標においてその多くの事業において未達成となっており、課題の多い結果となっております。

	H29 目標	H29 実績	増減
特別養護老人ホーム福寿苑	96% (1月平均)	92.7%	-2.3%
特別養護老人ホーム福寿苑 (短期入所)	80% (1月平均)	86.8%	6.8%
通所介護（一般）	75% (1月平均)	72.3%	-2.7%



通所介護（認知）	75% (1月平均)	48.9%	-26.1%
訪問介護	15件 (稼働1日あたり)	9.4件	-5.6件
居宅介護支援事業所	39件 (1月1名あたり)	38.5件	0.5件

## 【6】各事業の目標と実施状況について

### ○特別養護老人ホーム福寿苑

- ・新規利用者や退院者のスムーズな受入れが実施可能なよう、入所までのタイムラグの短縮の為、早期面談の実施・連携、協力体制の強化による情報提供等にて期間短縮が実施されています。
- ・人員不足傾向による困難さはありませんでしたが、可能な限り外部研修の積極的参加及び内部研修の開催増加により、職員資質の向上を実施しております。
- ・入所者様の生活の質を向上させるため、レクリエーションやクラブ活動、行事の充実に努力しております。特に要介護状態の重度化が進んでいる事から、開催時間の変更や短縮、訪問場所を近場で検討（移動時間の短縮目的）などの見直しを積極的に実施致しました。
- ・入院・老健・在宅サービス等が集中している特色を活かし、医療と介護の連携による「地域包括ケアシステム」の構築に協力を実施。

### ○福寿苑短期入所

- ・FAX等にて空き状況の開示、行事の案内などにより発信力の強化にて、稼働状況は好転しております。

### ○福寿苑デイサービスセンター

- ・居宅介護支援事業所へのアピール強化、送迎範囲の拡大などの実施により、稼働状況は昨年度よりも上昇傾向となりました。
- ・提供サービスの特性を活かし、車両や運転手の提供によって社会貢献事業へ積極的な協力を実施。
- ・職員のスキルアップのため、可能な範囲で研修等を実施。事業所全体のレベル向上に努めておりますが、職員の不足傾向から外部研修等への参加は一部となっております。
- ・レクリエーションメニューの増加や行事の企画など、事業所の特色や個性を創出できるよう検討した結果、利用率が向上致しました。

### ○福寿苑ヘルパーステーション

- ・人員の不足傾向への対応の為、効率的な人材の配置を心掛け、サービス提供を実施しております。
- ・職員の資質向上と職員間の提供サービスのレベルを均一化するため、勉強会や研修会等を開催。
- ・制度改正に対応し、介護予防・日常生活支援総合事業（現行相当サービス）の事

業を実施。

○福寿苑居宅介護支援事業所

- ・地域医療や地域包括支援センター、各サービス事業所などの機関と連携に努め、ご利用者のニーズに的確に対応できる支援体制を構築できるよう努めました。
- ・援助技術や知識などのスキル向上のため、外部研修や専門的研修等には積極的に参加。
- ・常に受け入れ可能な人数を把握し、担当上限枠の遵守と、特定事業所加算の維持継続を実施。

○地域包括支援センター福寿苑

- ・地域包括ケアシステムの中核機関としての役割を果たすため、担当地域の関係機関との更なる連携の強化、地域ケア会議の開催を通して地域の課題抽出や社会資源の把握など、問題解決のためのネットワーク作りを実施。
- ・多職種連携会議の定期的開催により、医療機関への積極的働きかけを実施。
- ・認知症への更なる理解啓発のため、「認知症サポーター養成講座」を開催するとともに、受講者の活動の場の提供についての取り組み開始。
- ・地域の地域密着型サービス（グループホーム、認知症対応型通所介護など）の運営推進会議などへ参画。開催の協力等を実施。

【7】別表

年間防災訓練実施報告：特別養護老人ホーム福寿苑

月 日	種 別	内 容
7月16日	土砂災害時への避難訓練	火災だけでなく土砂災害や水害により、多くの被害が発生している事から、起こりうる土砂災害について避難時の注意点や避難方法を説明し、一部の入所者様には避難訓練に参加して頂きました。
11月1日 11月2日	初期消火訓練	苑庭にて水消火器を使った消火訓練を実施。また、施設内に置いている消化器の確認を実施。
12月4日	火災発生時の避難訓練	入所者様に火災発生時の注意点や職員の対応手順について説明を行う。実演を交えた説明では、数名の利用者様には実際に避難誘導に参加して頂きました。
2月17日	緊急連絡網訓練	緊急時の職員伝達を実施しました。
3月23日	通報訓練・避難訓練	枚岡の里との合同火災訓練を実施。東消防署員立会いのもと、通報訓練を含む火災発生から避難誘導までの一連の訓練を行いました。火災場所は夜間帯に2階厨房内より火災が発生した事を想定。

年間行事実施報告：特別養護老人ホーム福寿苑

	行事内容
4月2日 4月6・10日	日新高校桜祭りへ参加し校庭内にある満開の桜を見学しました。(4月2日) 花見ドライブを実施し、花園→山本→新池島 花園→額田→石切にある桜を車内から見学して頂きました。(4月6日・10日)
6月1日	八尾アリオへ遠足に出かけ、外食や買い物を楽しんで頂きました。
7月6日	七夕会を1階ダイフロアーにて実施。かき氷やバリエーション豊富なお菓子の提供を行い、スイカ割りや笹に短冊を付けて頂きました。
8月5日	枚岡の里・ケアハウスひらおか・ケアハウス喜里川4施設合同による夏祭りを実施。苑庭に模擬店を開き、たこ焼きやたい焼き等の屋台だけではなく、ゲームやカラオケ等の催し物も実施し祭りを楽しんで頂きました。
9月10日 9月14日	枚岡病院・枚岡の里・ケアハウスひらおか・ケアハウス喜里川合同による地域交流祭りを実施。苑庭に模擬店を開き、屋台・ゲーム等の催し物を実施し祭りを楽しんで頂きました。(9月10日) デイサービス合同による敬老祝賀会を実施。若宮子供園を招待し、園児達による催し物、職員による余興を行い、敬老の祝いを行いました。(9月14日)
10月14日 10月15日 10月19日	枚岡秋郷祭により、枚岡神社に宮入りする太鼓台を見学。(10月14・15日) イオンモール鶴見緑地へ遠足に出かけ、外食や買い物を行いました。(10月19日)
11月6日 11月13日	神戸動物王国へ遠足に出かけ、外食や動物見学を行いました。
12月17日	クリスマス会をダイフロアーにて実施。バイキング形式での食事の提供とし、職員によるゲームやダンスを披露し楽しんで頂きました。
1月1日 1月18日 1月29日	元旦祭をダイフロアーで行いました。新年の挨拶や入所者様からの今年の抱負を聞き、施設で作成したおみくじを引いて頂きました。(1月1日) 石切神社へ初詣やおみくじを行いました。(1月18日) 枚岡神社へ初詣とおみくじを行いました。(1月29日)
2月3日 2月6日	節分祭を実施。鬼に扮した職員に豆まきを行って頂きました。(2月3日) 昼食に入所者様の前で寄せ鍋や雑炊を作り召し上がって頂きました。(2月6日)
3月3日 3月26日 3月29日	ひな祭りを実施。甘酒、雛あられ、綿あめを召し上がって頂き、お内裏様とお雛様に扮した職員と一緒に記念撮影を行いました。(3月3日) 花見ドライブにて花園→山本→新池島にある桜を車内から見学しました。(3月26日) デイサービスと合同で室内運動会を実施。(3月29日)
その他	・誕生日会(毎月)・ホーム喫茶(毎月) ・ビデオ観賞会(毎月)・リズム体操(毎月)・歌謡クラブ(毎月)

年間行事実施報告：福寿苑デイサービスセンター

月	行事内容	定期行事
4月	お花見ドライブ	音楽療法（毎火）.散髪（月2回） 誕生日会（月1回）
5月	セラピードッグ	音楽療法（毎火）.散髪（月2回） 誕生日会（月1回）
6月	新緑の下で喫茶（茶話会）	音楽療法（毎火）.散髪（月2回） 誕生日会（月1回）
7月	昼食バイキング	音楽療法（毎火）.散髪（月2回） 誕生日会（月1回）
8月	夏祭り	音楽療法（毎火）.散髪（月2回） 誕生日会（月1回）
9月	敬老祝賀会（特養合同）	音楽療法（毎火）.散髪（月2回） 誕生日会（月1回）
10月	買い物ツアー 枚岡秋郷祭見学	音楽療法（毎火）.散髪（月2回） 誕生日会（月1回）
11月	焼き芋大会	音楽療法（毎火）.散髪（月2回） 誕生日会（月1回）
12月	忘年会	音楽療法（毎火）.散髪（月2回） 誕生日会（月1回）
1月	新年会	音楽療法（毎火）.散髪（月2回） 誕生日会（月1回）
2月	色紙絵作り 節分豆まき	音楽療法（毎火）.散髪（月2回） 誕生日会（月1回）
3月	ひな祭り・室内運動会（特養と合同）	音楽療法（毎火）.散髪（月2回） 誕生日会（月1回）
その他 （毎月実施）	誕生日会・ハーモニカ演奏会・リズム体操 アコーディオン演奏会・ピアノ演奏会・フットマッサージ	

年間研修実施報告：特別養護老人ホーム福寿苑

	研修内容（テーマ）	参加職種
4月	個人情報保護についての研修	正職介護員
	要配慮者利用施設等における災害対策説明会	施設長
5月	事故・リスクマネジメントに関する研修	介護員・看護師・ケアマネ 生活相談員
	人権啓発研修	施設長
6月	感染症に関する研修	介護員・看護師・ケアマネ 生活相談員
	介護保険施設集団指導	施設長
7月	身体拘束・虐待に関する研修	介護員・看護師・ケアマネ 生活相談員
8月	嚥下・摂食・口腔ケアに関する研修	正職介護員
	安全運転管理者法定研修	施設長
	都道府県経営協セミナー	施設長
	平成28年度新卒採用職員研修（法人研修）	介護員
9月	目標管理の目的・手法（OJTに関する説明）	介護員・看護師・ケアマネ 生活相談員
10月	事故・リスクマネジメントに関する研修	介護員・看護師・ケアマネ 生活相談員
11月	特別養護老人ホーム経営セミナー	施設長
	平成29年度福祉ビジョン21世紀セミナー	施設長
	感染症に関する研修	介護員・看護師・ケアマネ 生活相談員
12月	認知症に関する研修	介護員
1月	平成27年途中採用職員研修（法人研修）	介護員
	移乗介助の研修	介護員
2月	褥瘡に関する研修	介護員
3月	高齢者の人権・虐待に関する研修	介護員・看護師・ケアマネ 生活相談員
	診療報酬集団指導	施設長

年間研修実施報告：福寿苑デイサービスセンター

	研修内容（テーマ）	参加職種
6月	食中毒を防ぎましょう（事業所内研修）	生活相談員 介護員 看護職員
	福祉車両安全運転講習会（外部研修）	生活相談員
	認知症サポーター研修（外部研修）	看護職員
7月	介護予防 日常生活支援総合事業について（外部研修）	生活相談員
	日本ケアレク大会（外部研修）	介護員
8月	認知症サポーター研修（外部研修）	介護職員
9月	認知症サポーター研修（外部研修）	看護職員
10月	住み慣れた自宅で療養生活を受けるために ～枚岡医師会の取り組み～（外部研修）	看護職員
	対人援助技術（外部研修）	生活相談員
11月	支える人のエンパワーメント（外部研修）	介護員
12月	認知症サポーター研修（外部研修）	看護職員
2月	介護事業所における個人情報保護とコンプライアンス （外部研修）	生活相談員
3月	在宅に特化した介護報酬改定（外部研修）	生活相談員
	介護事業における個人情報保護の伝達研修（事業所内研修）	生活相談員 介護員 看護職員
	人権研修（事業所内研修）	生活相談員 介護員 看護職員
	身体拘束と高齢者虐待防止について（事業所内研修）	生活相談員 介護員 看護職員

年間研修実施報告：福寿苑ヘルパーステーション

	研修内容（テーマ）	参加職種
4月	接遇マナー研修（事業所内研修）	ヘルパー
5月	個人情報とプライバシー（事業所内研修）	ヘルパー
6月	食中毒の基本と予防・対応（事業所内研修）	ヘルパー
	認知症サポーター養成講座（外部研修）	ヘルパー
7月	熱中症の基本と対策（事業所内研修）	ヘルパー
8月	救急救命（事業所内研修）	ヘルパー
9月	防災会議～自分たちの街を知る～（事業所内研修）	ヘルパー
10月	認知症ケア（事業所内研修）	ヘルパー
	枚岡在宅医療フォーラム（外部研修）	提供責任者
	他職種連携研修会（外部研修）	提供責任者
	接遇マナー（事業所内研修）	提供責任者
11月	高齢者虐待と人権（事業所内研修）	ヘルパー
12月	感染症の基本と対応（事業所内研修）	ヘルパー
1月	ヒヤリハット・リスクマネジメント（事業所内研修）	ヘルパー
2月	メンタルヘルス（事業所内研修）	ヘルパー
3月	法令遵守「制度改正について」（事業所内研修）	ヘルパー
	在宅に特化した介護報酬に関する研修会（外部研修）	提供責任者
	記録の書き方について（事業所内研修）	新規採用者

年間研修実施報告：福寿苑居宅介護支援事業所

	研修内容（テーマ）	参加職種
4月	他職種連携研修会	主任ケアマネ ケアマネ
	家族介護教室	ケアマネ
5月	認知症研修	ケアマネ
	介護予防・日常生活支援総合事業について	ケアマネ
	指定居宅サービス集団指導	主任ケアマネ
6月	心を高めあう認知症ケア	主任ケアマネ
	相談援助のためのプランニング	ケアマネ
7月	災害研修	ケアマネ
	居宅介護支援事業者部会 ～PT・ST・OTと介護支援専門員の連携～	主任ケアマネ ケアマネ
	東大阪市と介護支援専門員との意見交換会	ケアマネ
8月	対人援助専門講座 ～ソーシャルワーカーの考え方の基本を学ぶ～	主任ケアマネ ケアマネ
	地域福祉ネットワーク推進会議	ケアマネ
	訪問看護とケアマネの連携	ケアマネ
9月	介護事業所における個人情報保護とコンプライアンス対策	ケアマネ
	東大阪市地域ケア会議	ケアマネ
	主任介護支援専門員研修	ケアマネ
10月	心を高めあう認知症ケア（伝達研修）	ケアマネ
	枚岡ケアサロン～在宅でのターミナルケアについて～	主任ケアマネ
	東大阪市認定調査員新規研修会	ケアマネ
	主任介護支援専門員研修	ケアマネ
11月	在宅医療フォーラム～住み慣れた自宅で療養生活を受けるために～	ケアマネ
	身寄りが少ない方の後見制度 主任介護支援専門員研修	ケアマネ ケアマネ
12月	見学・観察実習受入事業所説明会	主任ケアマネ
	認定調査員現任研修会	ケアマネ
	認定調査員実地研修	ケアマネ
	主任介護支援専門員研修	ケアマネ
1月	新しい総合事業が始まりどこがどう変わったか	ケアマネ
	主任介護支援専門員研修	ケアマネ
	主任介護支援専門員更新研修	主任ケアマネ
	災害研修	ケアマネ
	ストレスマネジメントについて	主任ケアマネ ケアマネ



2月	介護現場で困らないために知っておきたい ～成年後見制度と死後の問題～	ケアマネ
	主任介護支援専門員研修	ケアマネ
	主任介護支援専門員更新研修	主任ケアマネ
	精神障害の基礎と個人情報の取り扱い	ケアマネ
	他職種連携研修会	ケアマネ
	ケアマネ交流会	ケアマネ
3月	在宅に特化した介護報酬改定に関する研修会	主任ケアマネ
	東大阪市と介護支援専門員との意見交換会	ケアマネ
	主任介護支援専門員研修	ケアマネ
	主任介護支援専門員更新研修	主任ケアマネ
	創傷治療の基本から在宅での創部管理を考える	主任ケアマネ
	東大阪市介護支援専門員現任者向け研修	ケアマネ

地域包括支援センター事業実績報告書

平成29年度年間分

支援センター名 福寿苑

今年度新規相談実人員 439

相談件数

実態把握加算対象 加算対象外件数	1111 2
相談件数合計	1113

介護予防ケアプラン 作成件数	1
認知症相談件数	119

権利保護援助 件数	6
うち虐待関連件数	2

相談者と相談方法

本人	家族	GM	その他	計
245	148	94	626	1113

訪問	来所	電話	計
1103	10		1113

家族形態

同居	独居	計
446	667	1113

身体状況

不明	未申請	申請中	自立	要支援		要支援計
				1	2	
	88	131	2	389	357	746
総合事業						
要介護度						
総合事業	1	2	3	4	5	要介護計
	17	68	28	5	11	
計						1098

相談内容及び申請代行

	介護保険	介護	福祉サービス	保健医療	家族関係
相談内容	659	78	19	29	11
申請代行	181		2		
	介護予防	基本 チェック	その他	計	
相談内容	39	7	450	1292	
申請代行				183	

サービスの状況と利用希望

	ホームヘルプ	デイサービス	デイケア	ショートステイ	訪問入浴	福祉用具	訪問診療等	訪問看護		
現利用										
利用希望	73	122	3	6	1	101	3	17		
	訪問リハビリ	配食	住宅改修	入所	予防プラン	生活援助	短時間	助け合い	つどい	計
現利用										
利用希望	4	26	84	36	132		6		2	616

単位地域ケア会議

会議出席者	介護支援 専門員	サービス 事業者	医師
	医療機関 職員	自治会	民生委員
	校区福祉委員	関係機関	知人
	単位地域ケア 会議加算対象		

地域ケア支援・生活支援コーディネーター内訳

相談方法

訪問	来所	電話	FAX	計
5		3		8

相談者

虐待関連相談 件数	6
--------------	---

個別加算対象	9
個別加算対象外	
地域ケア支援個別計	9
集団加算対象	45
地域ケア支援加算合計	54
生活支援集団加算対象	9

認知症支援			
認知症カフェ(主催)	認知症 支援カフェ (その他)	認知症あ いしん声 かけ訓練	計
11	11		22

	介護支援 専門員	サービス 事業者	主治医	医療機 関職員	関係機関	知人	NPO法人
地域ケア(個別)	8				1		
地域ケア(集団)	5	8			8		
生活支援(集団)	1				1		
	ボランティア	自治会	校区福 祉委員	民生委 員	老人クラ ブ	その他	計
地域ケア(個別)							9
地域ケア(集団)	1	6		4	2	11	45
生活支援(集団)	3				4		9

高齢者生活支援等会議

地域活動団体				福祉・介護職			
自治会	校区福祉委員	民生委員	老人クラ ブ	居宅介護 支援	訪問介護	通所介護	
3	3	3	2	3	2	3	
医療機関							
医師	歯科医師	薬剤師	その他	計			
1	3	3	1	27			
高齢者生活支援等 会議加算対象							3

実施した支援・内容

地域ケア支援(個別・集団)						
	ケアマネジ メント支援	ソーシャル ワーク 援助	情報提 供	連携支 援	その他	計
個別		2			7	9
集団	1		34		10	45
生活支援コーディネーター活動(集団)						
生活支援 の担い手 の活動状 況確認	生活支援 の担い手 養成支援	総合事 業の制 度説明 等	計			

生活支援コーディネーター(担い手支援)

担い手種別			
助け合い	つどい	計	
グループ種別			
グループ等活動支援	認知症カフェ	その他	計

地域介護予防推進事業等実績報告書(集計表)

平成29年度年間分

支援センター名 福寿苑

地域介護予防活動支援

相談・支援件数	
総件数	
	うちグループ活動支援
23	8

グループ種別					
老人クラブ	校区福祉委員会	自治会	老人Cボランティア	その他	計
				23	23

相談方法					
訪問	来所	電話	FAX	その他	計
				23	23

教室実施状況

開催件数	
介護予防教室開催件数	75
家族介護教室開催件数	11

## 特別養護老人ホームみのわの里 事業報告

### 【1】施設運営の基本的な考え方

- ・社会福祉法人の施設として地域に密着した施設運営ができるように、地域住民のニーズを集約できるシステムを構築し、積極的に地域貢献を実施することで地域資源として地域になくしてはならない施設となります。

⇒平成 29 年度に開催しました地域サロンで、地域課題についてアンケートを実施し、地域住民のニーズを集約しました。「防災の時に備える準備や知識について」「地域の中で、サロンのようにふれあいができる場所の要望」「多方面で、気兼ねなく相談できる場所の要望」がアンケートで多く声があがりました。要望に応えるため、平成 30 年 4 月の地域サロンで防災に備える物品の展示や情報を発信します。

- ・拠点の組織強化及び記録システムの導入を行い、業務効率化を推進してご利用者に対してサービスの質の向上を図る。また、活動内容を積極的に情報発信することで地域住民の信頼を得ることのできる施設となります。

⇒平成 29 年 4 月より、施設介護記録システム導入しました。記録システムを活用し、職員間での入所者様の情報共有がスムーズに行えるメリットがある中で、現在も、紙媒体で管理する部分もあります。記録システムの活用を促進し、業務効率化を継続してご利用者へのサービスの質の向上を行います。

活動内容の積極的な情報発信については、施設前と一か所の薬局パンフレットの設置を行い、地域サロンを年 3 回、すまいるカフェ（認知症カフェ）を 2 ヶ月に 1 回開催しました。平成 30 年度は、パンフレットの設置場所を増やし、スーパー等での介護相談が行えるよう活動していきます。また、地域の民生委員や校区福祉委員の方々を中心に、施設へ来ていただける機会を設けていきたいと考えています。

### 【2】中期的展望

- ・施設設備老朽化に対する大規模改修が完了し、ご利用者がより利用しやすくリニューアルされた。新しくなった施設で引き続きより良いサービスを提供するにあたり、今までと同じではなくより質の高いサービスを提供できるように施設職員が一丸となり推進していきます。

⇒施設の内装や防水工事、空調、特殊浴槽等の施設設備やご利用者の室内環境の改善といった大規模改修により、ご入所者が快適に生活でき、在宅サービスご利用者は、快適な環境でサービスが受ける環境になりました。また、職員も新しい環境で、気持ち新たに一丸となり支援の提供が行えています。施設の内部留保をご利用者、職員に還元したことで、利用者の利便や処遇がより向上するとともに、職員の働く環境も整備できたのではないかと考えています。

- ・職員の働きやすい環境を整備することで職員のモチベーションの向上を図り、職員の考えや思いをくみ取ることができ組織づくりを行い、拠点の人材育成及び

機能強化を推進していきます。

⇒人間力の向上(人材育成)に向け目標管理によるOJTを進めています。今年度は、施設長から課長への目標管理における趣旨説明を行いました。次年度は課長から業務監督職への目標管理の推進を行い、職員の考えや想いをくみ取る機会としながらも、人材育成と働きやすい職場環境を整備し、職員育成とモチベーション向上に努めていきます。

### 【3】施設課題

・施設運営を永続的なものにするため、収支状況を適正化。

⇒平成29年度、収入に関しては、短期入所と通所介護の増収が大きく見込まれます。その他の事業所においても、稼働率安定しみのわの里全体として7億1千万前後の収入が見込まれています。支出に関しては、各事業における適正な人件費率に近づき損益ベースでも黒字になることが見込まれています。来年度も、引き続き、目標予算に基づき収支状況の適正化を目指します。

・施設介護記録システム導入により、作業効率化を行い介護サービスの質の向上、事業稼働率の向上及び安定化

⇒平成29年4月より、施設記録システムを導入しました。健康管理情報や職員間のご入所者情報共有に関してスムーズに行えており部分的に効率化しています。職員によって、施設記録システム(パソコン入力等)の活用に不慣れである為に定着して稼働するに至りませんでした。システムのメリットを活かし、作業効率化を目指して本来業務の介護サービスの質の向上、事業稼働率の向上及び安定化を図ります。

・職員各々の資質向上を図り、ご利用者が満足する質の高いサービスの提供。

⇒ご利用者の満足していただける質の高いサービス提供をめざし、看取り支援開始の体制準備、個別機能訓練加算の体制準備、第三者評価の受審、適時適温・災害時事業継続計画等の検討を行いました。検討された内容については、平成30年4月からの開始となりました。質の高いサービスを提供することで、ご利用者の満足とともに、提供する職員の意識変化による資質向上につながっています。継続し、質の高いサービス提供を目指します。

・職員がより充実して勤務できるようメンタルヘルスに取り組み、風通しの良い施設運営。

⇒職員1人1人に対して、本質的な思いを適時に収集できているかの判断は非常に難しいと考えます。職員1人1人の変化に早く気づくことができ、その人に寄り添うことが出来る組織作りが必要と考えます。また、思いを話すことが出来る環境も必要となりますので、職員が信頼でき、風通しが良く充実して勤務ができるように、日頃より、対話を大切にメンタルヘルスに取り組みます。職員のストレスチェックを10月に行いました。

#### 【4】平成29年度の目標と計画

拠点としての目標

- ・拠点として収支適正化。

⇒【3】施設課題 収支状況の適正化を参照。

- ・リニューアルされた施設やサービス提供の内容をPRし、稼働率の向上。

⇒地域の民生委員、社協のボランティア養成講座、デイサービスによる居宅介護支援事業所に対する内覧会を開催しました。施設に足を運んでもらい、リニューアルされた施設やサービス提供内容をPRできました。継続して、施設に来ていただく機会を設けていきます。

- ・職員のスキルアップのための積極的な人事異動。

⇒今年度、同法人内の異動及び拠点内でのスキルアップのための人事異動が行われました。今後も、有資格者の専門職への異動を含めた、人事異動を行う事で、職員のスキルアップを行っていきます。

- ・昨年に引き続き、地域サロンを継続的に開催して地域住民のニーズを収集し、把握して今後の活動に繋げていく。

⇒年に3回（4月・8月・12月）に地域サロンを開催し、アンケートを実施し、地域のニーズを収集しました。平成30年度のサロンで、収集したニーズに添えていきます。

- ・新たに就労訓練事業を実施。

⇒各事業において、就労訓練事業の対象者はいませんでした。

各事業としての目標

- ・設定した稼働率を達成するための方法を確立。

⇒稼働率を達成するため、訪問での営業方法以外に、事業所に足を運んでもらう営業方法（施設を知ってもらう）の重要性を伝えました。また、新たな加算を取得し、サービスの質の向上につなげ、満足度の高いサービスを提供する事で、稼働率向上につなげていきます。

- ・収支バランスを把握して適正な運営方法を確立。

⇒事業の幹部職員に対して、サービス活動増減差額、人件費率についての説明を行いました。幹部職員に対して、各事業の運営状況を把握に努めてもらうことで運営意識を構築し、適切な人員配置を進めました。今後も、正職員とパート職員とのバランスを図り、適正な運営を確立していきます。

- ・ご利用者にとって常に上質なサービスの提供が出来るよう物事を考慮し、業務改善等提案できる組織づくり。

⇒各事業所で業務改善について話す機会を設けました。事務業務では、サービス記録の重複をなくし、ワイズマンシステム活用状況の再確認等を行い、活用できる機能を再確認しました。見直すことで、新たな取り組みを考え効率よく業務が行えるように、職員が意識することにつながりました。提案はまだ少ないですが、ご利用者に対する上質なサービス提供が行えるように、日々、業務改善に対する意見が活発に出る組織を作っていきます。

【5】数値目標と実績について

事業	H29目標	H29実績	増減
特別養護老人ホーム	96%	92.1%	△3.9%
短期入所生活介護	80%	91.2%	11.2%
通所介護	90%	84.4%	△5.6%
認知症対応型通所介護	80%	66.1%	△13.9%
訪問介護	15件/日	11.9件	△3.1件
訪問入浴	5件/日	3.5件/日	△1.5件/日
居宅介護支援	38件/月	34.5件/月	△3.5件/月
介護予防支援	24件/月	29.4件/月	5.4件/月

【6】各事業の目標と実施状況について

特別養護老人ホーム

・設定した稼働率目標96%を達成します。

⇒平成29年度の平均稼働率 92.1%

空所率＝入院者数6.2% (2493/40150) ＋空所1.7% (681/40150) =7.9%

・新規入所については、事前に面談を行い健康診断書の作成及び入所に必要な書類を早期に整え迅速に新規入所を進めます。

⇒待機者の減少もあり、新規入所に期間がかかってしまいました。

空所率1.7% (681/40150)

・看取り体制の実施を目指します。

⇒看取りの対応が可能な医師に来てもらえるようになっています。非常勤医師も診療所に複数名配置を行い看取りの対応を行えるよう整えました。看取り専従Drを含め、今年度3名の医師を採用しました。

平成30年4月から看取り介護加算算定届出を行いました。

・看取り委員会を常置し体制の整備を行います。

⇒看取り委員会を設置し、毎月定例で会議を開催しました。

・医療行為が必要な方に対する対応に限界があり。少しずつではあるが胃ろう対象の方など継続して受け入れ体制を整えていきます。

⇒胃瘻の方に関しては、医務と相談の上、可能な限り受け入れを行っています。

2名⇒5名に受け入れ枠を拡大（内退所者1名あり）しました。

・医療機関と連携し、早期退院を目指します。

⇒出来る限り、退院許可が出た翌日には退院ができるように調整を行いました。

・看取り体制・早期受診・早期入退院・早期退所・新規入所とサイクルをつくり安定した運営が行えるようにしていきます。

⇒看取りに関しては平成30年4月より、体制が整っています。新規入所に関しては早期に進められるよう、退所になる可能性の高い方がおられるときはご家族様や、病院と連絡を取り、対応しました。

空所率の把握と空所率の減少に努めました。 総数率7.9%

・稼働率向上以外での収益向上のために新たな加算を獲得し増収・収入の多様化を目指します。具体的には日常生活継続支援加算・療養食加算を算定するために取り組みます。

⇒療養食加算の算定を平成 29 年の 3 月より算定しました。

⇒口腔衛生管理体制加算を平成 30 年 4 月より算定準備を行うと共に、誤嚥性肺炎の予防についての研修会を予定し、それによる誤嚥性肺炎の入院者の減少を図る計画を行いました。

⇒日常生活継続支援加算について

半年間 新規入所の介護 4・5 の方の割合 71%

介護福祉士の割合（常勤換算数）63%

1 年間の新規入所者 介護度 4・5 の方の割合 72%

介護福祉士の割合（常勤換算数）61%

現時点では来年度日常生活継続支援加算の算定可能ですが、人事異動や退職者により介護福祉士の割合が下がる可能性が高くあります。来年度介護福祉士割合がより明確になった時点での算定届出を行う計画を立てました。

・地域包括支援センター 居宅介護支援事業所 通所介護 短期入所と連携を行い、利用者の環境把握に努め新規入所獲得を目指します。

⇒各事業との連携を深め、ご利用者の環境把握に努め、新規入所に結びつくように努めてまいります。自事業所以外の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターの介護支援専門員からの紹介で入所に至った割合 84%（21/25）

・大規模修繕が終了し、ご入居者にとって住みやすい環境整備が行えています。環境面だけでなく、生活の質が向上するよう行事の見直しや余暇活動が充実することを目指していきます。

⇒皆様に楽しんでもらえるような行事は今後も企画し、実施していくとともに、個別の希望にも添えるように努めました。※別紙行事実施報告書参照

・就労訓練事業を開始します。

⇒対象者がいないため未実施でした。

#### 短期入所サービス

・平成 29 年度目標稼働率…80%

⇒平成 29 年度平均稼働率 91.2%

・目標新規利用者…毎月 10 名

⇒毎月平均 6.2 名

#### <達成するための目標>

・特別な医療行為がある方や認知症状進行が著しい方の受け入れも積極的に行い、緊急な依頼にも迅速に対応し、ご利用者・家族・ケアマネジャーに選ばれる事業所を目指していきます。またより広い範囲にも対応できる体制の構築をしていきます。

⇒特別な医療行為のある方の受け入れも医務と連携を図りました。急な依頼も特養相談員にも相談し、入院者ベッドも使用し受け入れました。他市であっても施設



から近い所であれば対応出来ましたが、より広域的に対応出来る体制を今後も継続して構築していきます。

#### <達成するための取り組み>

・新規事業所への営業活動を積極的に行い、利用に繋がるよう努めていきます。  
⇒新規事業所への営業活動は行えませんでした。現在利用のある事業所には行えました。

・月初めに居宅支援事業所等に訪問し、ケアマネジャーとコミュニケーションを取り、定期利用に繋げていきます。

⇒下半期は可能な限り実績を事業所に持っていき、CMとコミュニケーションを図った。また個人の利用記録も継続して作成し実績と共に配布しました。

また居室の空き状況や行事予定等のチラシを作成し、各事業所に配布しました。

・インスリン・胃ろう等の医療行為がある方の受け入れ幅も広がったので、営業活動を通して居宅介護支援事業所に認知してもらい、利用に繋げていけるよう努めていきます。

⇒受け入れ幅は広がったので、特別な医療行為がある方の依頼も増えました。

今後も医務・現場とも連携を図りながら受け入れを行っていきます。

胃ろうの方の年間実延べ利用者数 13 名

インシュリンの必要な方の年間延べ利用者数 34 名

年間の延べ利用者数 5%

・緊急な依頼も、受け入れが出来ない事情がない限り、相談員・フロアの職員とも連携を取り、迅速に対応できる体制を作ります。

⇒虐待による緊急な依頼やレスパイトケアにも迅速に対応し相談員・フロアの今後も継続していきます。年間虐待による受け入れや、主介護者の状況により早期に受入れを行いました。依頼に対して入所を受け入れたケース 20 件 延べ 13% 依頼を受けました。

・緊急な依頼に対応できるように相談員全員が面談・契約を行えるようにしておく。そのために、相談員は日曜出勤をせず、平日出勤を増やして、急な依頼にも対応できるよう継続していく。

⇒急な依頼にも迅速に対応しました。上記の件で依頼件数を明確にしました。

・長期のご利用者の特養入所に繋がられるよう情報を共有し、スムーズに特養入所の受け入れが行えるよう取り組みます。

⇒特養相談員と連携を図り、スムーズに移行出来るよう取り組みました。

・特別養護老人ホームと情報交換を密にし、ベッドコントロールを行い、多くの方に利用して頂けるように努めていきます。

⇒特養相談員と連携を図り、入院者ベッドを活用し、多くの方に利用して頂けるようにしました。

空所ベッド利用率 5% (420/7300) を活用しました。

・短期入所ご利用中、より楽しく過ごして頂くために、行事・レクリエーションの参加を勧めていきます。

⇒行事・レクリエーションの際は声掛けを行い、参加を促しています。楽しんで頂

けていますので、今後も継続していきます。

#### デイサービスセンター

・平成29年度設定稼働率 90%を達成します。

⇒障害利用者を含めると、累計 86.9%でした。(障がい総合支援法の枠で利用されている実績も介護保険の一日の利用定員枠に含まれる)

・認知症対応型の稼働率 80%を目指します。

⇒累計 66.1%。短時間希望者や、重度な方も全て受け入れ、柔軟な個別ニーズに対応した結果が実績増加に繋がりました。

今後も、迅速で柔軟な対応ができるよう努めていきます。

・就労訓練事業を開始します。

⇒対象者がいないため未実施です。

・通常規模のデイサービス稼働率 90%を達成し維持し続ける為営業活動を継続してまいります。

⇒デイサービスの実績を月初めに各居宅周りを継続して行いました。同じ相談員が各居宅のCMと顔のつながりが出来て紹介につながる効果が出ています。

・ショートステイ・特養と併設していることを一つの強みとし、営業時に積極的にアピールしてまいります。また、ショートステイを特養入所の申し込みにも繋げていけるように努めてまいります。

⇒累計短期入所利用→20名、特養入所→3名に繋がりました。

・認知症カフェの安定した開催を目指します。

⇒隔月での開催で、地域包括が主体として行われました。

・総合事業も含め、機能訓練の強化に努めてまいります。

⇒タブレット導入や機能訓練指導員の体制を整え、4月より運動器の機能向上訓練加算(総合事業)及び個別機能訓練加算Ⅱ(要介護者)を取得する体制を整備しました。

※具体的な実施項目として次に掲げております。

・事務所内の整理整頓をし、物品の収納場所を明確にすることにより、物品請求を削減するよう努めます。

⇒物品は、出来るだけ在庫の分から使用しています。出来るだけ代用できるように努めました。

・光熱費の削減に努めます。

⇒職員不在の事務所の電気は消しています。入浴のお湯の出っぱなしも意識し光熱費の削減に取り組みました。

・業務分担、作業効率を考慮工夫し、残業を削減します。

⇒ボランティア1名、デイサービス専属送迎担当スタッフ2名、特養・短期とデイサービス兼務の送迎担当スタッフ1名在籍。専門職業務以外の事をサポートしていただく事で業務分担ができました。

・毎月の行事担当者で話し合いをおこない最適な内容や金額等について検討します。

- ⇒行事担当の話し合いは担当にあたった職員同士で行いました。
- ・毎朝朝礼で事業目標（年目標・月目標）の読み上げを実施し意識周知します。
- ⇒ご利用者の望まれるサービス提供を行うため、勤務時間を2部制に変更しました。その為、職員全員での毎日の朝礼での事業目標（年目標・月目標）の読み上げができませんでした。来年度は、朝礼の以外の時間に行い、意識周知を行ってきます。
- ・月一回以上の部署内研修実施するよう努めます。具体的な必須内容として、虐待 身体拘束 人権 接遇 認知症等について実施してまいります。
- ⇒月に1回以上の部署内研修を実施しました。少数で複数回開催、短時間で複数回に分け開催する等、内部研修の開催方法を検討し開催しました。
- ・職員会議を月1回実施します。職員にアンケートを実施して意見を収集し業務改善に繋げてまいります。議長、書記は正職員が持ちまわりで行い、コミュニケーション能力・マネジメント力等を高めます。
- ⇒年間4回の職員会議、11回の役職者会議を開催しました。毎月の職員会議の実施はできませんでした。部署内研修と同様、来年度は開催方法を再検討し開催します。
- ・業務分担を明確にするとともに、スキル向上の為、業務分担を毎年見直してまいります。
- ⇒職員の役割を職員全員が周知できるように一覧表を作成し掲示しました。一覧表に、業務に要する時間を記入し、職員間での理解が深くなりました。
- ・毎月1回のレクリエーション会議の実施によって、最適なレクリエーションを追究してまいります。
- ⇒月一回、新ゲームの参考等行いました。午前に、ストレッチの時間を増し、自立支援に向けてのサービス向上に努めました。今後も継続します。
- ・毎月ケース会議実施します。
- ⇒毎月ケース会議としての開催はできませんでした。ケース会議として時間を設けることはできませんでしたが、毎日の終礼で、その日に気づいたことをその場で意見交換を行い、支援方法を検討しています。個別支援が必要なご利用者において、ケース会議が必要となりますので、部署内研修同様に来年度は開催方法を再検討し開催します。
- ・メンタルヘルスケアに取り組み、職員の声に耳を傾け、業務でフォローし合える環境作りを行います。
- ⇒昼食時の休憩場所を変更した事により、職員同士が落ち着いた環境で向き合える時間が増えました。今後も、風通しの良い環境を常に意識しメンタルヘルスケアに努めています。

#### 居宅介護支援事業所

- ・目標 一人あたり38件（要介護35件 要支援6件）  
地域包括支援センター、病院の医療連携室、各サービス事業所との関わりを持ち、積極的に新規受け入れを行い、目標の38件/月（要介護35件 要

支援 6 件) を達成します。

⇒下期は体制変更により、常勤換算 4.8 換算となり 36.7 件/月 (介護 35 件・要支援 1.8 件)。要介護の利用者は目標に達成しましたが、要支援の利用者は微増ですが目標に届きませんでした。年間を通じては、34.5 件/月 (介護 33 件 支援 1.5 件) でした。来年度は、医療機関との連携強化を図ると共に、継続して地域包括支援センターや各サービス事業所との連携を継続して新規受け入れを積極的に行っていきます。積極的に新規を受け入れる体制を整えるため、課題となっています、業務効率の改善を行います。

・特定事業所加算 (Ⅱ) の算定条件を継続して満たすことで、ご利用者に対して質の高いケアマネジメントを実施し提供します。

⇒特定事業所加算 (Ⅱ) の算定条件を満たし、ご利用者様に対して質の高いケアマネジメントを実施し提供いたしました。平成 30 年度は、算定条件が追加されるため、条件を満たし加算を取得します。

・ご利用者様に対して、よりよいご支援ができるよう、積極的に外部研修に参加します。その内容を、事業所で伝達し共有することで、各介護支援専門員の資質向上に努めます。

⇒年間通じて、外部研修の参加が事業所全体で 14 件でした。事業所として、外部研修の情報収集を行う意識が薄かったことが課題として挙げられます。来年度は、年間の外部研修の参加回数目標を立て参加し、それを伝達し共有することで介護支援専門員の資質の向上に努めます。

・主任介護支援専門の受講要件に該当する介護支援専門員の資格取得、介護支援専門員実務研修実習受け入れを行い、助言・評価を行います。

⇒3月に1名が主任介護支援専門員の資格を取得しました。介護支援専門員実務研修実習を12名受け入れ、助言・評価を行いました。来年度も、介護支援専門員実務研修見学実習を積極的に行い、介護支援専門員の人材育成に取り組めます。

#### 地域包括支援センター

・「地域ケア会議」(高齢者生活支援等会議)を通して地域の高齢者の生活にかかる課題を共有し、課題解決に向けての意見や提案を検討し、関係団体・関係機関等と連携しながら高齢者支援の体制づくり等に取り組めます。

⇒課題解決に向けての具体的な取り組みには至っていませんが、会議内で継続して検討を進めていきます。当会議を通して自治会、老人クラブ、民生委員の方との顔の見える関係作りを行いました。

・「多職種連携研修会」を通して医療と介護の更なる連携強化を図り、とりわけ圏域内の医療・介護問題、社会資源の把握に焦点を当てながら、多職種連携によるチームアプローチ向上、医療・介護資源のマップづくり等に取り組めます。

⇒各専門職からの事例検討会を通して各専門職の役割や機能についての相互理解をさらに深めることができました。今後は地域住民、専門職への普及啓発活

動をテーマに多職種連携研修会で今後話し合っていく予定になっています。

- ・地域住民のニーズ把握や情報交換、憩いの場づくりを目的に年3回「地域サロン」の開催に取り組みます。

⇒年3回「地域サロン」を開催し毎回約30名の方にご参加いただきました。また地域住民のニーズ把握として地域福祉に関するアンケートを実施しました。来年度は、アンケートでいただいた意見を参考に地域貢献活動に取り組みます。

- ・広く市民の方に認知症についての理解を促進するため、引き続き認知症サポーター養成講座を開催するとともに、地域で認知症高齢者を支える体制づくりに向け、「徘徊（安心・見守り）模擬訓練、認知症カフェ」の開催に取り組みます。

⇒認知症サポーター養成講座については地域住民向けに2回開催しました。認知症カフェについては継続して2ヵ月に1回開催して毎回20名ほどの方に参加していただきました。徘徊模擬訓練については未実施の為今後も自治会等に声をかけて実施に向けて準備を進めていきます。

- ・老人クラブや校区福祉委員会と連携し、自主グループの立ち上げや継続的な介護予防活動の支援を行うことにより、高齢者が身近に「介護予防」に参加できる環境づくりに取り組みます。

⇒担当校区にある老人クラブの助け合い、つどいサービスの立ち上げ後の実施状況の把握やアドバイス等後方支援を行うことができました。また校区福祉委員会の会合に出向き介護予防活動の啓発に取り組むこともできました。介護予防教室は継続して月4回開催を行っています。今まで参加いただいている方だけではなく参加されたことがない方への普及啓発にも取り組みます。

## ヘルパーステーション

(目標)

- ・就労訓練事業を開始します。

⇒対象者が無いため未実施です。

- ・総合事業支援の充実をはかる。

⇒7月1日に緩和型サービスの指定をうけてから3月末までに利用はありませんでした。H30年4月、1件利用予定であるものの、利用の拡大は今の所ありません。今後は緩和型サービスへの移行を意識しながら支援にあたります。

- ・登録ヘルパーの起用により人材を確保する。

⇒募集広告や友人知人の紹介なども試みるが、人材確保に至りませんでした。

- ・稼働の充実を図る。

⇒パート職員をフルに稼働しています。人員不足は常に課題であり、新規獲得において人材確保は急務であります。

- ・自費サービスを開始する。

⇒自費サービスについて法人訪問介護連絡会議で提案しましたが、賛同を得られませんでした。開始に至っていません。

#### (計画)

- ・総合事業実施にあたってのニーズを把握する。又、自治体の動向を収集しながら他事業所との連携を図っていけるよう体制づくりを構築します。
- ⇒総合事業についての説明会の参加や法人訪問介護連絡会等で情報収集し把握に努めました。地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携しながら、緩和型サービスの利用を進めていきます。
- ・空き時間を有効的に活用してスケジュールを調整します。
- ⇒入院などで長期にわたる空きが出ない様にスケジュール調整を行いました。
- ・初回訪問から担当職員を同行する事により、利用者と担当職員との信頼関係が早期に確立します。
- ⇒急な新規の受け入れ以外は、訪問前担当者会議・初回訪問に担当職員を同行出来るようにしました。
- ・積極的に登録ヘルパーを採用し、事業の拡大を図ります。
- ⇒募集をしても登録ヘルパーの問い合わせがありませんでした。
- ・自費サービスを取り入れる事について川福会訪問介護事業所が一本化していきます。
- ⇒訪問介護連絡会議で自費サービスの取り入れを提案しましたが、賛同を得られませんでした。

#### 訪問入浴サービス

- ・平成29年度も1日平均5件目標に取り組んでいきます。
- ⇒平成29年度年間稼働日数254日、延べ利用者数878件、1日平均利用者数3.5件だった。6月～10月は延べ利用者数平均84件と順調だったが、週/複数回利用者の回数縮小や入院・体調不良等の利用中止も多く、11月～3月は1日平均利用者数3.2件と横ばい状態。延べ利用者数平均69件と下がりました。
- ・目標達成のために営業活動を積極的に行っていきます。具体的には訪問入浴の流れやメリット等を記載したPRパンフレットを作成し、デイサービスの営業活動の際に配布してもらうとともに、今まで利用のない居宅介護支援事業所に出向き、自ら営業活動を行って、新規利用者獲得につなげていきます。
- ⇒毎月実績報告の際、デイサービス協力のもと、訪問入浴の空き状況や流れを記載したチラシをケアマネジャーに届けました。今まで利用の無かった居宅介護支援事業所からも利用者を紹介していただきました。今後、無料体験サービスの実施を進めていきます。

## 【7】別表

### (1) 年間防災訓練実施報告

特別養護老人ホームみのわの里

月 日	種 別	内 容
12月2日	火災発生時の避難訓練 (昼間を想定)	火災が発生したことを想定し、時系列に初動による通報・避難・消火について実施する。実際に火災が起こったと過程した場合にパニックになることが想定される。初期消火・通報系統・避難を交えて実践的に行った。
12月2日	施設内既存防災設備の確認・使用方法・初期消火	施設内 既存防災設備（スプリンクラー・屋内消火栓・消火器・防災設備・煙感知器・火災通報等の場所と火災発生時の初期消火及び避難経路の説明を行った。
2月17日	火災発生時の避難訓練 (夜間を想定)	夜間を対象とした訓練を実施する。夜間帯を想定しているため、必要最低限の人員での避難方法を説明する。個々の動きが重要になるため、時系列で最低限の避難方法・初期消火・連絡方法について説明を行った。
2月17日	施設内既存防災設備の確認・使用方法・初期消火	施設内既存防災設備（スプリンクラー・屋内消火栓・消火器・防災設備・煙感知器・火災通報等の場所と火災発生時の初期消火及び避難経路の説明を行った。

### (2) 年間行事実施報告

特別養護老人ホームみのわの里

月 日	行 事 内 容
4月15日	各フロアでおやつ喫茶行事を実施
6月11日	淡路島ハイウェイオアシスにてBBQを実施
7月4日	外出買い物を実施
7月7日	北宮小学校七夕訪問
7月9日	スイカランチバイキング
8月20日	盆踊り大会
9月19日	敬老祝賀会
9月19日	愛保育園児訪問

10月25日・28日	あおぞら喫茶
10月14日	秋祭りだんじり見学
10月25日	福祉祭（台風のため中止）
12月16日	クリスマス会
12月28日	もちつき大会
30年1月1日	元旦祭
2月3日	節分祭
3月25日	憩いのお茶会
その他（毎月実施）	誕生日会・おやつクッキング・法話会 いきいき歌体操・折り紙クラブ・習字クラブ

みのわの里デイサービスセンター

月	行 事		
	行 事	行事食	クッキング
4月	花見	花見弁当	
5月	母の日・園芸	かしわ飯	かるかん作り
6月	買い物行事・ドッグセラピー	駅弁牛みそ玉井	愛媛みかんタルト
7月		たこ飯	
8月	夏祭り	盛岡冷麺	いももち
9月	敬老祝賀会	北の国から弁当	
10月	秋祭り		
11月	北宮小学校交流会	なにわ御膳	みかさ饅頭
12月	お餅つき		
1月		たら寄せ鍋	
2月	節分祭		東京バナナ風ケーキ
3月	花見	横浜中華街弁当	すはま団子
その他	※ボランティア（毎月） いきいき歌体操・すずらん 京阪ナツメロ・シルバーライフ		



(3) 年間研修実施報告

特別養護老人ホームみのわの里

	研修内容 (テーマ)	参加職種
4月	平成29年度新卒採用職員研修 (法人研修)	介護員
	福祉職場におけるOJTの重要性 (内部)	介護員
5月	H27年度新卒採用者研修 (法人研修)	介護員
6月	介護保険施設集団指導	相談員
	特定給食講習会	管理栄養士
	感染症・食中毒予防対策講習会	管理栄養士
	平成27年度中途採用職員研修 (法人研修)	介護員
	介護の現場で働くあなたに理解してほしい高齢者虐待 (内部研修)	介護職員
7月	平成28年度中途採用者研修 (法人研修)	介護員
	安全運転管理者法定研修	管理者
	感染症に関する研修 (施設内研修)	新人職員
8月	特養実態調査を通じた次世代の施設経営を担う人財育成マネジメント研修	施設課長
	最後まで『その人らしい生活』を支えるための豊かなケア	施設課長
	コーチングトレーニング講座	管理者
	インフルエンザ研修会 (内部研修)	介護職員
	認知症介護実践者研修	施設課長
9月	認知症サポーター養成研修 (施設内研修)	希望者
	認知症介護実践者研修	施設課長
	栄養士研修会	管理栄養士
10月	OJT推進に関する研修会 (内部研修)	介護職員
	認知症介護実践者研修	施設課長
11月	感染症に関する研修 (施設内研修)	新人職員
	特定給食講習会	管理栄養士
	平成29年度『上級者リスクマネージャー養成講座』	施設長代理
	障がい者虐待防止・権利擁護研修	在宅課長
12月	社会福祉法人 労務管理セミナー	施設課長
	看取りに関する研修	看護師
	ハローワーク助成金の活用法	在宅課長
	高齢者福祉事業経営セミナー	施設課長
1月	高齢者の人権・虐待に関する研修 (施設内研修)	全職員
	医療的ケア指導者講習	看護師
1月	“看取り期”に望まれる実際のケア	看護師
	“行院ではない”施設看護師の専門性と具体的な働き方	看護師
2月	平成29年度介護保険研修会・主治医意見書作成に関する説明会	在宅課長

みのわの里デイサービスセンター

	研修内容（テーマ）	参加職種
4月	介護基礎知識テスト（事業所内研修）	生活相談員 看護・介護職員
	平成30年介護保険制度改正と動向について 介護職員の人材定着・育成ノウハウについて	生活相談員
5月	東大阪市介護予防・日常生活支援総合事業（事業所内研修）	生活相談員 看護・介護職員
	介護保険集団指導（外部研修） 障がい総合支援法集団指導	生活相談員
6月	食中毒について（事業所内研修） 手洗いについて（内部研修）	生活相談員 看護・介護職員
	認知症対応型集団指導	生活相談員
7月	熱中症について（事業所内研修）	生活相談員 看護・介護職員
	職場研修担当者研修（外部研修） 社会福祉法人 主任/係長講座（外部研修） 東大阪市の介護予防・日常生活支援総合事業について 社会福祉施設従事者研修	生活相談員
8月	認知症サポーター養成講座（事業所内研修）	生活相談員 看護・介護職員
	介護予防事業所管理者の為の介護予防活動普及展開事業研修	生活相談員
9月	食事介助の留意点（事業所内研修）	生活相談員 看護・介護職員
10月	目標管理の目的・手法（事業所内OJT研修）	生活相談員 看護・介護職員
	個別機能訓練実技セミナー	看護師
11月	ノロウイルスについて研修（事業所内研修）	生活相談員 看護・介護職員
	通所介護部会の研修 障がい者虐待防止・権利擁護研修（外部研修）	生活相談員
12月	次期介護保険法改正について・人権研修（事業所内研修）	生活相談員 看護・介護職員
1月	個別機能訓練加算Ⅱ（事業所内研修）	生活相談員 看護・介護職員
2月	身体拘束・虐待防止研修（事業所内研修）	生活相談員 看護・介護職員
3月	東大阪市介護予防・日常生活支援総合事業（事業所内研修）	生活相談員 看護・介護職員

みのわの里居宅介護支援事業所

	研修内容 (テーマ)	参加職種
7月	東大阪市居宅介護支援事業所部会	ケアマネ
	災害への備え～専門機関に求められるもの～	ケアマネ
8月	介護保険住宅改修研修会	主任ケアマネ
9月	主任介護支援専門員研修	ケアマネ
10月	中地域・委託先居宅介護支援事業所研修会	ケアマネ
	主任介護支援専門員研修	ケアマネ
11月	東大阪市居宅介護支援事業所部会	ケアマネ
	ケアマネジメントに関する研修会	ケアマネ
	主任介護支援専門員研修	ケアマネ
12月	命の尊厳と人権を考える～ゲートキーパーによるニーズ把握	主任ケアマネ
	介護支援専門員主任研修	ケアマネ
1月	災害への備え～専門機関に求められるもの～	ケアマネ
	主任介護支援専門員研修	ケアマネ
2月	東大阪市介護支援専門員初任者研修	ケアマネ
	主任介護支援専門員研修	ケアマネ
3月	東大阪市と介護支援専門員との意見交換会	ケアマネ
	東大阪市介護支援専門員現任者研修	主任ケアマネ
	中地域・委託先居宅介護支援事業所研修会	ケアマネ
	東大阪市神経難病地域ケア研究会	ケアマネ
	主任介護支援専門員研修	ケアマネ

地域包括支援センターみのわの里

	研修内容 (テーマ)	参加職種
6月	高齢者への特殊詐欺被害防止について	社会福祉士
7月	大阪ええまちプロジェクト研修会	ケアマネ
	高齢者虐待対応における法的根拠を学ぶ (1)	社会福祉士
	第2回東大阪市生活支援コーディネーター研修	保健師 ケアマネ
8月	高齢者虐待対応における法的根拠を学ぶ (2)	社会福祉士
	障害福祉経営セミナー	主任ケアマネ
9月	地域のまちづくり研修会	保健師
	地域ケア会議全体研修会	社会福祉士 保健師
11月	キャラバンメイト研修会	社会福祉士 保健師

12月	地域診断による地域課題の把握と解決に向けた取り組み	看護師
	認定調査員現任研修	ケアマネ
	包括職員と病院との交流・研修会	保健師 看護師
1月	医療ソーシャルワーカーとの交流・研修会	主任ケアマネ
	障害者支援担当者との意見交換会	社会福祉士 看護師
	生活支援コーディネーター養成研修会	ケアマネ 保健師
	災害への備え～専門機関に求められるもの～	看護師
2月	第2回東大阪市生活支援コーディネーター研修	ケアマネ 保健師
	認知症サポーターボランティア研修会	主任ケアマネ
	包括と障害者支援担当者との意見交換研修会	社会福祉士
	らくらくトライ体操バージョンII研修会	主任ケアマネ 看護師
	東大阪市介護支援専門員初任者研修（ファシリテーター）	主任ケアマネ
3月	東大阪市と介護支援専門員との意見交換会	保健師
	中第一地区民生委員研修会	ケアマネ

みのわの里ヘルパーステーション

	研修内容（テーマ）	参加職種
4月	ホームヘルパーの基本的接遇マナー（事業所内研修）	提供責任者 ヘルパー
5月	認知症及び認知症ケア（事業所内研修）	提供責任者 ヘルパー
6月	コミュニケーション技法（事業所内研修）	提供責任者 ヘルパー
7月	事故発生時緊急対策（事業所内研修）	提供責任者 ヘルパー
8月	目標管理の目的・手法（事業所内OJT研修）	提供責任者 ヘルパー
9月	感染症予防対策（事業所内研修）	提供責任者 ヘルパー
10月	倫理及び法令遵守（事業所内研修）	提供責任者 ヘルパー
11月	高齢者虐待防止（事業所内研修）	提供責任者 ヘルパー

12月	高齢者の介護環境と権利擁護（事業所内研修）	提供責任者 ヘルパー
1月	プライバシー保護（事業所内研修）	提供責任者 ヘルパー
2月	個人情報保護（事業所内研修）	提供責任者 ヘルパー
3月	食中毒の蔓延防止（事業所内研修）	提供責任者 ヘルパー

#### みのわの里訪問入浴

	事業所内研修内容（テーマ）	参加職種
4月	プライバシー保護の取り組み	看護・介護職員
5月	感染症と食中毒の予防	看護・介護職員
6月	倫理及び法令遵守	看護・介護職員
7月	障害者・高齢者虐待の防止	看護・介護職員
8月	身体拘束の排除と取り組み	看護・介護職員
9月	緊急時及び非常災害時の対応	看護・介護職員
10月	事故発生と発生予防	看護・介護職員
11月	訪問入浴のサービス提供の流れ	看護・介護職員
12月	在宅で行われる医療処置の理解	看護・介護職員
1月	認知症及び認知症ケア	看護・介護職員
2月	介護サービス事業における苦情・相談に対する基本的な考え方	看護・介護職員
3月	介護予防及び介護度の進行防止	看護・介護職員

(4) 地域包括支援センター事業実績報告書

地域包括支援センター事業実績報告書															
平成29年度年間分		支援センター名				みのわの里				今年度新規相談実人員		392			
相談件数		相談者と相談方法				身体状況									
実態把握加算対象 加算対象外件数	1258 4	本人	家族	OM	その他	計	不明	未申請	申請中	自立	要支援		要支援計		
相談件数合計	1260	282	207	118	653	1260	1	156	103	21	1	2	465	417	882
介護予防ケアプラン 作成件数		訪問	来所	電話	計	総合事業				要介護度					
認知症相談件数	154	1235	24	1	1260	1	2	3	4	5	要介護計				
権利保護援助 件数	15	家族形態				相談内容及び申請代行									
うち虐待関連件数	15	同居	独居	計	介護保険	介護	福祉サービス	保健医療	家族関係						
		687	573	1260	相談内容	1235	1200	13	20	18					
					申請代行	173		4							
					介護予防		基本チェック	その他	計						
					相談内容	9	5	22	2522						
					申請代行				177						
サービスの状況と利用希望					単位地域ケア会議										
現利用		ホームヘルプ	デイサービス	デイケア	ショートステイ	訪問入浴	福祉用具	訪問診療等	訪問看護	会議出席者	介護支援 専門員	サービス 事業者	医師		
利用希望	43	119	20	33	3	86	5	16	医療機関 職員		自治会	民生委員			
現利用		訪問リハビリ	配食	住宅改修	入所	予防プラン	生活援助	短時間	助け合い		つどい	計			
利用希望	8	9	79	28	88				6		543	保健福祉員	保健機関	知人	
地域ケア支援・生活支援コーディネーター内訳										単位地域ケア 会議加算対象					
相談方法		個別加算対象				13		認知症支援							
訪問	来所	電話	FAX	計	個別加算対象外				認知症カフェ (主催)			認知症あ んしん戸 かけ訓練		計	
2	11			13	地域ケア支援個別計				6			4		10	
					地域ケア支援加算対象										
					地域ケア支援加算合計										
					生活支援集団加算対象										
相談者		虐待関連 相談件数				7		高齢者生活支援等会議							
		介護支援 専門員	サービス 事業者	主治医	医療機 関職員	関係機関	和入	NPO法人	地域活動団体			福祉・介護職			
地域ケア(個別)	5	2				6			自治会	校区福祉委員	民生委員	老人クラ ブ	居宅介護 支援	訪問介護	通所介護
地域ケア(集団)	2	34							3	3	3	3	3	3	3
生活支援(集団)		1							医療機関						
		ボランティア	自治会	校区福 祉委員	民生委 員	老人クラ ブ	その他	計			医師	歯科医師	薬剤師	その他	計
地域ケア(個別)								13							
地域ケア(集団)		1	1	8	1			47			2	3	2	1	29
生活支援(集団)			1	3	6			11							
実施した支援・内容															
地域ケア支援(個別・集団)					生活支援コーディネーター(担い手支援)										
ケアマネジ メント支援	ソーシャル ワーク 援助	情報提 供	連携支 援	その他	計	担い手種別									
個別	2	5	7	7	21	助け合い	つどい	計							
集団	1	1	10	35	47	グループ種別									
生活支援コーディネーター活動(集団)					グループ等活動支援										
生活支援の 担い手の活 動状況確認	生活支援 の担い手 養成支援	総合事 業の制 度説明 等	計	グループ等活動支援					認知症カフェ		その他		計		
集団	4	1	1												

地域介護予防推進事業等実績報告書(集計表)

平成29年度年間分	支援センター名	みのわの里
-----------	---------	-------

地域介護予防活動支援

相談・支援件数		グループ種別					
総件数		老人クラブ	校区福祉委員会	自治会	老人Cボランティア	その他	計
	うちグループ活動支援	12	2				14
14	12						
		相談方法					
		訪問	来所	電話	FAX	その他	計
		12		2			14

教室実施状況

開催件数	
介護予防教室開催件数	48
家族介護教室開催件数	

## 特別養護老人ホーム布市福寿苑・真寿庵 事業報告

### 【1】 施設運営を振り返って

- (1) 法人経営の基本的な考え方を基に、布市福寿苑の経営方針を明確にした。
  - ① 経営改善の必要性の理解と実施状況の検討
  - ② 各事業責任者へ管理職に向けての人財育成
  - ③ 各専門職の人財育成体系の構築準備
  - ④ 法人組織改編への理解
- (2) ご入居者・ご利用者に日々、安心で、楽しみな時間がある穏やかで安らかな暮らしを提供する環境づくり
  - ① ご入居者・ご利用者処遇の場の見直し、向上
  - ② 地域の方との交流の場の提供
- (3) ご家族や地域の方々へ、住み慣れた地域の生活が継続できるよう、地域の社会資源として安心、信頼され、相談しやすく、気軽に設備の活用をしていただいた。
  - ① ご家族が面会しやすい環境づくり
  - ② 地域の方々が相談しやすいように、自治会活動の積極的参加
  - ③ 地域の方々が施設設備を活用しやすくするための広報活動
- (4) 施設から地域へ出向いて地域の方々のニーズの収集を行い、新たな事業展開や地域貢献活動に取り組みました。
  - ① 地域の活動に介護職員等の専門職が参加し地域の方々と交流
  - ② 施設設備開放
  - ③ 地域の方々に向けて低額のお祭りの開催
  - ④ 低額のカフェ開放
  - ⑤ 地域の環境美化活動

### 【2】 中期的展望における進捗状況について

- (1) ご利用者に対する基本姿勢
  - ① ご入居者、ご利用者が日々、安心で楽しみな時間がある穏やかな暮らしを支援しました。
    - ・人権啓発の推進
    - ・「人間力」向上のための人財育成
    - ・機能訓練を強化するため他事業所との業務提携
    - ・第三者評価の受審
- (2) 社会に対する基本姿勢
  - ① 地域における様々な課題や生活課題を、地域に出向いて地域の方々と共に課題に取り組みました。
    - ・生活困窮者救済の取り組み



- ・就労支援の取り組み
- ・高齢者が多い地域に職員が出向いて地域活動のお手伝いをする取り組み

### (3) 福祉人材に対する基本姿勢

- ① 福祉人材に必要な研修等を含む育成体制を構築します。
  - ・管理職の目標管理（O J T）の実施
  - ・業務監督職（事業責任者）の目標管理（O J T）の準備
  - ・専門職の面談（O J T）の実施
  - ・法人や施設内の研修（O f f - J T）の実施
  - ・介護支援専門員や介護福祉士等の資格取得支援（S D S）の実施
- ② 支援する職員が働きやすく、やりがいのある職場環境を職員と話し合っ  
て構築します。
  - ・介護支援専門員や介護福祉士等の資格取得支援（S D S）の実施

### (4) マネジメントに対する基本姿勢

- ① 法人の理念の基、コンプライアンスを遵守した経営をします。
  - ・常務理事により、管理職や業務監督職（事業責任者）を対象とした研修  
や勉強会を実施。
  - ・施設内の会議や研修の実施と朝礼にて啓発
- ② 公正かつ透明性の高い適正な経営をします。
  - ・顧問会計士による財務管理の指摘と確認を受けながら経営
  - ・第3者評価の受審
  - ・東大阪市による指導監査と実地指導を受け、指導なし

## 【3】 施設の課題について

大項目にについて計画通り実施中ですが、全職員の理解、浸透には至っていない状です。第3者評価でも指摘を受けましたが、事業計画をご利用者やご家族への周知方法や人材育成の評価制度、研修に参加できない職員（非常勤含む）への伝達・周知の方法を検討する等、取り組みながらも、より質の高いシステムを構築が課題となります。

## 【4】 拠点の目標と実施状況について

- (1) 既存サービス事業所のサービス内容について各事業で見直しを進めます。
  - ① 人権啓発の推進のため、委員会の中で「人権について考える」時間を設け、差別や虐待等の研修報告会やテーマを設けた検討会、虐待等のニュースがあれば随時、朝礼等で啓発をしました。
  - ② 各委員会や会議等で行事やクラブ活動の活動内容を検討してご利用者処遇の向上に努めました。
  - ③ 特別養護老人ホーム（短期入所を含む）や通所介護の機能訓練を強化するため他事業所と業務提携の契約を結び、通所介護から実施しました。
  - ④ 第3者評価の受審後、指摘を受けた内容（研修開催時の参加率や完全分煙等）について改善しました。

- (2) 既存サービス事業所の経営状態を改善するために、各事業所で収入、支出の見直しを行い、より成果をあげるよう業務の整理を実施することで、経営改善を行います。

[具体的実施事項]

- ・毎月、幹部会議を開催し、事業計画や予算の進捗状況や実績内容を分析し対策を検討しました。
- ・検討した結果、実施した効果状況の確認・改善を行い、前年度よりサービス活動増減差額が 17,767,169（見込み）改善しました。

- (3) 社会貢献推進委員会で検討し、地域への貢献活動を実施しました。

[具体的実施事項]

布市町と中石切町の地域清掃	1回/月（第3土曜日）
かわふくんC a f e	毎日（日曜日と行事以外）
かわふくんC a f e（認知症カフェ）	1回/月（第3月曜日）
子育て支援ニコニコさんとの4世帯交流	7月24日
布市町だんじり休憩場所（駐車場解放）	10月28日、29日
第14回布市福寿苑ファミリー祭り	11月12日
東石切町公園の花壇植え替え	5月26日、27日 10月30日、31日
施設資源開放（会議室貸出）	随時

- (4) 平成29年4月から東大阪市の総合事業の開始により、当苑もご利用者ニーズに合わせ、訪問型介護や通所型介護の立ち上げ、運営を行います。

[具体的実施事項]

- ① 指定年月日 平成29年6月1日付けで、訪問型生活援助サービス（一体型）の指定を受け運営しました。
- ② 通所型短時間サービスは必要な人員配置が出来ず、今年度は指定を見送ることになりました。

- (5) 現在実施している研修等を含めた教育体制を継続するとともに、新たな法人の新規事業の展開において事業を担える人材を育成しました。

[具体的実施事項]

- ① 職場研修体系の構築（中期的展望参照）
- ② 新規事業への昇格・人事異動
  - ・施設長1名（昇格） 施設課長1名（昇格） 副主任介護士1名（昇格）
  - 主任介護士1名（異動） 管理栄養士1名（異動）
  - 施設介護支援専門員1名（異動）

- (6) 年度別に施設改修計画を立て、老朽化してきている施設設備整備の改修を実施しました。

[具体的実施事項]

- ① 空調配管工事
- ② フリーロックシステム基盤工事
- ③ エレベーター基盤工事
- ④ 受水槽電磁弁修繕工事
- ⑤ 施設内のクロスの張り替え工事は①～④を優先したため、実施を見送ることになりました。

(7) 職場環境の改善を担う衛生委員会で検討、実施しました。

[具体的実施事項]

- ・ 職員のストレスチェックを実施、66.1%受検しました。
- ・ 昨年度から取り組んでいる腰痛予防策として、業務提携をしている事業所の理学療法士を講師に招き、介護技術講習を行った(4回/年)

【5】 平成29年度計画の数値目標

(1) 目標稼働率

事業	H29目標	H29実績	増減
特別養護老人ホーム	96.0%	92.7%	▲3.3%
短期入所生活介護	80.0%→ 85.0%(下 半期上方修正)	81.5%	▲3.5%
通所介護	90.0%	78.4%	▲11.6%
認知症対応型通所介護	40.0%	29.2%	▲10.8%
訪問介護	14.5件/日	14.5件/日	0件
居宅介護支援事業所	39.0件(介護 予防含)/日	38.4件(介 護予防含)/日	▲0.6件
介護予防支援事業所	40.0件/日	40.4件/日	0.4件
認知症対応型共同生活 介護	98.4%	97.4%	▲1.0%

【6】 各事業の目標と実施状況について

○特別養護老人ホーム布市福寿苑

(1) 可能な限り入院せず生活して頂く。

- ① 勉強会(感染症、事故予防、誤嚥性肺炎の予防)や診療所での体験実習を行い体調管理に努めましたが、前年度(延べ入院者918名)より増加し今年度の延べ入院者1185名となりました。

- ② 受容が少ないことから、現在療養食は行っておらず体制づくりは引き続き行い、勉強会を開催しました。
  - ③ 検食によって食事形態を観察し、ご入居者の状態像に合わせてきめ細やかに見直しを行いました。行事食を月2回行っており、食事調整も行っております。
- (2) 現ご入所者の退所された後 2 週間以内に次のご入所者に入所頂ける体制をつくります。
- ① 面談時に検査データ等の情報収集も行い情報共有に努め、事前面談後の確認を1週間以内に行いましたが、退所された後、平均して 2 週間以内に入所頂くことは出来ませんでした。
  - ② ケアマネージャーや短期入所サービスと連携をとり、短期入所サービスのご利用が無い方は提案させて頂きました。
- (3) 各種加算の取得に積極的に取り組み、サービス提供の基盤である収入の安定に努めます。
- ① 追加取得はないものの、情報収集に努め確認を行いました。食事への要望等の確認、情報共有を行い栄養マネジメント加算の取得をスムーズに行うことが出来ました。
- (4) より職員が働きやすい環境をつくることによってサービスの質を向上し、ご入所者の生活をより良いものにします。
- ① 外出の機会は、例年通りは実施出来ましたが、増やすことは出来ませんでした。
  - ② 腰痛予防やメンタルヘルスの研修、勉強会に参加し働きやすい環境づくりに努めました。
  - ④ 喫茶の周知も出来てきており、ほぼ毎日利用者様や面会の方にご利用頂くことが出来ました。
  - ⑤ 立案した行事、クラブ等の計画については、計画通りに実施することが出来ました。

#### ○布市福寿苑短期入所生活介護

- (1) 受け入れ幅を拡げる。
- ① 認知症状の進行が激しい方については、月1回のショート会議にて対応方法の検討を行い継続して利用していただいています。医療処置が必要な方については、看護師と調整をはかり受け入れを行っております。
- (2) 毎月新規利用者 10 名以上延べ利用者 500 名以上をめざす。
- ① 短期入所独自のパンフレット等を活用し、営業活動行い積極的に新規獲得に努め増したが目標数値には至らず、新規平均 6.9 名、延べ平均 495.3 名でした。緊急対応については、看護師、介護員と受け入れ方法を事前に明確にして速やかに対応することでケアマネージャーとの信頼関係は築けたと考えています。
- (3) ご利用者及びご家族の要望やニーズをより正確に把握し、安心、安全に短期入所のご利用が出来るようなサービス提供を行い、定期利用者拡大に努める。

①毎月のショート会議にて、要望やニーズに沿ったサービス提供の確認、ご利用者様にあったフロアでのサービス提供を検討しました。ショートレクの時間も今年度は、作品作りを行い、状態にあった作業で参加していただきました。

(4) 特別養護老人ホーム事業と連携をさらに強化する。

①長期利用者で特養への入所申し込みをされている方の情報を共有することで、スムーズに特養入所へつなげられるよう取り組みました。特養入所申し込みにこられた際にも、必要時応じて短期入所のご説明をさせてもらっています。

#### ○布市福寿苑デイサービスセンター

(1) 毎月ボランティアの受け入れも行う事ができ、喫茶コーナーでは1日平均10人以上の利用があり、ご利用者間の交流の場となっている。化粧クラブ、作業療法、レクリエーション、行事等、利用者様の要望に対応でき、個々の希望に沿っての活動もできた。

(2) 研修の参加が出来ない月もありましたが、参加した研修内容を会議等で報告周知し、職員の能力・意識向上に役立てる事ができ、ご利用者に質の高いサービスを提供できました。

(3) 中重度の利用者様や認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の利用者を積極的に受け入れしましたが、中重度ケア体制加算や認知症加算取得の目標には届かず、引き続き受け入れも行い加算の取得を目指します。

(4) 総合事業の実施はご利用者の情報収集不足もあり、今年度は指定を見送ることになりました。来年度は受け入れに繋げていきたい。

(5) 毎月、既存のご利用者の事業所と新規獲得の営業にも出向き、また行事等で月平均20名程の追加利用を積極的に受け入れましたが、目標稼働率には届かず。今後も新規獲得の営業と利用者様の追加利用の声かけを継続していきます。

#### ○布市福寿苑デイサービスセンター（認知症対応型）

(1) 利用者様の家族様のアンケートを実施してご意見を頂き、なじみの空間を作りご自宅での生活で反映できるようなサービスを展開でき、個別にて日常生活力を活かし社会的孤立感をなくすケアが行えた。また地域密着型サービスとして、グループホームと共に同じ行事に参加でき共感する事ができた。通所介護計画を作成し、利用者様、家族様の意向を反映する事が出来た。

(2) 研修に参加し、認知症についての知識・ケアの向上ができ、利用者様の人格を尊重する事ができた。

(3) 利用者様の好みや希望について丁寧に聞き取り情報をまとめ、利用者様が自ら活動出来るように環境を整える事が出来た。地域に密着したサービスの提供が行えるよう運営推進会議等に参加し、地域の実情等の意見交換ができ、交流を深める事ができた。地域行事等に参加する事はできませんでしたが、近隣の保育園児が苑に訪問来ていただいたので、交流は深められ

ました。新年度は保育園以外に地域包括支援センターと協力して積極的に地域行事に参加して参ります。

#### ○布市福寿苑ヘルパーステーション

- (1) ご利用者様が在宅生活を継続して頂けるように支援致します。
  - ・近隣の地域包括支援センター・居宅介護支援事業所に定期的に出向き交流・ニーズや情報収集に努め必要に応じてサービスの見直しを提示しました。
  - ・ご利用者様の意見・要望の可能な限りお答えし苦情・事故等があった際には、誠意を持って迅速に対応しました。
- (2) 特定事業所加算の指定を継続致しました。
  - ・体制要件・人材要件を維持し定例会・内部研修・定期的に個人研修の実施・外部研修も今年度は、パート職員も参加できました。
  - ・サービス提供責任者と訪問介護員は、口頭だけではなく連絡票を用いて情報や留意事項を共有しました。
  - ・サービス提供依頼時迅速に空き状況を伝え調整を行いました。  
→サービス提供責任者が待機出来る体制づくりに努めます。
- (3) 地域包括ケアシステム推進にあたり地域ケア会議等積極的に参加します。  
→今年度は開催されなかったため参加出来ませんでした。
- (4) 総合事業に適切に対応できました。
  - ・H30. 6月より訪問型生活援助サービスを実施しニーズに合わせ8名受け入れ出来ました。  
→登録ヘルパー1名人材確保出来るが、訪問型生活援助サービスに対応出来る市が実施する研修の受講者等の確保に努めます。
- (5) 職員同志のコミュニケーションがとりやすい雰囲気づくりに心がけ出来る限り希望休・有休がとれる体制づくりに取り組み職員が働き易い環境を整えています。

#### ○布市福寿苑居宅介護支援事業所

- (1) 東地区地域包括支援センターや近隣病院のMSと連携をとりながら、サ高住からの新規紹介も含め利用者様の情報や地域の社会資源を共有し新規利用者様獲得に努めましたが目標数値をわずか下回りました。
- (2) 各ケアマネージャーが各種研修に積極的に参加し研鑽に努め、事業所内にて定例会議などで伝達共有しました。また困難な事例にも個別支援会議を開催し包括、福祉、医療と連携を図り対応しました。
- (3) 介護支援専門員資質向上事業・実務課程受け入れ体制をとり地域の介護支援専門員の受け入れをしました。
- (4) 地域の方が住み慣れた町に安心して生活が送れるよう、介護サービス導入や各種相談窓口として対応しました。
- (5) 主任ケアマネ更新研修を受け、また受験資格が得る事ができるよう各自意識し業務に努めました。

#### ○地域包括支援センター布市福寿苑

- (1) 介護予防・日常生活支援総合事業について、介護保険認定更新時、随時対象者は要支援認定から事業対象者に移行して行っています。第2層協議体会議については今年度3回開催し、地域住民、専門職が集まって地域の課題抽出に取り組みましたが、1回目・2回目は会議進行が難航して上手く会議が機能しませんでした。会議参加者1人1人と事前にヒアリング面談を行い、3回目では地域の課題など色々な意見が出るようになり、少しずつ情報共有出来つつあります。
- (2) 地域推進ネットワーク会議や多職種連携研修会などに参加し、各関係機関と顔の見える関係作りに取り組んでいます。また、民生・校区福祉委員会や自治会、老人会などの会合や催しに参加させて頂き、顔の見える関係作りに取り組み、相談件数も増えて来ています。
- (3) 地域の会館をお借りし、介護予防教室・家族介護教室など開催して介護予防等に努めております。また、地域のサロンやグループ活動の後方支援を行ったり、地域住民向けの勉強会、保育園の幼児など老若男女に向けての認知症サポーター養成講座、認知症カフェを開催するなど多岐に渡って取り組んでおります。専門職に対しては、地域のケアマネージャーとの勉強会を3ヶ月に1回定期的に開催しております。

#### ○グループホーム布市真寿庵

- (1) 人件費率の改善に取り組みましたが、年度中の非常勤職員の退職について確保が進まず正職員で確保したため、人件費率の改善が進まなかった。
- (2) 稼働率は事業計画に近い数字が達成できたが、長期入院者と入退所のタイムラグが長くなってしまったのが課題として残りました。
- (3) 住み慣れた地域で自分らしく充実した生活を送っていただけるよう、利用者個々のニーズを抽出し、会議の場等で職員全員が周知し、対応にばらつきがない様に取り組みました。
- (4) クラブ活動やレクリエーション、外部講師によるヨガ教室等、定期的な余暇活動の他に、個別支援では利用者の意見に耳を傾け、より自己決定権を尊重するように心がけしました。
- (5) 定期的に運営推進会議を開催し、地域の方々の意見を聞くことができました。人員不足、急な勤務調整も多く、外部への研修参加は最小限でした。

【7】 年間防災訓練計画（特別養護老人ホーム）

布市福寿苑			
月	日	種別	内容
4	27	基礎訓練	新規職員を対象とした消火器の取り扱い、消火活動訓練
5	15	部分訓練	職員と3階ご利用者を対象とした避難誘導訓練
6	21	夜間訓練	夜間並びに日祝日を想定しての夜勤者と当直者による職員への通報訓練、消火訓練、避難訓練
7	26	部分訓練	職員と4階ご利用者を対象とした避難誘導訓練
8	28	基礎訓練	職員とご利用者を対象とした防災機械器具の取り扱い方法の習得及び消火活動の訓練
9	21	夜間訓練	夜間並びに日祝日を想定しての夜勤者と当直者による職員への通報訓練、消火訓練、避難訓練
10	19	部分訓練	職員と5階ご利用者を対象とした通報、消火、避難訓練
11	中止	総合訓練	職員と利用者を対象とした通報、消火、避難訓練
12	14	総合訓練	消防署立会いによる職員とご利用者を対象とした通報、消火、通報訓練
1	18	予備訓練	防災の心得(ビデオ鑑賞)
2	10	夜間訓練	夜間並びに日祝日を想定しての夜勤者と当直者による職員への通報訓練、消火訓練、避難訓練
3	19	合同訓練	特養と在宅事業関連の職員が参加し、ビデオ講習及び地震対策についての研修 (地震対策研修)



## 【8】年間行事計画

・年間行事計画（特別養護老人ホーム布市福寿苑）

行事開催表		クラブ活動等
4月	・日新高校桜祭り（4月2日） ・花見（中止）	・家庭科クラブ（週1回） ・ヨガクラブ（月1回）
5月	・春の外出（5月24日） ・母の日（5月13日）	・カラオケクラブ（月1回） ・化粧クラブ（毎月）
6月	・春の外出（6月7日） ・父の日（6月18日）	・誕生日会（毎月） ・法話会（毎月）
7月	・室内運動会（7月29日）	・訪問販売（毎月） ・喫茶（毎月1フロアずつ）
8月	・夏祭り（8月6日）	・傾聴ボランティア（月2回）
9月	・敬老祝賀会（9月17日）	・メロンクラブ慰問（毎月） ・レクリエーション（開催なし）
10月	・秋の外出（10月25日） ・ハロウィン（10月31日）	・ショートレクリエーション（月1回）
11月	・秋の外出（11月1日） ・ファミリー祭り（11月12日）	
12月	・ゆず湯（12月11日、12月12日） ・クリスマス会（12月23日）	
1月	・元旦祝賀会（1月1日） ・初詣（延期）	
2月	・節分（2月10日）	
3月	・ひなまつり（3月3日） ・初詣（3月24日、3月28日）	
※誕生会食と行事食は、毎月提供しています。		

・年間行事計画（布市福寿苑デイサービスセンター）

月	行事内容	定期行事
4月	たこ焼き	音楽療法・散髪（月2回） 防災訓練
5月	買い物ツアー	体操&音楽療法・散髪（月2回）・
6月	映画鑑賞	音楽療法・散髪（月2回）
7月	ビアガーデン	体操&音楽療法・散髪（月2回）
8月	夏祭り	音楽療法・散髪（月2回） 防災訓練
9月	敬老祝賀会	体操&音楽療法・散髪（月2回）
10月	石切参道買い物ツアー	音楽療法・散髪（月2回）
11月	焼き芋	体操&音楽療法・散髪（月2回）・
12月	クリスマス会	音楽療法・散髪（月2回） 防災訓練
1月	温泉&ぜんざい	体操&音楽療法・散髪（月2回）
2月	焼きじゃが	音楽療法・散髪（月2回）
3月	ひな祭り&甘酒・ハーモニカ演奏	音楽療法・散髪（月2回）
その他 (毎月実施)	誕生日会・行事食・行事風呂・カラオケ大会	

・年間行事計画（グループホーム布市真寿庵）

月	日	内容	月	日	内容	
4	2	日新高校	7	18	ヨガ教室	
	3	個別支援		19	外出	
	5	メロンコーラス		24	個別支援	
	9	ドッグセラピー		26	個別支援	
	10	花見外出			個別支援	
	15	地域清掃	8	2	保育園慰問	
	17	認知症カフェ		4	おやつクラブ	
	18	ヨガ教室		8	カット	
	20	理美容日		15	ヨガ教室	
	26	おやつクラブ		19	法話会	
	29	雅楽		20	ドッグセラピー	
5	13	ドッグセラピー		21	ワックス	
	15	認知症カフェ		25	お誕生会	
	16	ヨガ教室		27	夏祭り	
		個別支援		28	かわふくんカフェ	
	20	個別支援	9	12	カット理美容日	
		個別支援		16	法話会	
	22	ピクニック		18	ドッグセラピー	
23	理美容日	19		敬老会、ヨガ教室		
26	趣味活動クラブ	27		趣味活動クラブ		
6	11	ドッグセラピー		10	8	ドッグセラピー
	13	理美容日			10	理美容日
	17	法話会	17		ヨガ教室	
	19	認知症カフェ	18		焼き芋会	
		個別支援	21		法話会	
	20	ヨガ教室	30		おやつクラブ	
	27	おやつクラブ	11		7	秋の外出
7	個別支援	12		ファミリー祭り		
	9	アイガード慰労会		14	理美容日	
11	理美容日	中村氏個別支援（金山）				
13	趣味活動クラブ	21		ヨガ教室		
15	法話会	27		趣味活動クラブ		
16	ドッグセラピー			ワックス		

12	6	お誕生会	1	24	ヨガ教室
	8	お誕生会		25	おやつクラブ
	10	ドッグセラピー		27	お誕生会
	12	理美容日	2	3	節分祭
	14	お誕生会		11	ドッグセラピー
	18	お誕生会		13	理美容日
	19	ヨガ教室		20	お誕生会
	20	お誕生会		20	ヨガ教室
	22	おやつクラブ		26	認知症カフェ
	25	クリスマス会	3	13	理美容日
1	1	元日		14	趣味活動クラブ
	7	七草粥（川澄邸）		15	鍋の日
	14	ドッグセラピー		17	法話会
	16	理美容日		22	お誕生会
	20	法話会		26	お誕生会
	22	認知症カフェ		27	ヨガ教室
	23	初詣	28	おやつクラブ	

## 【9】年間研修計画

・年間研修計画（特別養護老人ホーム布市福寿苑）

	研修内容（テーマ）	参加職種
4月	平成29年度新卒採用職員研修（法人研修）	介護員
	事故予防について（施設内研修）	介護員
5月	特定給食講習会	栄養士
	感染症について（施設内研修）	全職員
6月	感染症、食中毒予防対策講習会	栄養士
	集団指導	相談員
	集団給食研修会	栄養士
	事故予防について（施設内研修）	全職員
7月	認知症ケア研修	介護員
	感染症について（施設内研修）	全職員
	職場研修担当者研修	看護師 介護員
	介護職の感情コントロール研修	介護員
	H28年度中途採用者研修（法人研修）	介護員
	死生観について（施設内研修）	全職員
	認知症について（施設内研修）	介護員
	身体拘束について（施設内研修）	全職員
8月	人材育成マネジメント研修	施設長
9月	より良いチームづくりとリーダーの役割について	相談員
	ファシリテーション研修	介護員
	介護事業所における個人情報保護とコンプライアンス対策（施設内研修）	全職員
	ノロウイルスについて（施設内研修）	全職員
10月	認知症介護実践者研修	介護員
	安全運転セミナー	相談員
	福祉サービスの苦情解決の取り組みについて	相談員
	感染予防について（施設内研修）	全職員
	栄養士研修会	栄養士
11月	相談援助のプランニング研修	介護支援専門員
	成年後見制度活用法	全職員
	栄養士研修会	栄養士
	認知症介護実践者研修	介護員
	感染予防について（施設内研修）	全職員
12月	認知症ケアについて	全職員
	認知症の方に対するリハビリテーションと認知症予防のための暮らしの工夫	全職員

1月	事故予防について（施設内研修）	全職員
	感染症について（インフルエンザ）	全職員
	近畿老人福祉施設協議会・職員研修会	介護員
	高齢者虐待防止研修	相談員
	苦情解決第三者委員会研修会	相談員
2月	高齢者福祉事業経営セミナー	施設長
3月	事故予防について（施設内研修）	全職員
	職場研修推進研修・OJT推進研修	介護員

・年間研修計画（布市福寿苑デイサービスセンター）

	研修内容（テーマ）	参加職種
4月	平成29年度採用職員研修	介護員
6月	認知症介護実践者研修	副主任介護員
7月	認知症介護実践者研修	副主任介護員
7月	訪問介護・通所介護・通所リハ事業所の合同開催について	副主任介護員
9月	人材育成に関する研修会	副主任介護員
9月	第4回福祉人カフェ実践から学ぶ	生活相談員
10月	安全運転セミナー	副主任介護員
10月	介護福祉士実践者研修	介護員
11月	介護福祉士実践者研修	介護員 介護員
11月	身体拘束・高齢者虐待を防ぐ為の職員研修	副主任介護員
12月	認知症の方に対するリハビリテーションと 認知症予防の為の暮らしの工夫	生活相談員
12月	介護福祉士実践者研修	介護員 介護員
12月	第5回短期スキルアップ 緊急時の介護	生活相談員
1月	認知症の方に対するリハビリテーションと 認知症予防の為の暮らしの工夫（事業所内部研修）	介護員
1月	展示場で学ぶ福祉用具の基礎	介護員
1月	認知症・精神疾患研修会	副主任介護員
1月	簡単に安心して機能訓練加算の算定を目指す為の説明会	生活相談員
2月	認知症・精神疾患研修（事業所内研修）	生活相談員
2月	通所介護事業の総合事業に関する説明会	生活相談員
3月	緊急時の介護（事業所内部研修）	介護員
3月	地域包括ケア・成年後見制度（事業所内研修）	生活相談員
3月	平成30年度介護報酬改定に向けて 機能訓練加算の取得を目指すセミナー	生活相談員

・年間研修計画（布市福寿苑ヘルパーステーション）

職種	研修内容（テーマ）	時期	場所
サ責・訪問介護員	接遇・マナー研修	H29.4	内部研修
サ責	社会福祉法人による地域貢献事業	H29.4	内部報告会
サ責	H29 年度 指定居宅サービス事業者等集団指導指定	H29.5	外部研修（東大阪アリーナ）
サ責・訪問介護員	ヒヤリハット研修	H29.5	内部研修
訪問介護員	防災について	H29.5	内部報告会
サ責・訪問介護員	食中毒予防研修	H29.6	内部研修
訪問介護員	腰痛・予防対策研修（PTによる）①	H29.6	内部研修
サ責	食中毒について	H29.6	内部報告会
サ責	H29 年度第1回訪問介護、通所介護、通所リハビリテーション事業者部合同部会	H29.7	外部研修（クリエイターズプラザ）
サ責・訪問介護員	熱中症研修	H29.7	内部研修
サ責・訪問介護員	緊急時対応（事例検討）研修	H29.8	内部研修
訪問介護員	認知症と排泄ケアの実際	H29.8	外部研修（大阪府福祉会館）
サ責	改定について	H29.8	内部報告会
訪問介護員	介護職の為の感染予防知識について	H29.9	外部研修（大阪府社会福祉会館）
サ責・訪問介護員	プライバシー保護、個人情報研修	H29.9	内部研修
サ責	安全管理者研修	H29.9	内部報告会
サ責	ストレスチェックとアンガーマネジメント	H29.9	内部報告会
訪問介護員	腰痛・予防対策研修（PTによる）②	H29.9	内部研修
サ責・訪問介護員	感染症研修	H29.10	内部研修
サ責	サービス提供責任者研修(短期スキルアップ講習)	H29.11	外部研修（大阪府府立労働安定センター）
サ責・訪問介護員	認知症及び認知症ケア研修	H29.11	内部研修
サ責	サービス提供責任者の役割とポイント	H29.12	外部研修（エルおおさか）
サ責・訪問介護員	介護記録について	H29.12	内部研修
訪問介護員	腰痛・予防対策研修（PTによる）③	H29.12	内部研修
サ責・訪問介護員	福祉介護事業におけるコンプライアンスについて	H30.1	内部研修
サ責	嚥下障害者の食支援	H30.1	内部報告会
サ責	認知症の方に対するリハビリテーションと認知症予防の為の暮らしの工夫	H30.1	内部報告会
サ責・訪問介護員	高齢者虐待について	H30.2	内部研修



サ責	第5回在宅医療推進・多職種連携研修	H30.2	外部研修（クリエイションスコア）
サ責	高齢者の精神疾患～認知症の病気を理解する所から見えてくる他の精神疾患	H30.2	内部報告会
サ責	2018年度介護報酬改定を読み解く	H30.2	外部研修（OMMビル）
サ責・訪問介護員	介護保険改正について	H30.3	内部研修
訪問介護員	腰痛・予防対策研修（PTによる）③	H30.3	内部研修
サ責	緊急時の介護	H30.3	内部報告会

・年間研修計画（グループホーム布市真寿庵）

月	日	研修内容	実施場所
1	12	認知症介護実践者研修	大阪社会福祉指導センター
	19		
	24		
	30		
2	1		
	15		
3	2	身体拘束と高齢者虐待防止	
	8	管理者研修	

・年間研修計画（布市福寿苑居宅介護支援事業所）

日程	研修内容
4月12日	外部研修 高齢者栄養ケア
5月18日	平成29年度東大阪指定居宅サービス事業者集団指導
5月20日	東大阪介護保険事業者連絡協議会総会
5月30日	CSW 連絡会
6月2・22日	外部研修 介護支援専門員 専門課程 I
6月27日	外部研修 ダブル改定 セミナー 2名参加
7月4・18日	外部研修 介護支援専門員 専門課程 I
7月18日	外部研修 坂道発信の会
7月24日	外部研修 大阪しあわせネットワーク 刑務所見学
7月25日	東大阪市と介護支援専門員との意見交換会
7月25日	外部研修 居宅介護支援事業者部会 PT・OT との連携
8月9日	外部研修 介護保険住宅改修研修会
8月10・30	外部研修 介護支援専門員 専門課程 I
8月29日	外部研修 地域福祉ネットワーク推進会議 グループワーク
8月30日	外部研修 介護労働者雇用管理者責任者研修
9月2日	内部研修 アンガーマネジメント
9月25日	外部研修 介護事業所における個人情報保護とコンプライアンス
10月3・19	外部研修 介護支援専門員 専門課程 I
10月11・25	外部研修 経営改善基礎講座
11月1・13	外部研修 介護支援専門員 専門研修課程 I
11月24日	外部研修 2017年度下期講座 カウンセリング講座
12月1日	外部研修 大阪市消防局高度専門教育センター
1月15日	外部研修 2018 医療介護 ダブル改定対策
1月16日	外部研修 坂道発信の会
1月29日	外部研修 認知症の方に対するリハビリテーションと認知症予防のための工夫
3月24日	外部研修 介護経営講座 改定の最新情報
2月28日	内部研修 高齢者の精神疾患 認知症の病気を理解する
3月28日	内部研修 成年後見制度の利用について
3月30日	内部研修 緊急時における介護職の役割

## 【10】年間稼働実施報告

### 特別養護老人ホーム布市福寿苑

H29	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延べ人数	2279	2420	2342	2406	2341	2191	2249	2129	2168	2157	2078	2332	27092
1日平均	76.0	78.1	78.1	77.6	75.5	73.0	72.5	71.0	69.9	69.6	74.2	75.2	74.2
稼働率	94.9	97.5	97.5	97.0	94.3	91.2	90.6	88.7	87.4	86.9	92.7	94.0	92.7

### 特別養護老人ホーム布市福寿苑（短期入所生活介護）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	利用者数	新規利用者数	延人数
(H29) 4月	1	0	8	12	12	12	5	50	8	478
5月	0	1	10	13	11	13	5	53	7	514
6月	0	0	6	8	11	13	5	43	6	418
7月	1	1	5	10	13	13	6	49	6	457
8月	0	2	7	13	13	16	6	57	10	514
9月	0	1	5	13	13	16	5	53	6	484
10月	0	1	8	12	11	18	5	55	9	508
11月	0	2	8	13	12	16	7	58	10	525
12月	0	2	4	14	13	13	9	55	6	492
(H30) 1月	0	1	6	15	8	14	9	53	5	519
2月	0	0	6	16	9	13	9	53	5	497
3月	0	0	6	16	10	15	7	54	5	538
計	2	11	79	155	136	172	78	633	83	5944

布市福寿苑デイサービスセンター

	通常規模型通所介護			認知症対応型			稼働日数
	実利用者数	延べ利用者数	1日平均利用者数	実利用者数	延べ利用者数	1日平均利用者数	
H29 4月	79	720	28,8	6	56	2.2	25
5月	77	777	28,8	6	57	2.1	27
6月	82	773	29,7	6	67	2.6	26
7月	80	796	30,6	7	77	3.0	26
8月	77	732	27,1	8	90	3.3	27
9月	73	677	26,0	11	85	3.3	26
10月	77	726	27,9	9	72	2.8	26
11月	78	709	27,3	13	82	3.2	26
12月	77	683	26,3	10	77	3.0	26
H30 1月	76	630	23,3	12	82	3.0	27
2月	75	586	24,4	12	79	3.3	24
3月	78	714	26,4	12	88	3.3	27
合計	929	8,523	326,6	112	912	34.8	313
月平均	77.4	710.2	27.2	9.3	76	2.9	26

布市福寿苑ヘルパーステーション

	訪問介護 利用者数	予防訪問介護 利用者数	総合事業		合計延利 用者数	一日平均 利用回数	延訪問 時間数	稼働日数																																																																																																																																																																						
			訪問型みなし 利用者数	訪問型定率 利用者数																																																																																																																																																																										
			延利用者数	延利用者数																																																																																																																																																																										
(H29)	21	25	1		305	12.2	317	25																																																																																																																																																																						
4月	150	147	8						5月	25	25	1		354	13.1	363	27	186	159	9		6月	27	23	4	3	397	15.3	396	26	218	141	22	16	7月	27	22	6	3	394	15.2	381	26	223	129	28	14	8月	30	18	8	4	392	14.5	376	27	232	108	38	14	9月	29	19	7	5	398	15.3	381	26	231	108	35	24	10月	30	18	8	4	398	15.3	378	26	227	103	38	30	11月	29	17	9	4	391	15.0	373	26	228	94	44	25	12月	29	13	13	4	385	14.8	367	26	225	70	68	22	(H30)	30	11	15	5	373	15.5	346	24	1月	207	55	88	23	2月	28	6	19	7	341	14.2	319	24	185	27	96	33	3月	27	2	20	8	371	13.7	348	27	203	10	119	39	合計	332	199	111	47	4.499	174.1	4.345	310	2.515	1.151	593	240	月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8
5月	25	25	1		354	13.1	363	27																																																																																																																																																																						
	186	159	9						6月	27	23	4	3	397	15.3	396	26	218	141	22	16	7月	27	22	6	3	394	15.2	381	26	223	129	28	14	8月	30	18	8	4	392	14.5	376	27	232	108	38	14	9月	29	19	7	5	398	15.3	381	26	231	108	35	24	10月	30	18	8	4	398	15.3	378	26	227	103	38	30	11月	29	17	9	4	391	15.0	373	26	228	94	44	25	12月	29	13	13	4	385	14.8	367	26	225	70	68	22	(H30)	30	11	15	5	373	15.5	346	24	1月	207	55	88	23	2月	28	6	19	7	341	14.2	319	24	185	27	96	33	3月	27	2	20	8	371	13.7	348	27	203	10	119	39	合計	332	199	111	47	4.499	174.1	4.345	310	2.515	1.151	593	240	月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8	209.6	95.9	49.4	20									
6月	27	23	4	3	397	15.3	396	26																																																																																																																																																																						
	218	141	22	16					7月	27	22	6	3	394	15.2	381	26	223	129	28	14	8月	30	18	8	4	392	14.5	376	27	232	108	38	14	9月	29	19	7	5	398	15.3	381	26	231	108	35	24	10月	30	18	8	4	398	15.3	378	26	227	103	38	30	11月	29	17	9	4	391	15.0	373	26	228	94	44	25	12月	29	13	13	4	385	14.8	367	26	225	70	68	22	(H30)	30	11	15	5	373	15.5	346	24	1月	207	55	88	23	2月	28	6	19	7	341	14.2	319	24	185	27	96	33	3月	27	2	20	8	371	13.7	348	27	203	10	119	39	合計	332	199	111	47	4.499	174.1	4.345	310	2.515	1.151	593	240	月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8	209.6	95.9	49.4	20																						
7月	27	22	6	3	394	15.2	381	26																																																																																																																																																																						
	223	129	28	14					8月	30	18	8	4	392	14.5	376	27	232	108	38	14	9月	29	19	7	5	398	15.3	381	26	231	108	35	24	10月	30	18	8	4	398	15.3	378	26	227	103	38	30	11月	29	17	9	4	391	15.0	373	26	228	94	44	25	12月	29	13	13	4	385	14.8	367	26	225	70	68	22	(H30)	30	11	15	5	373	15.5	346	24	1月	207	55	88	23	2月	28	6	19	7	341	14.2	319	24	185	27	96	33	3月	27	2	20	8	371	13.7	348	27	203	10	119	39	合計	332	199	111	47	4.499	174.1	4.345	310	2.515	1.151	593	240	月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8	209.6	95.9	49.4	20																																			
8月	30	18	8	4	392	14.5	376	27																																																																																																																																																																						
	232	108	38	14					9月	29	19	7	5	398	15.3	381	26	231	108	35	24	10月	30	18	8	4	398	15.3	378	26	227	103	38	30	11月	29	17	9	4	391	15.0	373	26	228	94	44	25	12月	29	13	13	4	385	14.8	367	26	225	70	68	22	(H30)	30	11	15	5	373	15.5	346	24	1月	207	55	88	23	2月	28	6	19	7	341	14.2	319	24	185	27	96	33	3月	27	2	20	8	371	13.7	348	27	203	10	119	39	合計	332	199	111	47	4.499	174.1	4.345	310	2.515	1.151	593	240	月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8	209.6	95.9	49.4	20																																																
9月	29	19	7	5	398	15.3	381	26																																																																																																																																																																						
	231	108	35	24					10月	30	18	8	4	398	15.3	378	26	227	103	38	30	11月	29	17	9	4	391	15.0	373	26	228	94	44	25	12月	29	13	13	4	385	14.8	367	26	225	70	68	22	(H30)	30	11	15	5	373	15.5	346	24	1月	207	55	88	23	2月	28	6	19	7	341	14.2	319	24	185	27	96	33	3月	27	2	20	8	371	13.7	348	27	203	10	119	39	合計	332	199	111	47	4.499	174.1	4.345	310	2.515	1.151	593	240	月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8	209.6	95.9	49.4	20																																																													
10月	30	18	8	4	398	15.3	378	26																																																																																																																																																																						
	227	103	38	30					11月	29	17	9	4	391	15.0	373	26	228	94	44	25	12月	29	13	13	4	385	14.8	367	26	225	70	68	22	(H30)	30	11	15	5	373	15.5	346	24	1月	207	55	88	23	2月	28	6	19	7	341	14.2	319	24	185	27	96	33	3月	27	2	20	8	371	13.7	348	27	203	10	119	39	合計	332	199	111	47	4.499	174.1	4.345	310	2.515	1.151	593	240	月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8	209.6	95.9	49.4	20																																																																										
11月	29	17	9	4	391	15.0	373	26																																																																																																																																																																						
	228	94	44	25					12月	29	13	13	4	385	14.8	367	26	225	70	68	22	(H30)	30	11	15	5	373	15.5	346	24	1月	207	55	88	23	2月	28	6	19	7	341	14.2	319	24	185	27	96	33	3月	27	2	20	8	371	13.7	348	27	203	10	119	39	合計	332	199	111	47	4.499	174.1	4.345	310	2.515	1.151	593	240	月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8	209.6	95.9	49.4	20																																																																																							
12月	29	13	13	4	385	14.8	367	26																																																																																																																																																																						
	225	70	68	22					(H30)	30	11	15	5	373	15.5	346	24	1月	207	55	88	23	2月	28	6	19	7	341	14.2	319	24	185	27	96	33	3月	27	2	20	8	371	13.7	348	27	203	10	119	39	合計	332	199	111	47	4.499	174.1	4.345	310	2.515	1.151	593	240	月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8	209.6	95.9	49.4	20																																																																																																				
(H30)	30	11	15	5	373	15.5	346	24																																																																																																																																																																						
1月	207	55	88	23					2月	28	6	19	7	341	14.2	319	24	185	27	96	33	3月	27	2	20	8	371	13.7	348	27	203	10	119	39	合計	332	199	111	47	4.499	174.1	4.345	310	2.515	1.151	593	240	月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8	209.6	95.9	49.4	20																																																																																																																		
2月	28	6	19	7	341	14.2	319	24																																																																																																																																																																						
	185	27	96	33					3月	27	2	20	8	371	13.7	348	27	203	10	119	39	合計	332	199	111	47	4.499	174.1	4.345	310	2.515	1.151	593	240	月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8	209.6	95.9	49.4	20																																																																																																																															
3月	27	2	20	8	371	13.7	348	27																																																																																																																																																																						
	203	10	119	39					合計	332	199	111	47	4.499	174.1	4.345	310	2.515	1.151	593	240	月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8	209.6	95.9	49.4	20																																																																																																																																												
合計	332	199	111	47	4.499	174.1	4.345	310																																																																																																																																																																						
	2.515	1.151	593	240					月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8	209.6	95.9	49.4	20																																																																																																																																																									
月平均	27.7	16.6	9.3	3.9	375	14.5	362	25.8																																																																																																																																																																						
	209.6	95.9	49.4	20																																																																																																																																																																										

布市福寿苑居宅介護支援事業所

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
認定調査	17	10	26	18	14	16	17	11	18	19	24	13	203
要支援 1・2 総合事業	17	19	19	19	19	20	21	20	21	20	20	17	232
要介護 1・2	106	113	113	109	111	112	112	112	110	110	111	108	1327
要介護 3・ 4・5	35	35	35	35	35	34	32	32	35	31	32	35	406
初回加算	6	9	8	2	6	3	4	3	6	2	4	8	49
月別件数 合計	158	167	167	163	165	166	165	164	166	161	163	160	1965

地域包括支援センター事業実績報告書

平成29年度年間分		支援センター名				布市福寿苑				今年度新規相談実人員		513	
相談件数		相談者と相談方法				身体状況							
実態把握加算対象	1635	本人	家族	CM	その他	計	不明	未申請	申請中	自立	要支援		要支援計
加算対象外件数	3	431	290	89	828	1638					1	2	
相談件数合計	1638							217	91	14	657	404	1061
介護予防ケアプラン作成件数		訪問	来所	電話	計	要介護度				要介護計			
認知症相談件数	273	1582	55	1	1638	総合事業	1	2	3	4	5		
		家族形態				相談内容及び申請代行				計		1638	
権利保護援助件数	31	同居	独居	計		相談内容	介護探検	介護	福祉サービス	保健医療	家族関係		
うち虐待関連件数	28	1025	613	1638		申請代行	259		3				
						介護予防	基本チェック	その他	計				
						相談内容	34	59	795	2277			
						申請代行			262				
サービスの状況と利用希望						単位地域ケア会議							
現利用		ホームヘルプ	デイサービス	デイケア	ショートステイ	訪問入浴	福祉用具	訪問診療等	訪問看護		介護支援専門員	サービス事業者	医師
利用希望	112	228	22	15		105	6	20			医療機関職員	自治会	民生委員
現利用		訪問リハビリ	配食	住宅改修	入所	予防プラン	生活援助	短時間	助け合い	つどい	計		
利用希望	21	16	89	50	182	2			29	897			
											協議出席者		
											協議加算対象		
地域ケア支援(生活支援)コーディネーター内訳													
相談方法				個別加算対象				認知症支援					
訪問	来所	電話	FAX	計	個別加算対象外	認知症カフェ(主催)				認知症カフェ(その他)	計		
2	4	8		14	地域ケア支援個別計	12	9		21				
					集団加算対象								
					地域ケア支援加算合計								
相談者	虐待関連相談件数	16			生活支援集団加算対象								
					30								
高齢者生活支援等会議													
地域活動団体						福祉・介護職							
自治会	校区福祉委員	民生委員	本人クラブ	居宅介護支援	訪問介護	通所介護							
3	3		3	3	3	2							
医療機関						計							
			医師	歯科医師	薬剤師	その他	計						
			3	3	3	3	29						
													高齢者生活支援等会議加算対象
													3
実施した支援内容													
地域ケア支援(個別・集団)						生活支援コーディネーター(担い手支援)							
ケアマネジメント支援	ソーシャルワーク援助	情報提供	連携支援	その他	計	担い手種別							
個別	1	6	6	18	16	47	助け合い	つどい	計				
集団	1		74		1	76							
生活支援コーディネーター活動(集団)						グループ種別							
生活支援の担い手の活動状況確認	生活支援の担い手養成支援	総合事業の制度説明等	計			グループ等活動支援	認知症カフェ	その他	計				
集団	23	2	5	30									

地域介護予防推進事業等実績報告書(集計表)

平成29年度年間分	支援センター名	布市福寿苑
-----------	---------	-------

地域介護予防活動支援

相談・支援件数		グループ種別					
総件数		老人クラブ	校区福祉委員会	自治会	老人Cボランティア	その他	計
	うちグループ活動支援	1				12	13
13	13						
相談方法							
		訪問	来所	電話	FAX	その他	計
		13					13

教室実施状況

開催件数	
介護予防教室開催件数	47
家族介護教室開催件数	6



## 介護老人保健施設枚岡の里 事業報告

### 【1】施設運営を振り返って

地域の方々が希望された際に迅速に対応する事を心がけ、本入所はもちろん短期入所療養介護における相談内容に対しても柔軟に対応を行いました。

サービスの質の向上を意識し、職員教育や業務改善を行う為の組織づくりや取り組みを年間通じて実施致しました。

### 【2】中期的展望における進捗状況について

30年度法改定に関する内容の伝達研修を会議等で行い、今後の介護老人保健施設に求められる内容の周知を行いました。そのうえで枚岡の里が従来型の老人保健施設となってしまう現状と、求められているニーズを再度検討を行い、入居者の方々が必要時に在宅復帰できる環境を構築する為にも、人材育成の取り組みが行えるよう、法人で取り組んでいる職員育成(職場研修)の環境づくりに努めました。

### 【3】施設の課題

- (1) 設備・備品に関しては長年使用していた床頭台を入れ替え行うと同時に、ご入居者様よりニーズの高かった衣類を収納できるダンスを一体化させる形状の物とし、ご入居者様のご自身でも管理が可能になる様な構造の物を導入させて頂きました。
- (2) 職員育成の為に職員の外部研修への派遣や各委員会主催での内部研修の実施に努めました。
- (3) 月間の稼働状況のグラフの作成と、職員が意識しやすくするための稼働達成状況を毎月の運営会議で報告を行い、その月々の稼働状況を向上させる為の方向性の共有を行う事に努めました。
- (4) 福寿苑のサロンや買い物ツアーへの参加を行い、健康祭りの開催を行いました。
- (5) 苦情対策委員会の開催時に苦情受付簿や直接申し出があった内容に対して、迅速に対応できる体制を構築し実施しました。

29年度より新たに出た課題として、人員の確保が必要となりました。求人媒体及び人材紹介等を利用し職員の獲得及び定着に努めます。

### 【4】拠点目標と計画

(施設全体の取り組み)

- (1) 環境づくりの一環として、床頭台・ダンスの入れ替えを行いました。

老朽化した配管部分等の補修・入れ替え工事を行いました。

- (2) 地域貢献活動として本年度より枚岡健康祭りの再開と福寿苑が実施しているサロン・買い物ツアーへの参加協力を実施しました。
- (3) 職員育成を行う為にも、外部研修への参加及び内部研修の充実に努め、職場内研修の環境作りに取り組みました。
- (4) 人件費削減を行う為にも業務改善を実施し、用務員の雇用を促進し直接的介護と間接的介護の区別を行い人件費の削減を行えるように業務改善と人員配置の見直しを行いました。
- (5) 今年度枚岡の里に寄せられた苦情や要望に対して、各委員会で話し合いを行い都度改善に取り組み、必要に応じての施設内研修の実施・注意喚起を行いました。
- (6) 新たな行事の計画及び実行を行い、リハビリの観点を踏まえた上でご利用者様と共に行事の飾りつけの作成を行い新しい行事への参加の形の構築に努めました。

## 【5】計画の数値化

- (1) 事業運営の稼働目標としては95%を目標としておりましたが、今年度は年間平均で92.7%となっております。  
原因としては職員の離職による人員不足の影響によるものが大きく出てしまいました。  
運営会議において毎月の目標達成率の状況確認と、今後の方針を検討行いグラフによる稼働状況及び、目標達成の為の具体的な数字目標を共有する体制を構築しました。
- (2) 職員の人事異動及び、昇格人事等を踏まえて各職種の体系づくりに努めました。  
今年度より療養食加算の取得を行っております。
- (3) 短期入所の受け入れを随時行い、急な依頼にも対応できる体制作りを行う事で、居宅とのつながりを持ち入所相談等を行って頂ける環境づくりに取り組みました。

(各セクションの見直し)

### 【介護部門】

- ・職員の育成体系の構築を行う為にも、役職者の整備や日常業務中でのスキルアップを行うべく、業務そのもの見直しを随時行い、問題点等は業務改善委員会等で検討行い都度改善を行いました。
- ・行事内容の見直し ・日常生活リハの取り組み

**【看護部門】**

職員個々で行っていた業務担当の共有を行い、効率的に業務を行える様に努めました。

**【療法士部門】**

日常生活の中で出来るリハビリプログラムの充実を目的としたリハビリ計画の作成に取り組みました。

**【相談員部門】**

居宅介護支援事業所への営業活動を行い、短期入所のご利用に結び付け担当ケアマネジャーと枚岡の里との関係性作りに努めました。

**【介護支援専門員部門】**

ケアプラン内容の見直しと各職種同士の連携による日常生活リハの充実が図れるような内容の立案に努めました。

**【栄養士部門】**

療養食加算の取得を行う為に、療養食メニューの調整を行い、加算取得を行いました。

**【事務員部門】**

30年度の法改定に備え、情報収集及び事前対応を行えるように準備しました。  
ご入居者の方々の支払い方法の変更を次年度より実施できる様に体制を構築しました。

【年間行事実績】

年間行事

4月	花見行事・誕生日会 歌謡クラブ・里喫茶	10月	ハロウィンパーティー バイキング・誕生日会 歌謡クラブ・里喫茶
5月	日替温泉行事・誕生日会 歌謡クラブ・里喫茶	11月	霜月の会・歌謡クラブ 誕生日会・里喫茶
6月	水無月会・誕生日会 歌謡クラブ・里喫茶	12月	クリスマス会・誕生日会 歌謡クラブ・里喫茶
7月	流しそうめん・誕生日会 歌謡クラブ・里喫茶	1月	元旦祭・誕生日会・里喫茶
8月	夏祭り・誕生日会 里喫茶	2月	節分祭・誕生日会・里喫茶 鍋の会
9月	敬老祝賀会・健康祭り 歌謡クラブ・里喫茶・誕生日会	3月	ひな祭り・誕生日会 里喫茶・歌謡クラブ

【年間防災訓練実績】

防災訓練

6月	消火訓練
2月	日中想定避難誘導訓練
2月	夜間想定通報避難誘導訓練（3施設合同）

【月別稼働率】

H29年4月	5月	6月	7月	8月	9月
94.9%	95%	95.5%	94.6%	92.4%	90.7%
10月	11月	12月	H30年1月	2月	3月
93%	94.6%	91.4%	91%	90.5%	88.7%

【年間研修実績】

施設内研修

4月	介護体験研修
6月	中堅職員実務者研修
7月	初任者研修
8月	認知症サポーター養成講座
8月	苦情対策に関する研修会
9月	安全対策に関する研修会
10月	感染症基礎講座
10月	インフルエンザに関する研修会
11月	ノロウイルスに関する研修会
12月	身体拘束廃止研修
1月	感染症基礎講座
3月	安全対策研修
3月	高齢者虐待・人権研修

随時開催：新人職員対象感染症に関する研修

認知症サポーター研修

施設外研修

4月	多職種連携研修会
5月	特定給食講習会
6月	起居関連動作と移乗介助の基本研修会
6月	社会福祉施設ボランティアコーディネーター研修会
6月	高齢者虐待に関する研修会
7月	身体拘束ゼロ推進員養成研修
7月	主任・係長講座
7月	処遇改善加算Ⅰの有効活用
8月	身体拘束ゼロ推進員養成研修
8月	慢性創傷管理のポイント
9月	身寄りが少ない利用者の為の後見活用法
1月	ノロウイルスの感染拡大をさせないために
2月	高齢者虐待に関する研修会
3月	高齢者虐待・人権研修

## 介護老人保健施設長田の里 事業報告

### 【1】施設運営を振り返って

- (1) 経営の安定および収入増に取り組んだ。
  - ① 目標・実績を数値で示し、「結果・課題の見える化」をすることによる職員の意識改革を実施
  - ② 利用者処遇向上の観点に立ったサービス提供内容の見直しによる新たな加算算定を検討
- (2) 職員が介護老人保健施設の担うべき役割を学ぶ機会を設けるとともに、今後の方向性を検討し、専門職としてのスキルアップの必要性の理解に努めた。
  - ① 積極的な外部研修への職員の派遣および施設内で伝達研修の実施
  - ② 専門職同士の連携強化
  - ③ 平成30年度の介護報酬改定について、施設運営会議で繰り返しの解説および収益シミュレーションを実施
- (3) 業務効率の改善を検討し、実施と更なる課題の抽出を行った。
  - ① 「介護助手」「送迎ドライバー」の雇用開始
  - ② 残業時間減少に向けて、プログラム変更および新たな勤務形態の導入。
  - ③ 職員面談を通じての課題抽出

### 【2】中期的展望における進捗状況

地域包括ケアの中心的な役割を担うことを目標に掲げ、次の3点に注力し取り組んだ。

- (1) 地域での認知度および信頼度の向上
  - ① 近隣病院との連携強化
  - ② 地域交流推進
- (2) 継続且つ包括的なサービス提供
  - ① 経営の安定化
  - ② 施設サービスと在宅サービスの連携強化
- (3) 利用者満足向上
  - ① サービスの質の向上をめざした人材育成の強化
  - ② 職員意識改革のため、他施設へ研修派遣

### 【3】施設の課題について

平成29年度は、「人材育成」「経営基盤の基礎強化」を課題に取り組んだ。

「人材育成」については、新たに人材育成委員会を設置し、月1回の会議を実施した。各部署において上職者からの面談をOJTに取入れた。

「経営基盤の基礎強化」については、まずは安定した収入の確保のため、高稼働維持に取り組んだ。スムーズな入所を推進していくために、医療機関・居宅介護支援事業所との連携強化ため、月2回の営業活動を実施した。

平成30年度の介護報酬改定により、介護老人保健施設に求められる役割がより明

確化された中、今後の課題として「専門性の向上」と「施設の方向性の確立」が挙げられる。面談によるOJTの継続や専門性を活かせるような連携会議などを実施するなどし、人材育成を進めていくとともに、自己実現・自立支援の観点から利用者ニーズに応えられるような施設をめざしていく。

【4】拠点の目標と実施状況について

(1) 地域や福祉・医療機関との連携強化

- ①近隣医療機関および居宅介護事業所への月2回の営業活動
- ②地域と施設の行事へ相互参加

(2) 人材育成強化（中期展望参照）

(3) 稼働率向上（数値目標と実績を参照）

【5】数値目標と実績について

事業	H29年目標	H29実績	増減
介護老人保健施設	97%	96.3%	-0.7%
通所リハビリテーション	80%	76.0%	-4%
居宅介護支援事業所	上半期：36件/月	40.3件/月	+4.3件
	下半期：26.2件/月	26.2件/月	増減なし

※居宅介護支援事業所については、下半期より介護支援専門員1名増員。毎月2件増加を見込み目標設定

【6】各事業の目標と実施状況

(1) 介護老人保健施設

○目標

介護老人保健施設の持つ専門性を発揮し、地域から信頼される施設作りをめざし、稼働率97%・在宅復帰率15%を目標とした。

○実施状況

- ① 医療機関・介護支援事業所へ月2回の営業を実施した。
- ② 併設事業と連携を取りながら、施設入所・在宅復帰時の情報共有を十分の行い、継続且つ包括的な支援に努めた。
- ③ 円滑に入所を行うために、入所判定会議の見直しを行った。
- ④ 地域における認知症ケア推進の役割を担うため、新たに2名の認知症キャラバンメイトの認定を受けた。また、施設職員全員が認知症サポーター養成講座を受講した。
- ⑤ 利用者の状態変化の早期発見を心がけ、入院者減少に努めた。
- ⑥ 認知症短期集中リハビリテーションの実施回数を増加した。
- ⑦ 食事摂取について、多職種で連携しながら個々に合ったケア方法を検討・実践することで、誤嚥性肺炎予防に努めた。

○結果

稼働率：96.3%で目標達成せず 在宅復帰率：8.5%で目標達成せず

○課題

- ① 医療機関・居宅介護支援事業所や併設事業との連携を更に深め、地域ニーズの把握に努める。
- ② 地域公益への取組み推進。
- ③ 介護老人保健施設の有する在宅復帰機能への職員理解を深めるために、研修会や在宅復帰へ向けたシステム作りに取り組む。
- ④ 在宅復帰率向上をめざして、個別性の高いサービス提供を行えるように、多職種連携強化に努める。
- ⑤ 専門職の観点から在宅復帰が可能と判断できる利用者については、積極的に施設から提案するように努める。

(2) 通所リハビリテーション

○目標

居宅介護支援事業所との連携を強化に努め紹介率アップをめざし、稼働率80%・一日平均24名を目標とした。

○実施状況

- ① 短時間利用など利用者ニーズに柔軟に対応できるように体制を整えた。
- ② 毎日、リハビリスタッフとのミーティングを実施し、多職種間での情報共有に努め個別リハビリの充実に努めた。
- ③ 毎月通所会議を開催し、業務改善やプログラムの見直しを行い、サービス向上に努めた。
- ④ 少なくとも月1回は居宅介護支援事業所への営業を実施した。
- ⑤ 在宅生活が継続できるように、利用者や家族への聞き取りや家庭訪問を積極的に実施し、個別性の高いリハビリの提供に努めた。

○結果

稼働率76.0%で目標に達成せず 一日平均22名で目標に達成せず

○課題

- ① 「自己実現」「自立支援」を目的とした新たなプログラムの導入を行う。
- ② 研修や勉強会を実施し、職員の知識向上に努める。
- ③ 内覧会を開催するなど新たな営業方法に取り組む。

(3) 居宅介護支援事業所

○目標

より多くの方が住み慣れた地域で継続して暮らしていけるよう次のことを目標とした  
上半期：稼働率90% (36件/月)

下半期：介護支援専門員を1名増員することで、24時間連絡体制を構築する。

居宅支援専門員の増員後、2件/月の増加をする。



○実施状況

- ① 継続且つ包括的支援できるように併設事業との連携強化に努めた。
- ② 毎月、市内の地域包括支援センター8ヶ所を訪問し、社会資源などの情報共有や困難ケースの相談などを行い、連携強化に努めた。
- ③ 介護支援専門員を1名増員し、より多くの方に支援提供できる体制を整えた。
- ④ 利用者が安心して、地域で暮らしていけるように24時間連絡体制を構築した。
- ⑤ 毎週ミーティングを行い、事業所内で利用者の情報共有に努めた。

○結果

上半期：40.3件/月で目標達成

下半期：1.8件/月増加で目標達成せず

○課題

- ① 介護支援専門員としての、スキルアップのため居宅支援事業所との合同勉強会に積極的に参加する。
- ② 介護支援専門員実務課程実習の受入れを積極的に行い、地域福祉への貢献に努める。
- ③ 継続且つ包括的に支援を行えるように、地域包括支援センターや併設事業との連携強化に努める。

【7】別表

年間防災訓練実施状況

月	種 別	内 容
6	消 火 器 訓 練	水消火器を使用して、火災発見から消火活動まで一連の流れを修得する訓練
9	総 合 訓 練	夜間を想定した、通報訓練・消火訓練・避難誘導訓練（消防署員立会い）
12	地 震 訓 練	大地震を想定して、利用者の安全を確保する訓練
3	緊 急 連 絡 訓 練	緊急時、全職員への通報訓練及び緊急動員を要請する訓練

年間行事実施状況  
(介護老人保健施設 長田の里)

月	行事名	火	行事名
4月	コミュニティー祭り 買い物 誕生日会	10月	地車訪問 買い物 誕生日会 カラオケ
5月	端午の節句・買い物 誕生日会	11月	買い物 誕生日会・上映会
6月	喫茶・買い物 外出行事・誕生日会	12月	クリスマス会・買い物 誕生日会
7月	七夕祭 買い物・誕生日会 外出行事	1月	元旦祭 誕生日会・鍋の会 買い物
8月	夏祭り・買い物 外出行事・誕生日会	2月	節分・買い物 誕生日会
9月	敬老祝賀会 買い物・誕生日会 上映会	3月	ケーキバイキング 誕生日会・買い物 上映会

(長田の里通所リハビリテーション)

実施月	年間行事計画
4月	お花見行事
5月	端午の節句
6月	買い物行事
7月	七夕祭り
8月	夏祭り
9月	敬老行事 (合同)
10月	スポーツ大会
11月	焼き芋行事
12月	クリスマス会
1月	初詣
2月	節分行事
3月	ひな祭り

【10】年間研修実施状況

実施月	内部研修	外部研修
4月	新人研修	
5月	褥瘡予防対策	
6月	人権・接遇	食中毒予防対策講習会
7月	食中毒対策	
8月	災害時の対応	
9月	事故防止・再発予防・緊急対応	看護実務者研修（身体拘束廃止）
10月	倫理・法令遵守	大阪府認知症介護基礎研修 リスクマネジメントに関する研修会
11月	認知症・個人情報	認知症介護実践者研修 感染症予防対策研修 リスクマネージャー養成講座
12月	感染症予防・腰痛予防	アンダーマネジメント研修
1月	褥瘡予防対策	
2月	身体拘束・人権	大阪府キャラバンメイト養成研修
3月	事故防止・再発予防・緊急対応	腰痛予防対策研修会

## ケアハウスひらおか 事業報告

### 【1】施設運営を降り返って

#### (1) 施設運営で方向性を明確化した。

- ① 入所者支援において『自立支援』を基本に、健康で明るく、安心して暮らせる生活の位置付け、生きがいのある、快適な生活を送っていただけるよう快適な生活環境の維持に努めた。
- ② 生きがい活動として、アコーディオン・ピアノ・おやつ会・買物ツアー・自治会高齢者との交流会等、気分転換を図り、入居者近隣住民の親睦を図った。
- ③ 職員の資質向上において、内部研修の実施知識・技術の修得に努めた。

### 【2】中期展望における進捗状況について

#### (1) サービスの質向上

- ① 法人の理念である地域の生活支援の拠点として頂けるよう、居住型施設と福祉施設の役割を併せ持つという特徴を十分に発揮して行けるよう周知徹底した。
- ② 地域に発信していける、開かれた施設として施設の開放、ボランティアの積極的な受け入れ、地域イベントへの参加、地域サービスの拠点としての充実職員教育の実施。生きがいのある、快適な生活を送っていただけるように入浴室の改修工事においては、手すり、庭園の増設により環境整備を図り、引き続き快適な生活環境の維持に努めた。
- ③ プライバシー保護において、利用者各位の自己決定権を尊重しながら、多様化するであろうニーズに対して、職員一人一人が、専門職としての自覚を持ち、法人内研修、外部研修に積極的参加し知識・技術の修得に努め、資質の向上に取り組んだ

### 【3】施設の課題について

- ① 入居されている方は、身体的な介護は必要としないものの、様々な事情で居宅での生活が困難な方が生活されているところであり、多様化するであろうニーズに対して情報を収集し利用者の良質の生活が提供できるよう、生活の充実に努めた
- ② 施設の老朽化の為、施設の総点検を実施、利用者にして頂けるよう環境整備を図り引き続き快適な生活環境の維持に努めた。
- ③ 要支援、要介護者への対応については、医療機関や介護サービス提供機関と入居者の身体状況の共有に努めると共に、要介護状態の低下に努めた。
- ④ 職員の業務に必要な知識、実践力を高めることはもちろん、さらには業務に対する前向きで意欲的姿勢、人間性を深めるための努力と謙虚さ等、これら職員が資質向上を目指すため様々な場面や機会を通じ取り組みを行ってきているところであるが、さらに日常における支援現場での取り組みや会議・打合せ、その他の様々な場面において資質向上を目指して一層の努力が職員個々はもとより、施設全体に渡って重要となる。

#### 【4】拠点の目標と実施状況について

- ①事業所の収入規模にも限られているため、厳しい経営状態ではあるが、利用率の向上と費削減、支出の効率化に力を入れ何とか経営を行ってきたところである。
- ②職員体制の見直しにおいて、現職員の体制は高齢化になっており、体制の強化を今後行っていく。
- ③施設での生活が少しでも充実したものとなるように支援する我々職員が現場において話し合いを重ね、改善策を考案・計画をし実践するなど、細部に渡りたくさんの事に取り組んで来た。日々提供される食事等々、日常の衣食住に係ることや余暇活動、日中活動に関する様々な事項についてそれぞれよい良いサービス提供が出来るようにと職員一丸となって取り組んできたことは一定の成果があったが、まだまだ十分ではないという思いを今後も抱き続け、さらに入居者が充実した快適な生活を送る事ができるようにこの後も努力をしなければならない。
- ④今後社会福祉法人の一部改正による地域における公益性取り組みを実施する責務が明確化されること等と相まって施設のあるべき姿、サービス提供のあり方や方法や法人の理念・方針を再度確認し、施設の開放、見学会の実施等、真に必要とされる施設となるよう目指し、成長をしていかなければならない。

#### 【5】数値目標と実績について

事業	H29年目標	H29実績	増減
ケアハウスひらおか	93%	90.7%	-0.3%

- ①平成29年度の結果累積入居者数は、19,868人(入居率90.7%)前年度(入居率88.8%)と数値目標は微減となった、要因としては、入居者の受け入れに対しての強化を一步步つつ推し進めることが出来たが、入居者の入院率は、前年度より-1.2%と下がり、その後の退去される方が多く平成30年度に向けての取組として入居者の健康管理においての対策が、努力課題となる。

#### 【6】各事業の目標と実施状況について

- ①施設運営に対し、新規入居者もあるも入居者の体調不良のため入院、も多くも目標稼働率93%と前年度よりは、微減となり最大目標値、満床にはならなかった。入居者の個別ニーズに沿った援助計画の検討と援助内容の共有化に努め、定期的な健康維持、健康のチェック、身体状況の把握に努め各種サービスに結びつけた。また多様化するであろうニーズに対しての良質な生活が提供できるよう各種サービス事業所とも連携を図り、日常生活上必要な援助の強化や計画的に施設改修時に、必要な設備等を考え課題の解決に努めた。

##### (1) PDCAの実行

###### 計画

- ①入居者に対して身体状態把握、地域包括、居宅、各種事業所スムーズに結び付け自立した生活ができるよう支援する。

- ② 社会・地域貢献事業として地域高齢者と入居者との交流会の開催、施設の開放。
- ③ 職員の資質向上への取り組み良質の生活が出来るよう職員の体制整備。
- ④ 施設稼働率向上に向けての取り組み。
- ⑤ 快適な生活環境維持の為の建物改修計画。

#### 実行

- ① 新規入居者については身体状況により地域包括、居宅への施設内生活情報を提供し施設での生活の維持に努める。  
投薬管理が必要な方への支援、見守り支援の実施。  
行事（手作りおやつ会）年 3 回、ピアノ・アコーディオンボランティア月 1 回・和太鼓演奏年 1 回、地域高齢者とのふれあい茶話会月 2 回の生活支援の実施、買い物の支援。
- ② 地域貢献活動としての取り組みで、地域自治会高齢者と入居者とのふれあい茶話会を月 2 回施設内で開催。  
両ケアハウス連絡会による情報の共有、職員の資質向上に向けた施設内研修の実施。入居者が良質の生活が出来るよう職員の外部研修の推進。
- ③ 地域包括、各事業者への PR 活動の継続。  
入居者の健康管理及び各種サービスへの結びつけ。
- ④ 各居室の生活環境の整備

#### 評価

- ① 新規入居者の身体状況の把握において、家族様よりの情報が取りづらく入居者の状態把握が出来ていないケースも多くなって来ている。  
自己での投薬管理が出来ていない利用者が増えてきており施設管理が必要となつてきている入居者も増加している。  
各種行事催し等、利用者の要望等職員と話し合い計画的に組み入れ在宅生活の充実に努めた。  
自己での買い物が身体低下により行けなくなつてきており月 1 回の買い物ツワの実施による日常生活の援助の強化が出来た。
- ② 地域自治会高齢者とのふれあい茶話会を月 2 回施設内で開催し入居者との交流をする事が出来た。
- ③ 内部研修の開催による職員の資質の向上に繋がった。  
入居者の身体状況の低下による見守りの増加で職員の負担率の増加。
- ④ 体調管理を徹底するも利用者の身体状況の低下が進み早期治療を進めるも退所されるケースが増えてきている。  
生活環境維持に向けての検討。

#### 改善

- ① 新規入居者においては、家族様の情報提供が、利用者と共に生活をされていないケースが多く的確な情報としては、入所されてからの情報収集で見守りの中より見出す事が必要となつて来ており職員の資質の改善が急務となつて来ている。  
投薬管理の入居者が増えてきており、薬のチェックの強化や受診日の確認等を職員間で確認また当日緊急受診となるケースも見受けられる員の資質改善が急務となつ

て来ている。

- ② 地域貢献事業として地域自治会高齢者と入居者のふれあい茶話会も月 2 回、施設を開放して開催の現状維持と、入居者の自治会行事の参加も増えてきており地域との交流が出来ており、今後の交流会内容について老人会会長、婦人部長と改善すべき点を話し合っている
- ③ 職員の資質向上においては、内部研修の実施、外部研修への積極的な参加を目指しているが、職員体制の問題で参加が難しく改善に向けて職員体制の問題等、検討をしている。
- ④ 外部への PR 活動継続の強化、両ケアハウス活動の推進、活動先の検討  
新規入居者の獲得による稼働率向上を目指す。  
稼働率向上に向けての取り組みとして、施設行事の増加買い、買い物支援として買い物ツワーの実施、買い物代行、等施設生活の充実によるサービスの取り組み。
- ⑤ 快適な生活環境の整備においては、男女浴室改修工事に続き共用部の計画的改修の検討による、生活環境維持の推進。

(入居者現状) 入居定員 60名

【6】月別入退居状況

(平成 30 年 3 月末現在)

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
入居	男		1	1		3				2			2	1	10
	女				1	1	2		1		3	1			9
	計		1	1	1	4	2		1	2	3	1	2	1	19
退居	入院	男		1											1
	女			1	1	2									4
	他施設	男	1												1
	女		3				1						1	1	6
	希望	男								1					1
	女				1										1
	死亡	男									1			1	2
	女													1	1
計			4	2	2	2	1			2			2	2	17
月末現在	男		20	20	20	23	23	23	23	23	26	27	28	29	
入居者	女		32	31	30	29	30	30	31	31	31	31	30	28	
人員	計		52	51	50	52	53	53	54	54	57	58	58	57	

【7】平成29年度防災訓練実施報告

月 日	種 別	内 容
(H29) 6月16日	基礎訓練	防災監視盤・非常通報装置・非常用放送設備などの確認及び使用方法を学ぶ基礎訓練、通報、初期消火、入居者の避難誘導 職員5名入居者15名
2月23日	基礎訓練 消防署立会 い	消防署立会いによる、通報、初期消火、入居者の避難誘導を行った（3施設合同、枚岡の里中心で） 職員7名入居者25名
(H30) 3月23日	基礎訓練 消防署立会 い	夜間の出火を想定し、宿直者が通報、初期消火、入居者の避難誘導訓練を行った（3施設合同、ひらおか中心で） 職員11名入居者17名

【8】平成29年度行事報告

月	施設内定例行事
4月	花見会（ドライブ）・誕生日会
5月	端午の節句（菖蒲湯）・おやつ会・誕生日会
6月	おやつ会・誕生日会
7月	七夕祭り・誕生日会・おやつ会
8月	夏祭り（4施設合同）・おやつ会・誕生日会
9月	敬老祝賀会・誕生日会・枚岡健康祭（4施設、枚岡病院合同）
10月	枚岡神社秋郷祭・太鼓台訪問（地域住民慰問）・誕生日会・おやつ会
11月	鍋の会・誕生日会・おやつ会
12月	クリスマス会・ゆず湯・誕生日会
1月	元旦祝賀会・鍋の会・誕生日会
2月	節分祭（豆まき）・鍋の会・誕生日会
3月	ひな祭り・誕生日会・鍋の会



【9】平成29年度 職員施設内外研修の状況

月 日	内 容	場 所	職 種
4月26日	要配慮者利用施設等における災害 対策事業者説明会	東大阪市総合庁舎	施設長
5月17日	東大阪市高齢介護施設会総会	料亭若葉	施設長
5月24日	食中毒予防	イコーラムホール	栄養士
5月17日	食中毒予防	イコーラムホール	栄養士
7月10日	東大阪市高齢介護施設会定例会	東大阪市社会福祉協議会	施設長
7月27日	栄養ケア・マネジメントの実践	大阪社会福祉指導センター	管理栄養士
7月27日	調理員研修	イコーラムホール	栄養士
10月10日	リスクマネジメントに関する 研修会（福祉サービスの質の向上 とリスクマネジメントの取組み）	大阪社会福祉指導センター	介護員
11月8日	感染予防対策講習会	国際交流センター	副主任介護員
11月29日	平成29年個人情報保護研修会	大阪社会福祉指導センター	生活相談員
1月18日	東大阪市高齢介護施設会総会	料亭若葉	施設長
2月19日	平成29年度高齢者福祉事業セミナー	新大阪江坂東急 REI ホテル	施設長
3月2日	東大阪市高齢者虐待防止研修会	東大阪市総合庁舎	介護員
3月17日	第25回東大阪市福祉大会	国際交流センター	施設長

## ケアハウス喜里川 事業報告

### 【1】施設運営を振り返って

平成 29 年度は、当事業所の地域における位置づけを確立する事をメインテーマに置き、施設の存在を PR するための広報活動の強化や地域包括支援センターとの連携強化、地域住民向けサービスの企画立案等に努めた。また、より地域に根差した事業所を目指すうえでの新たな取り組みとして、日常生活支援総合事業における短時間通所型サービス事業を開始した。

### 【2】中期的展望における進捗状況について

平成 29 年度においては、①地域包括ケアの推進、②提供するサービスの質の向上、③地域への貢献を中期的展望の柱とし、各項目について、以下のような取り組みを行った。

#### ①地域包括ケアの推進に向けて

- ・日常生活支援総合事業 短時間通所型サービス事業の運営を開始し、一定の目的が立った
- ・地域のコミュニティとなるべく施設設備を開放しているが、いまだ周知が行き届いておらず、目立った実績が作れていない
- ・生活保護受給者並びに要介護者の施設入居受入れの強化を図り、幅広い層の施設入居実績を作ることができた

#### ②提供サービスの質向上

- ・通所事業については機能訓練に焦点を当て、提供サービスの見直しを図ったが、具体案の企画立案は乏しく、いまだ達成されていない
- ・ケアハウスにおいて実施している毎月の定例行事を刷新し、外出行事の追加や新しい行事の立案と実施や既存行事も内容を見直した
- ・法人が行う“ご利用者アンケート”以外にも独自のアンケート調査等を実施し、様々なサービス提供や行事運営等に反映させた

#### ③地域への貢献

- ・地域住民の参加等を含めた施設行事の企画立案を行ったが、前年度実績と比較してもあまり進捗がなかった
- ・施設入居者と職員合同による地域清掃活動を実施した。
- ・地区担当地域包括との連携を強化し、実施される様々な取り組みにおける会場提供などを行った。

### 【3】施設の課題について

#### ①施設設備の老朽化

平成 28 年度において、施設外壁設備の補修を行ったが、課題となっていた内装部分に関しては、平成 29 年度中に特段進展がなく、特に空調設備については、継続課題となる。

## ②施設設備の地域開放

地域包括ケアの推進にあたっては、地域とのつながりが重要であると考えているが、そのきっかけ作りとして前年度に計画していた施設設備の地域住民への開放が、進んでいない為、自治会との連携及び施設広報の強化が必要。

## ③地域住民に向けたサービスの創設

平成 29 年度においては、地域貢献の一環として、地域住民向けに何らかのサービス提供ができないかと模索したものの進展がなかった為、具体的な住民向けサービスの創設を目指す。

## ④拠点運営の安定化

近年、拠点単体で見た際に赤字経営が続いているが、様々な拠点の課題を解決する上で、事業運営の安定は重要であり、拠点単体での黒字化を目指す事が必要

### 【4】拠点の目標と実施状況について

平成 29 年度 事業計画では以下の 4 点を拠点の目標に掲げ、下記を実施した。

#### ①各部補修計画の立案と推進（“施設の課題”参照）

#### ②地域に向けた施設情報の発信

- ・施設広報誌の掲示継続
- ・居宅介護支援事業所向けの食事試食会の実施

#### ③職員の職務能力向上に向けた取り組み（“施設の課題”参照）

- ・外部研修への積極的な派遣

#### ④地域貢献事業への取り組み（“中期的展望”及び“施設の課題”参照）

- ・地域包括支援センター実施の取り組みに対する会場提供
- ・地域清掃の継続実施

### 【5】数値目標と実績について

	H29 計画	H29 報告	増減
ケアハウス	稼働率 91%	稼働率 90.8%	-0.2%
デイサービス	稼働率 80%	稼働率 63%	-17%
拠 点	事業事務支出 -0.2%	事業事務支出 -2.9%	-2.7%

### 【6】各事業の目標と実施状況について

(ケアハウス)

ケアハウスにおいては、3 点の目標を平成 29 年度の事業計画に挙げており、それぞれの計画に対する実績は下記のとおりであった。

#### ①営業活動の強化

- ・東大阪市内に存在する地域包括支援センターへの営業活動の実施
- ・近隣の入院設備を併せ持つ病院への営業活動実施
- ・居宅介護支援事業所向けに施設の食事試食会を開催

②職員の育成と職場環境の改善

- ・外部研修への積極的な派遣
- ・職員会議の開催方法見直し

③施設サービスの質の向上

- ・行事開催に関する独自アンケート調査の実施
- ・レクリエーション開催曜日の追加
- ・外出行事の追加

(デイサービス)

デイサービスにおいては、稼働率の向上を目標に掲げ、目標達成のために下記の取り組みを進めたが、結果としては目標稼働率には大きく及ばなかった。

- ・月平均3件の新規営業先の開拓
- ・既存営業先への営業活動継続
- ・新たな集団機能訓練の企画立案（タオル体操等）
- ・あん摩師採用に伴うマッサージ施術の導入
- ・個別機能訓練加算の取得を視野に入れた機能訓練プログラムの推進

【7】別表

○年間防災訓練実施報告

月 日	種 別	内 容
10月13日	日中想定 避難誘導訓練	日中の火災発生を想定し、ケアハウスとデイサービスのご利用者にも参加していただいた避難誘導訓練
12月20日	地震発生想定 避難誘導訓練	地震発生時の職員及び利用者の行動内容確認と避難誘導、注意点に関する講演を実施
2月21日	夜間想定 避難誘導訓練 消火訓練	消防署員立ち合いの下、夜間の火災発生を想定した避難誘導訓練とその総評、並びに水消火器を使用した消火訓練を実施
3月24日	夜間想定通報訓練	緊急連絡網の有用性等の確認を含めた、模擬通報訓練

○年間行事実施報告

(ケアハウス)

月 日	行 事 内 容	定 例 行 事
4月7日	花 見 会	誕生日会
4月10日	造幣局 特別観桜会	
4月8日、9日、 12日	花見ドライブ	
5月5日	端午の節句（菖蒲風呂）	誕生日会
5月13日	新緑コンサート（繩手北中学校ブラスバンド部慰問）	
5月19日	日帰りツアー（天王寺動物園）	

6月15日～29日	買い物ツアー（イトーヨーカドー・コーナン）	誕生日会（松永様）
7月15日	夕涼み会	誕生日会（カトレア様）
8月5日	枚岡4施設 合同夏祭り	誕生日会
8月23日	おやつレク（かき氷）	（悠楽会・アミーゴ様）
9月16日	ケアハウス・デイサービス 合同敬老祝賀会	誕生日会（マカナ様）
10月20日	日帰りツアー（姫路セントラルパーク）	誕生日会
11月7日～13日	ケアハウス・デイサービス 合同文化祭	誕生日会 (JIAN様)
11月15日	おやつレク（たこ焼き）	
11月26日	衣料品訪問販売会（ストーク様）	
11月29日	縄手東小学校 慰問（5年生）	
12月8日	おやつレク（焼いも）	誕生日会
12月23日	クリスマス会	誕生日会
1月1日	元旦祭	
1月11日	おやつレク（鏡開き・ぜんざい）	
2月2日	ケアハウス・デイサービス 合同節分祭	誕生日会
2月19日	選択食	（大東ハーモニカ様）
3月3日	雛祭り	誕生日会
3月21日	おやつレク（たい焼き）	（職員合唱）

（デイサービス）

月 日	行 事 内 容
4月2日～7日	花見ドライブ
5月8日～20日	石切神社参拝
6月1日～13日	お買い物ツアー（イトーヨーカドー）
7月12日～15日	夏祭り
8月14日～19日	室内ボーリング大会
9月12日～16日	室内運動会
9月16日	ケアハウス・デイサービス 合同敬老祝賀会
10月2日～14日	お買い物ツアー（イトーヨーカドー）
11月7日～13日	ケアハウス・デイサービス 合同文化祭
12月12日～16日	クリスマス会
1月19日～24日	新春のど自慢大会
2月2日	ケアハウス・デイサービス 合同節分祭
2月6日～10日	焼きいも大会

○年間研修実施報告

月	研修名	対象職種
5月	特定給食講習会	栄養士
6月	精神病患者への対応について	介護員
	介護保険制度における福祉用具と住宅改修	生活相談員
	感染症・食中毒予防対策講習会	介護員
	認知症の方に対するリハビリと認知症予防のための暮らしの工夫	介護員
7月	福祉介護事業におけるコンプライアンスについて（施設内研修）	生活相談員
	面接相談援助技術基礎講座	生活相談員
9月	介護事業所における個人情報保護とコンプライアンス対策	介護員
	身寄りが少ない利用者の為の後見活用法	生活相談員
10月	軽費分科会 施設見学会	生活相談員 介護員
	老人施設部会 リーダー研修	生活相談員
11月	冬季の感染症対策	生活相談員
12月	管理職・業務監督職実績検討会	生活相談員
	消防訓練・普通救命研修会	生活相談員
1月	軽費・養護老人ホーム経営セミナー	施設長 生活相談員

## だいとうケアプランセンター 事業報告

### (1) 事業運営を振り返って

大東市内の事業展開を図る出発点となる事業所として当法人のサービスをより多くの方にご利用いただけるよう、大東市と東大阪市の新規利用者の獲得を目指して事業運営を行いました。年間を通じて積極的に大東市の研修への参加や多職種アドバイス会議の運営委員会として出席してきた結果、関係機関とのネットワークが構築できて、新規利用者の獲得に徐々に繋ぐことができるようになりました。今後も引き続き大東市での広報活動や関係機関との連携の強化が必要と考えています。

### (2) 拠点の課題

開設して約2年の事業所であるため、今以上に地域の方に知っていただくことと、関係機関との連携を強化していくことに力を入れてきました。これまで大東市には川福会の事業所は居宅介護支援事業所だけであったが、H29年12月にごりょうの家が開設しましたので、小規模多機能ホームと認知症対応型デイサービスと連携を図って相乗効果による双方の稼働率の向上に繋げていく必要があると考えています。

現在、非常勤の介護支援専門員と2名体制であるが、訪問などで事務所が不在になることが多く、転送電話を活用していても利用者や事業者と連絡がつきにくいことがある。早期にケアプラン件数を増やして介護支援専門員の配置人数を増員するなどして、事務所には常時待機職員が配置できるような体制づくりも課題である。

### (3) 平成29年度の目標と実績

平成29年度の目標数値は、年度末でケアプラン作成件数（介護予防も含めて）60件を目標にしていたが、非常勤介護支援専門員1名（常勤換算0.5）の増員が平成29年11月になり結果としては44件であった。今後はより幅広く新規獲得できるよう、新規受け入れの体制を強化し目標達成に取り組みます。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	月別合計	認定調査件数
(H29) 4月	7	3	10	6	7	5	2	40	7
5月	7	3	11	6	5	5	2	39	4
6月	5	3	16	6	5	4	2	41	5
7月	5	3	18	8	9	5	2	50	3
8月	6	3	17	7	6	6	1	46	5
9月	6	4	15	7	5	3	2	42	6
10月	8	4	14	7	5	4	3	45	0

11月	8	2	14	8	4	3	4	43	0
12月	8	2	16	11	4	5	4	50	1
(H30) 1月	6	2	14	11	4	5	4	46	0
2月	6	3	14	10	3	5	3	44	1
3月	6	2	15	10	4	5	3	45	1
計	78	34	174	97	61	55	32	531	33



## 小規模多機能ホームごりょうの家 事業報告

### 【1】拠点の事業運営を振り返って

「第6期大東市総合介護計画」に基づいた地域密着型サービス事業所を平成29年12月に開設しました。「地域包括ケア」を推進する為、「小規模多機能型居宅介護」と「認知症対応型通所介護」の事業と合わせて、1日でも早く地域に期待され、信頼される施設となれるよう地域支援事業にも取り組んでまいりました。

### 【2】施設の課題について

大東市に施設として開設することは初めてであり、「小規模多機能型居宅介護」の運営も初めての経験でありました。「ごりょうの家」をまずは周知していただく為に行政や地域包括支援センター、又地域住民が主催する会議やサロンには積極的に参加させていただいたことで、一部運営にも携わらせていただくことができました。人材育成に関しては、開設前研修はもちろん、開設後の全体研修、個人研修にも積極的に取り組んでまいりました。今年度で行った地域支援事業やPR活動をフルに生かし、今年度では収益の安定化にも一層努めてまいります。

### 【3】施設の目標と実施状況について

#### ① 開設前

- ・埋蔵物の処理等による若干の遅れは生じたものの、その後の工事関係者、行政と協議や必要な書類の作成等は滞りなく進めることができました。
- ・職員募集は新聞の折り込み広告や各戸配布、就職説明会等で必要配置職員を確保することができました。
- ・地域の区長や民生委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会等と関わる機会が多くあり、地域との関係づくりやPR活動を行うことができました。
- ・開設前研修は、非常勤職員が多く日程調整が難しい面もありましたが、数回に分け、開設前研修会を行うことができました。

#### ② 開設後

- ・非常勤、未経験職員が多い中で、内部での職員研修が中心ではありましたが、定期的に行うことができました。
- ・行政や地域包括支援センター、地域住民が主催する会議やサロンには数多く参加させて頂くことができ、PR、周知活動を積極的に行うことができました。今後は地域との関わりを深め、認知症カフェやサロンの開催、施設開放等、ニーズに合わせた地域に貢献できる取り組みを行ってまいります。

#### 【4】数値目標を実績について

	目標稼働率	実績
小規模多機能型居宅介護	20%	18.1%
認知症対応型通所介護	20%	3.2%

#### 【5】各事業の目標と実施状況について

##### ○小規模多機能型居宅介護

開設前後で一番感じたことは「小規模多機能」の知名度の低さでした。地域密着型サービスの中でも料金体制や事業内容の特殊さから地域住民はもちろん、ケアマネージャーからも「分かりづらい」との意見が多数ありました。その為、事業所のアピールよりも、サービス内容に特化したチラシを作成し活用したことで「小規模多機能」の魅力が少しずつ理解していただき、ご利用者の紹介にもつながっていきましました。累計では目標稼働率には少し届かなかったものの、3月では30%代にのせることができました。ただ、職員の配置基準は満たしているものの、シフトや休みの調整が難しく、又収益がなかなか伸びないのが現状でした。要介護度によって極端に報酬が違ふこと、開設間もない為加算があまりとれていないことが大きな要因であります。要介護度の調整は難しい為、新規獲得と合わせて、加算の算定に努めてまいります。

##### ○認知症対応型通所介護

一般のデイサービスと比較し単位数が高く設定されている為、認知症にいかにか特化したサービスを提供できるかが重要となります。目標稼働率には届いていませんが内部研修や外部研修などにより知識が技術を磨いている状況です。また利用者のニーズに応じた提供時間（短時間サービスなど）にも対応しております。開所後2か月は見学もあまりない状況でしたが、少しずつ見学や新規獲得ができてきました。地域貢献事業として地域清掃、地域住民のサロンや社会福祉協議会の研修への参加などは数多く実施できました。この中でのPRは今後も継続していきます。

## 【6】別表

### ○防災訓練実施報告

2月	総合訓練	小規模多機能・認知症型通所介護のご利用者が最も多い時間帯の火事を想定し、消防隊立会いのもと、避難訓練・消火訓練を実施した。
----	------	---

### ○年間行事報告

	行事名	実施事業所
12月	竣工式、内覧会	小規模多機能型居宅介護 認知症型通所介護
1月	白玉ぜんざい	小規模多機能型居宅介護
2月	節分祭	小規模多機能型居宅介護 認知症型通所介護
3月	ひな祭り	小規模多機能型居宅介護 認知症型通所介護

※誕生日会は対象者利用者がある場合は実施している。

### ○年間研修報告

12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開設前研修</li> <li>・認知症について</li> <li>・新人研修（基礎研修・感染症）</li> </ul>
1月	食中毒について
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険改正</li> <li>・認知症予防ゲーム</li> </ul>

## 介護老人保健施設 すいれん 事業報告

### 【1】新規事業の整備について

大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成27年度～29年度）に計画されている定員100名の介護老人保健施設（短期入所療養介護含む）と併せて、通所リハビリテーション、ケアプランセンターを大阪市鶴見区諸口6丁目において平成30年5月1日に開設するため大阪市との協議、施設建設、設備、備品に関する調整や手配と配置職員の確保等を重点に行いました。

### 【2】開設準備の実施内容について

- ・平成30年2月末の竣工に向けて、工事関係者との調整、協議等を行い進捗状況の把握管理を行いました。合わせて設備、備品等の調整、手配等を行い機能性、快適性を重視した施設づくりに取り組みました。
- ・給食委託業者の選定プロポーザルを実施し給食委託業者を選定しました。
- ・開設に向け行政等との協議を行い、必要な書類の作成を行いました。
- ・マニュアル等、開設時に必要な書類の作成を行いました。
- ・職員採用活動を実施し、人員配置基準を満たす職員を確保しました。
- ・協力医療機関との調整を行いました。
- ・地元町会等へ挨拶周りを実施、地域との関係づくりに取り組みました。
- ・サービス提供体制を整えるため配置職員に対して、開設前研修会等を実施しました。
- ・ご利用者確保のため地域住民や医療機関、介護福祉関連事業者、社会福祉協議会、その他関連機関へのPR、広報活動を行いました。
- ・平成30年4月18日の竣工披露式及び19日～22日の内覧会実施に向けての準備を行いました。

### 新規施設の概要

名称	介護老人保健施設すいれん
住所	大阪市鶴見区諸口6丁目
実施事業	入所定員 100名（短期入所療養介護含む） 通所リハビリテーション（定員30名） ケアプランセンター 鉄骨造 地上4階建
敷地面積	2109.60㎡（638.15坪）
延べ床面積	3681.26㎡（附属建物含含む）
開設	平成30年5月1日 ※ケアプランセンターは平成30年6月1日

## 人事制度設計委員会 活動報告

### 【1】平成29年度総括

法人理念・ビジョン・経営方針を実現・実践するための法人組織を構築するため、職員の成長支援やモチベーション向上に向けた制度設計・仕組みづくりの検討を行うことを目的とし、それぞれの職務において法人の求める人材像・目標項目・基準を明確にした目標管理制度の導入、職員のロードマップを明確にしたキャリアパスの検討、等級制度をもとにした賃金体系案の策定、職員のライフワークバランス等、人事制度の根幹をなす制度設計に注力しました。

### 【2】検討内容

#### (1) 職員出向制度の構築

「職員の成長とキャリア形成」「出向職員による事業運営上の課題抽出および改善」「事業運営上の出向」を目的に制度を構築。事業所間出向規程の制定や出向レポートを策定した。

#### (2) フレックスタイム制度の導入

「利用者や地域への柔軟な対応」「職員のライフワークバランスに資する」「業務効率の向上」を目的に地域包括支援センター、居宅介護支援事業所に導入。就業規則を変更、フレックスの運用に関する細則を制定。今後、相談員や栄養士、介護長等、裁量性の高い職種に導入を検討。

#### (3) 職員の休日数の変更

取得率ほぼ100%の夏休冬休みを廃止して年間休日を96日から104日に変更。就業規則を変更。

#### (4) 有給の時間単位付与

職員のライフワークバランスを考えに導入。就業規則を変更。

#### (5) 職員台帳の導入

異動経歴と賞罰、パートから正職への雇用契約の変更、外国人採用に伴う在留資格の確認等を含めて職員名簿に追加して台帳を整理。

#### (6) 資格取得報奨金規程の改定

資格取得時の研修の費用と報奨金と一緒にしているのでそれぞれに規程を制定。

#### (7) 介護支援専門員外部研修規程の制定

現規定では週1日・1時間勤務のパートでも法人の費用全額負担および出張扱いとなる。当法人を主な就業先として勤務している職員の適用となるように変更。

#### (8) 懲戒内容の見直し

恣意的な懲戒が行われないように、また手順に沿った懲戒となるように、懲戒処分に該当する内容を検討。就業規則を変更、懲戒手続き規程を制定。

- (9) 専門職特級・上級の目標管理項目と基準の策定  
目標管理導入に基づき、法人が求める人材像、目標項目、目標基準を策定。
- (10) 介護職員処遇改善加算手当支給職員と調整手当支給職員の賃金格差是正  
介護報酬改定により、処遇改善加算手当と介護職員以外に支給している調整手当の支給額の格差が大きくなった。処遇改善一時金を賞与に算入することで確保できる原資をもとに調整手当を処遇改善加算手当と同額とした。
- (11) 資格手当併給の見直し  
資格手当が現在100%併給のため、控除要件を定め、職務に応じた資格手当を再検討した。見直しは平成31年10月以降に延期。
- (12) 嘱託職員の昇給  
年俸契約している職員は、昇給がない。個々の能力・経験により差があるため、年俸契約更新時に理事長裁可により年俸額の増額を可能とした。
- (13) 経験加算の見直し  
2等級以上の資格専門職の職員を雇い入れた場合、既存職員は経験を積んで1等級から2等級に昇格するのに対し、新採用職員はその職務により対象となる2等級の号俸から経験加算がなされ、既存職員と賃金不平等が起こるため、経験加算の内容について変更経験加算について確定要件にするのではなく、理事長裁可による柔軟性を規定した。給与規程を改定。
- (14) 昇給ピッチの見直し  
目標管理制度、研修開催や資格取得支援による人材育成の観点から、同一等級に長年滞在するのではなく、上位等級を目指していけるような賃金体系に変更することを目的に、各等級における職務ごとの初号金額からプラス30号俸までを各等級合格差の昇給ピッチとした。給与規程を変更。
- (15) 福祉医療機構退職金共済の見直し  
福祉医療機構退職金共済の等級ベースが基本給+職務手当であるが、川福会の課長職以上の職務手当は役職手当にあたるため、算入できないとの判断となった。その結果、課長以上の職務について、業務監督職以下の職層が退職金が高くなる逆転現象が起きている。審議継続中。
- (16) 有資格者等の紹介報奨金制度の見直し  
支給要件を適正化。報奨金支給申出書を作成。
- (17) パートタイム職員処遇等についての細則の変更  
正職員の調整手当の変更及び各職務の時給相場等を検討し賃金表を改定。  
また、栄養士・あんま師・鍼灸師、介護助手等の職務を追加。
- (18) キャリアパスの改定  
法人が求める人材像から職層に応じた職務能力を検討。その職務能力を得る、高めるための必要教育をリンクさせたキャリアパス表を策定した。

### 【3】平成30年度の課題

- (1) 法人のキャリアパスにおけるそれぞれの職務の必要教育の整理  
それぞれの職務について、法人が求める人材像、その職責、能力等は明確

化しているが、その法人が求める像に近づくための必要教育を、キャリアパスと連動させて再構築していく必要がある。

(2) 管理職や新たな職務への志向低下

職員処遇については平成25年度、平成26年度、平成28年度と賃金改善がされており、平成24年度以前と比べると基本給、職務手当、資格手当併給、昇給ピッチの改善等が行われてきた。一方で、職員には、管理職や新たな職務に就くことにより、仕事量や責任の比重が大きくなるといった認識があることや新たな職務内容への認識不足がある。仕組みの構築や研修等により、職員の志向、意欲向上を図る必要がある。

(3) 人材の確保・定着についての検討

求人については、求人依頼や学校訪問、求人票のネット配信、福祉就職フェアや法人説明会の参加、実習生の受け入れ、求人PR採用パンフレットの作成、ホームページによる求人、バスの背面広告、チラシのポスティングやタウン誌への掲載、職員紹介制度の活用等の対応を行っているが、人材確保が困難な状況にある。

また、法人の特色部分では、福利厚生や調整手当支給、資格手当併給、法人のグループ研修や資格取得支援等に注力している。

職員定着を目的とした人財育成の検討や福利厚生の充実等については他委員会で協議するが、今後は今まで以上に専門学校や大学、短大、高校等と良質な関係性を構築して行く、中学校との関わりや外国人採用にも目を向け、法人、各施設で何が行えるかを検討していく必要がある。

(4) 外国人採用の検討

外国人採用については、留学、EPA、技能実習におけるそれぞれへのアプローチ方法や採用計画等を法人運営会議で検討し、その決議事項による委任事項について検討を行っていく。

## 人財育成委員会 活動報告

### 【1】平成29年度総括

平成29年度の活動計画書に基づいて委員会活動をしました。活動内容（【2】検討内容参照）は、ほぼ計画通りに進めました。今年度の委員会活動を通じて経営補佐職、上席管理職、管理職等の法人職員が、法人の人財育成について少しずつ理解と意識を持てる1年になりました。しかし、委員会活動を進めることで次の課題（【3】平成30年度の課題参照）が見つかりました。平成30年度の委員会活動の目標として取り組みます。

### 【2】検討内容

#### （1）職場研修実施要綱の策定

平成28年度下半期後半から策定にかかり、平成29年6月に完成しました。この職場研修実施要綱に基づき人財育成を実施します。

#### （2）職場研修担当者会の活動確認

平成28年の下半期から職場研修担当者を各施設から代表で1名を指名しましたが、平成29年度から新たにサポート役として各施設もう1名追加指名しました。各施設や各事業の職場研修の実施体系の構築と育成組織図の作成、OJTの実施状況等を委員会で報告し、人財育成委員会の活動と連動を意識するように委員会の場で活動確認を行いました。

#### （3）経営補佐職、上席管理職、管理職の育成体系とキャリアパスの構築

人事制度設計委員会で作成していたキャリアパスの内容について、どのようにすれば法人が求める経営補佐職、上席管理職、管理職の能力を身に付けることができるかを具体的な育成内容を検討・作成し、キャリアパスの構築を進めました。

#### （4）職場研修の組織体系図の構築と目標管理の実施（OJTの強化）

下半期は職場研修の組織体系図が構築され、各施設でOJTを開始しました。経営補佐職、上席管理職、管理職は目標管理の面談等を実施してきましたが、進捗状況を確認すると停滞している部分がありました。

#### （5）専門職の育成体系の構築準備

専門職の育成を各施設や各事業に任せるだけでなく、法人の各専門職・事業連絡会を通じて専門職の人財育成をさらに強化するため、平成29年度は試験的に施設相談員、栄養士、地域包括、居宅介護の4連絡会で1年間の育成目標と計画を立て実施した取り組みと効果を検証しました。

### 【3】平成30年度の課題

#### （1）法人のキャリアパスの明確化の推進

29年度は経営補佐職、上席管理、管理職の育成体系とキャリアパスの明確化を行いました。業務監督職等の職層・職群別が残っている状況です。



(2) 次世代管理職候補の育成

管理職はプレイイングマネージャーの役割をこなしており、日常業務の執行や管理業務以外も多岐にわたり遂行するなかで、法人内の経営方針説明会や合同研修を実施してまいりましたが、目標管理の遂行と育成サイクルの構築には至っていません。

(3) 職員能力の開発

組織的、意図的、計画的、継続的に行われるOJTの実施を開始しましたが、効果測定に至っていない現状です。専門職の教育は試験的に4専門職（施設相談員、管理栄養士、居宅介護支援専門員、地域包括支援事業所の社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師、介護支援専門員等）で1年間の育成計画を各連絡調整会議で実施いたしました。今後は他の専門職への育成計画の実施が課題です。

## サービス向上委員会 活動報告

### 【1】平成 29 年度委員会の総括

法人理念に沿い、ご利用者にとって安心・満足のサービスとは何かを常に考え、自分たちがとらえているご利用者像とニーズが、本当に現在の日本の高齢者のニーズにかなったものか、そして法人の現在のサービスの質がそれを担えているかを検証し、問題提議と提案をすることを目的としてまいりました。

より良いサービスの提供が継続できるように、法人内の各拠点における課題事項など情報を収集・把握を行い、拠点間で広く連携していくことで「サービスの質の向上」「ご利用者満足」「職員の資質向上」に努めてまいりました。

ご利用者個々に生活の背景や状態の違いがある中で、川福会のサービスに満足していただけるよう、定期的な効果測定や都度の振返りを行ってまいりました。

### 【2】検討内容

サービス向上委員会ではご利用者に満足していただけるサービス提供の為、次のような内容の取り組みを行っております。

#### (1) 「ご利用者満足度アンケートの実施」

取り組み	実施評価
サービス内容の見直しとご利用者様の満足度を把握するため、ご利用者様に満足度アンケートを各施設・事業所種別ごとに連絡会をとおして実施し、集計・開示を行い、そこで浮き上がった課題点とその傾向等について各施設事業に提供し、各施設事業のサービスの改善と向上に向けて取り組んでおります。	➡平成 29 年度ご利用者満足度アンケートは法人連絡会を通じて全事業対象に実施をしました。実施した時期は 10 月に開始を行い、結果の開示は改善策を検討したものを平成 30 年 1 月に事業所ごとでご利用者、家族へ向け施設内掲示等の方法を取り開示を行いました。

#### (2) 「職員アンケートの実施」

取り組み	実施評価
職員が日々考えているサービスの質や、施設、事業所の状況把握を行い、現状を見直しすることで改善点を把握し、職員の資質と処遇及びサービスの向上をめざしてまいりました。	➡平成 29 年度の職員アンケートは 4 月に実施を行い、各拠点で集計を行いました。各拠点に様々な意見があり、またその現状の把握及び改善点などはきちんと評価し、管理職がまとめを作成しました。その結果は法人内施設、事業所で共有できるようにしたうえで、引き続き取り組むべき事柄は平成 30 年 10 月に時期を設定し管理職が進捗経過報告を行う事としています。

(3) 「スローガン作成」

取り組み	実施評価
<p>法人理念の周知だけでなく、法人全体が一体となり、サービス向上に取り組んでいくことを目的として半期ごとにスローガンを掲げております。</p> <p>最初は、全施設事業にスローガンの募集を行い、そのすべての思いを集め、創業者の思いと合わせて『私たちの思い』としてパンフレット化し、教育の機会ごとに私たちの原点として確認しております。さらに、職員がより身近に感じるものとなるよう、現場の思いを掲げることに焦点をあて、当委員会だけのスローガン作成ではなく、法人内の多職種の思いが一つになるよう、法人の各職種連絡会に半期ごとに作成を依頼することにしました。上半期及び下半期スローガンは短いフレーズとするとともに、各拠点に掲示し、身近なものになるようにしております。</p>	<p>⇒今年度上半期、訪問介護連絡会で「一つ一つ丁寧に真心こめたおもてなし」を作成。下半期は居宅介護支援事業所連絡会で「気づきの花を一日一輪咲かせましょう」を作成しました。上半期・下半期共に各拠点では掲示を行うとともに理念とあわせて唱和を行いました。また、発案者の思いなども合わせて周知を行うようにし各拠点で現場の思いに焦点をあて身近なものになるようにしました。</p>

(4) 「表彰・顕彰制度の実施」

取り組み	実施評価
<p>サービス提供内容の把握及び情報の共有、法人内での事業所の優れた取り組み内容を連携するため、半期ごと「表彰顕彰制度」を実施しすでに5回目を数え平成29年4月に6回目の表彰となりました。</p> <p>職員同士の働きがいや喜びの共有、新たな取り組みへ意欲の向上をめざし実施しているものです。</p> <p>以上の4つの活動を中心に取り組んでまいりました。また、サービスを提供する側の立場、職員のモチベーションアップなどについてどのように考えるかを議論し、メンタルヘルスについても議論をしてまいりました。メンタルヘルスについては、法人メンタルヘルス推進委員会が立ち上がり、そこに引き継がれております。</p>	<p>⇒上半期に第7回・下半期に第8回を実施しました。</p> <p>第7回は4施設6事業より7作品 第8回は3施設4事業より7作品 それぞれ以上の応募がありました。</p>

(5) 「他施設見学の実施」

取組み	実施評価
<p>新しいものに触れ、既存のサービス提供の形にとらわれず、より良いサービスの提供を行えるようにすることを目的とし取組みました。</p> <p>初めての試みとして、介護老人保健施設石きりへ「学習療法」の見学へいってまいりました。</p>	<p>⇒実際に学習療法を実施している様子を見学、パワーポイントによる手順や効果の説明を受けました。</p> <p>見学内容を委員会で報告し、各施設へ持ち帰ってもらい施設単位で検討してもらいました。</p> <p>導入には至らなかったが、ご利用者個人に合わせた内容で提供している点や実施するために業務の見直しを行っている点など参考になるべきことが多くあり、他施設見学そのものは、充実したものでありました。</p>

【3】平成30年度の課題

平成29年度に取組んでまいりました【2】の5項目について、一段とブラッシュアップしていく必要があると考えます。

(1) ご利用者さま満足度アンケートについて

継続して実施していきます。ただし漫然と実施しても意味のないものになってしまう。このアンケートを、「振り返り」「ニーズ把握」「業務改善」などにしっかりと役立てられるようにしていく必要があります。そのためにも各連絡会との連携をより一段と深めていく必要があります。

(2) 職員アンケートについて

2年ごとに実施しています。平成30年度は前年度のアンケート結果をもとにご利用者、職員にとってより良い施設づくりをめざしてまいります。そのために結果の分析、問題の抽出を行い、環境整備や業務改善に取り組んでいき、職員の声を形にしていく必要があります。

(3) スローガン作成について

法人理念をより分かりやすく、より身近に感じてもらえるように半期ごとに、各連絡会で作成を依頼しています。各施設で提示の協力を得るなどして、浸透はしていますが、スローガンそのものの意味や作成されたスローガンに込められた発案者の思いを職員に周知する必要があります。

(4) 表彰顕彰制度について

これまで上半期と下半期の年2回実施しています。応募作品の取組み内容も充実したものになってきています。しかしながら、まだまだ全職員への周知がで

できているとはいえない状況にあります。

第10回を間近に控えるなかで、多くの職員が参加でき、よりモチベーションアップ及びサービス向上へ繋がるようなシステムをつくることが最重要課題であります。

(5) 他施設見学について

平成29年度が初めての試みでした。自法人・自施設との違いなど直接感じることができ、とても刺激になり有意義なものであった。平成30年度も引き続き実施していきたい。見学に行くなかで、優れた取り組みや考え方を1つでも2つでも持ち帰り、サービス向上へつなげて行くことが必要であります。

以上5項目が平成30年度の課題となります。「平成30年度サービス向上委員会活動報告書」に課題解決に向けた具体的な取組みを記載し、更なるサービスの質の向上に努めてまいります。

## 福利厚生検討委員会 活動報告

### 【1】平成29年度総括

職員の処遇を向上し、働きやすい職場をつくることは、ご利用者処遇の向上のためぜひ必要なことであり、また、職員処遇の向上は職員に働く場を提供する法人としての義務だと考えて活動を行ってまいりました。

新入職員歓迎ボーリング大会懇親会やバーベキュー大会、バスツアーやサークル活動・市区町村が行うがん健診への補助金の支給等を実施し、法人職員やその家族への福利厚生活動で、職員の確保や定着、職務能率や生活の向上などの効果に資することを目的に活動してまいりました。

### 【2】検討内容

#### (1) 新入職員歓迎ボーリング大会について

新入職員歓迎ボーリング大会及び懇親会については、4月13日に開催し、新入職員30名・既存職員41名の計71名の参加があり、これから川福会で活躍される方の歓迎を盛大に開催できたと考えております。

#### (2) バーベキュー大会について

例年8月に開催しておりましたバーベキュー大会ですが、8月は気温が高く体調を崩される方もみられたことから、29年度は7月23日にバーベキューガーデン羽衣にて開催しました。職員29名、お子様等17名の計46名の参加があり、特に事故もなく無事に終了しております。参加されたお子様も楽しんで頂けたと考えております。

開催場所について、現在利用している羽衣バーベキューガーデンが交通の便が悪いことや雨天時の問題などから、他施設の検討を行いました。その中で岸和田観光農園の下見を実施しました。しかし子供の遊びスペースがなく、お子様参加型のイベントとしては対応が難しいとの判断で、次年度も例年通りの場所にて開催する事としました。次年度以降も開催場所の検討は継続して行ってまいります。

#### (3) バスツアーについて

3月11日に実施し46名の参加があり、麒麟ビール滋賀工場の見学や近江八幡の散策等を楽しんで頂き、日ごろの業務から離れてリフレッシュして頂けたと考えております。

#### (4) サークル活動について

バレーボール、軟式野球、フットサル、3B体操が活動を継続しており、今年度は新たにボランティアサークルが発足しました。ボランティアサークルは介護保険では対応が難しい「ちょっとしたお手伝い」をすることで、その方の生きがいや生活の幅を広げていくお手伝いの気持ちで支援を行うグループとして発足しております。

#### (5) がん検診への補助金について

各施設にて一定数の受診はあるものの、周知ができていない現状がある。  
次年度以降再度アナウンスを行う必要がある。

### 【3】30年度の課題

法人規模が拡大するに伴い、委員会の活動内容の周知が難しくなってきました。そのため再度委員会の活動について全職員に周知し、必要に応じて利用して頂き、働きやすい職場作りの一助となればと考えております。

上記の周知の面を含めまして、今年度は再度アンケートを実施し、職員の希望や今後の活動内容の検討をしていきたいと考えています。

また、職員の健康管理について、職員の健康は適切な職場づくりの前提となるもので、活力ある職場づくりは、職員が健康であることが重要であると考えております。そのため、引き続き市区町村が実施しているがん検診等の受診を推奨するとともに、新たに医療機関での人間ドック受診の補助について検討を行い、30年度中にこれを実施し健康維持の支援を行ってまいります。

## 社会貢献検討委員会 活動報告

### 【1】平成29年度総括

地域における公益的な取組みが社会福法人の責務として位置づけられ、社会貢献検討委員会において、取組みの具体化を模索しました、既在の更なる推進と新たな取組みの検討を協議しており「地域の福祉ニーズの把握」連携が求められる福祉ニーズが不明確」など課題は多く解決推進して行くには、時間が必要な物もあります。

地域住民のニーズは、地域や世代、世帯の実情により多様であり、潜在するものも多いと考えられます、誰もが住み慣れた地域で安全に安心して暮らしていけるようにするためにするためには、地域公益活動の推進に社会貢献委員会が法の改正の趣旨に沿い、地域住民の要望に柔軟に応えていき責務を果たすため推進して行くことの検討した。

### 【2】検討の内容

#### (1) ニーズの把握について

- ① 地域のニーズにあった取組みが重要。
- ② 新たな活動を展開するにあたっては、地域ニーズの把握が非常に難しく、また事業の発展次第では職員の負担増となる。
- ③ 公益的な取組みについては、色々な考え方があると思うが、地域性により求められ手射るニーズも変わってくると思う。法律の趣旨に即しての判断となるが、地域から求められていることであれば、可能な限り対応することも必要ではないか。

#### (2) 携協働について

- ① 現在取組んでいるイベントや地域公益活動に結びついているかわからないが、少子高齢化が進んでいる町内で地域住民のニーズを掘り起こし対応していくことは、困難と考えられるが、各施設が町内との必要と考えられる活動を通して地域とのつながりが密接になり、「社会福祉法人」の在任、意義をより一層地域の方々から認められるようになると思われる。
- ② 生活困窮者支援等の活動においては、地域包括の取組みにより成果が期待される。

#### (3) 人員、資金、資材等に関して

- ① 地域ニーズを把握したうえでの取組みが重要だが、現人員での対応の問題はあるが、仕組み作りの課題、現在小さいながらも支援活動、地域活動において、施設の開放、サロン、茶話会、認知症カフェ、買物支援、就労支援等、の活動をしているが、今後ネットワークを広げ、よりたくさんの方々にご利用してもらえる活動に取り組んで生きたい。

#### (4) 地域における公益的な取組み

- ① 各施設では、色々な取組みをしているが、社会貢献検討委員会において具体的にどのような取組みが地域公益活動になるのかを検討しつつ、現状の活動状況やニーズを把握するため地域自治会、民生員、老人会等よりの情報収集し今後の活動につなげていきたいと思う。



### 【3】平成30年度の課題

#### ① 基本方針

法人の理念、ビジョンの目的である法人における地域・社会貢献に向けた公益性を示す取り組みの開拓。

#### ② 目標

地域・社会福祉の各施設が拠点としての地域と協力、先駆的・先進的な取り組みを積極的に提案、実現に向けた取り組みの実施、及び法人全体としての活動推進。

#### ③ 基本的な実施事項

- ・地域におけるニーズの把握情報収集で公益性な活動の推進
- ・地域高齢者を対象にした見守りサービスの検討
- ・地域の自治会、民生委員、老人会等の要望の収集（認知症高齢者の支援）等
- ・内部職員に対しての貢献に対する意識教育の推進
- ・地域に向けた貢献の具体的な取組みを整理し外部に向けたアナウンス及びネットワーク作りの実施検討。
- ・法人としての生活困窮者支援、就労支援。
- ・施設間協力による社会・地域貢献の実施。

### 【4】新3ヵ年の地域公益事業

- ・拠点施設単体でできる活動
- ・法人単独でできる活動
- ・他法人と共同でする活動
- ・行政及び社会福祉協議会と共にする活動
- ・NPO やボランティアとの活動

## 安全衛生委員会 活動報告

### 【1】平成29年度総括

各拠点（事業場）においての職場環境の整備や労働環境の整備、事業所の風土といった領域を主として、その活動より生じた諸問題に関する調整・検討など各拠点の安全衛生委員会への支援及び、委員会設置不要の少人数の事業所（ケアハウス・小規模多機能など）への支援を実施致しました。

### 【2】検討・実施内容

法人委員会にて実施事項

#### （1）法定実施

- ・健康診断（夜勤実施者は年2回）

枚岡地区（福寿苑、枚岡の里、ケアハウス喜里川、ケアハウスひらおか）については「枚岡病院」にて実施。それ以外の地域（みのわの里、布市福寿苑、真寿庵、長田の里、だいたうケアプランセンター、法人本部）は「恵生会病院」（検診バス）にて実施。

- ・ストレスチェック

「こころの保健室（USEN系列）」にて委託実施。

#### （2）「心の健康づくり推進計画」の策定

心の健康づくり計画の実施状況の評価及び計画の見直し。

各拠点（事業場）にて実施事項

#### （1）各事業場の現場見回りの実施

危険個所等の発見と改善。

#### （2）安全衛生委員会の開催

毎月定期開催。

#### （3）インフルエンザ予防接種（感染症予防）

感染症予防等に関連し実施事業の性格上、蔓延の防止を主目的として、希望者に任意接種を実施（各特養診療所、老健管理者、枚岡病院にて実施）側面として法人の福利厚生の一環でもある。

### 【3】平成30年度の課題

#### （1）精神不調者への企業的対応の構築

休職期間や短縮勤務・配置転換など。またその際の身分・給与体制、休職期間及び短縮勤務中に不足する部門の人員雇用の有無、退職に関連する内容等の検討。

#### （2）相談機能の充実と利用時の利便性向上。（産業医、専門医など）

現状構築はされているが実態として相談が実施されていない現状の改善。

#### （3）職員の健康に対する啓蒙活動（教育）

30年度は新規事業所も開設され、新たな事業場での安全衛生委員会の開催が予定されており、職員へ健康に対する意識向上を図る事が必要。

(4) 新規拠点（事業場）への対応

健康診断、メンタルヘルスの実施及び、感染症予防など、現状の枠組みを更に広げて滞りなく実施して行くことが必須。

